

令和7年度

足立区子ども施設指定管理者評価委員会

評価結果資料

評価対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

評価シート見本	P. 1
1 新田おひさま保育園	P. 3
2 水神橋保育園	P. 14
3 竹の塚北保育園	P. 25
4 谷在家保育園	P. 36
5 竹の塚保育園	P. 47
6 せきや保育園	P. 58
7 青井保育園	P. 69
8 興本保育園	P. 80
9 さつき保育園	P. 91
10 青井おひさま保育園	P. 102
11 東保木間保育園	P. 113
12 五反野保育園	P. 124
13 伊興大境保育園	P. 135
14 やよい保育園	P. 146
15 新田さくら保育園	P. 157

※ 資料の並びは、得点の高い順

子ども家庭部 私立保育園課

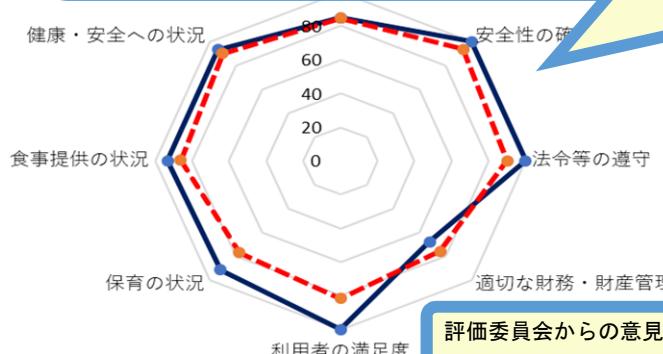
このページは各園の評価内容を総括的にまとめたものです。
次ページ以降、個別の指標（8項目）についての評価内容の内訳を記載しています。

〇〇保育園 評価シート

【 指定管理者 】〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日

実線は指定管理者の自己評価、点線は評価委員会による第三者評価の結果です。
外側に行くほど高い点数であることを示します。
実線と点線が離れていると、自己評価と外部評価とでギャップがあることになります。



評価委員会からの意見総評です。

評価委員会意見
評価委員会の点数（すべての項目の合計）です。

全般的に良く取り組まれている。

得点を下表「評価基準」にあてはめて、A+～Cの7段階で評価しています。

悪質な事故等を起こしている場合、評価委員会の判断により、総合評価をワンランク下げるなどの対応ができるとしており、当該園が該当しているかを表しています。

評価結果

評点

評価

総合評価

A-

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

ランクダウンの判定を加味した評価委員会による最終的な評価です。

【指定管理者への改善要望】

指定管理者への改善要望項目です。

満たすべき水準を6割（5点満点でオール3）としています。

350点（満点）×0.6=210点

得点がこの標準点を超えると水準をクリアしていることになります。

<評価委員会評価基準>

評点	満点	標準点	A	A-	B+	B	B-	C	
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満		

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者			
得点	評価	得点	評価
320.0	A+	308.0	A

参考として、指定管理者及び区担当課による得点及び評価も載せています。

得点に応じた評価基準になります。
指定管理者評価における全般的なルールに沿って、得点率に応じA+～Cの7段階を設定しています。

令和7年度 指定管理者評価シート (〇〇保育園)

一見本一

8つの中項目について、評価の内訳を記載しています。

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

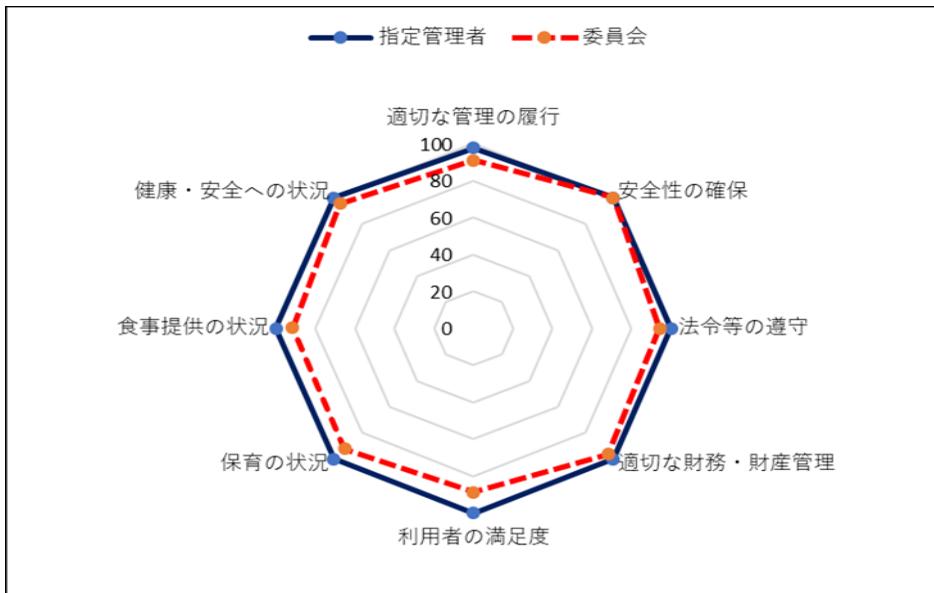
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

		基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		<p>1 施設・設備の保守点検 (内容・回数)</p> <p>(1) 冷暖房機保守点検 (年1回)、FF暖房機保守点検 (年2回)、非常通報システム保守点検 (年4回)、計量器定期検査 (2年に1回)</p> <p>2 施設の清掃等</p> <p>(1) 園舎内自主清掃 (毎日)、清掃 (壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇) 委託 (年1回) 清掃 (換気扇・フードオイルフィルターダクト) 委託 (年2回)</p>	×2	×2	×4
			4.5		評価点を20点満点で表す必要があるため、【×4】で調整しています。
		評価委員会の評価は、各項目の平均点を、中項目全体の評価点としてまとめて記載しています。5段階評価を20点満点で表す必要があるため、【×4】で調整しています。	4.23		
		<p>3 傷筋寺の保育点検</p> <p>(1) 樹木剪定 (年1回)、調理器具清掃点検 (年1回)、カーテン清掃 (年1回)、消毒 (年1回)、ペット用消毒 (年1回)</p>	4	4.5	
		この中項目では5点満点の項目が3つありますが、1項目は【×2】で設定しているため、合計は20点満点となります。	17.0	16.9	16.92
適切な管理の履行	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>1 施設・設備の保守点検</p> <p>①基本協定に基づき実施しています。施設の修繕計画を実施しています。</p> <p>②使用頻度の高い冷暖房機の保守点検は規定回数を上回って実施しています。</p> <p>③消防用設備保守点検にて指摘のあった箇所の修繕を行いました。</p> <p>2 施設の清掃等</p> <p>①専門業者による清掃等を規定通りに実施しているほか、日々の自主清掃、定期的なエアコンフィルターや天井扇の掃除を行っています。</p> <p>②令和3年度より、排水溝清掃は園職員の清掃だけでなく業務委託も加えました。</p> <p>3 備品等の保守点検</p> <p>①基本計画に基づく備品等の点検計画があります。</p> <p>②コットは毎週消毒し、日光消毒もしています。</p>	4.2 × 2 + 4 + 4.5 = 16.9点	この中項目における区担当課の評価点	この中項目における評価委員会の評価点 4.23 × 4 = 16.92点
	【改善すべき点・課題等】	指定管理者から示されたこの中項目におけるアピールポイント及び改善すべき点・課題等が記載されています（記入は任意）。特ない場合は、空欄になります。			
	担当課記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>①修繕計画あり。</p> <p>②規定回数の実施を確認。</p>	指定管理者から提出された資料や区担当課による現地調査を基にした、担当課からの特記事項を記載しています。		
	評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>	評価委員会から、評価すべき点・改善すべき点・その他注意点の指摘があった場合に記載しています。		

新田おひさま保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人太陽会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的にとても良く取り組まれている。
②適切な財務運営・財産管理が行われている。
③保護者から評価が高く、お互い信頼関係が構築されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	326	A+

ランクダウン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A+

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率			90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
349.5	A+	326.0	A+

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	5	5	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4.5	3.8	4.55
		合計点(満点20点)	19.5	18.2	18.20
	担当課記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 ①例年通りエレベーターの点検は法定点検と合わせて毎月遠隔点検を継続しており、令和6年度に基盤の取り換えを行ったので現在不具合はない。 ②令和6年度にエアコンの総点検と令和5～6年度の2年間ですべてのドレイン清掃を行い、暑さ対策を考えてこまめに職員がフィルターの清掃もしている。 2 施設の清掃等 害虫駆除は毎回問題なしの報告を受けており、園外からの虫の侵入はない。 3 備品等の保守点検 ①開園から14年になり給食室の調理器具の不具合が心配なので、安全に使用できるようにその都度点検と修繕をしていく。 ②子どもの布団は業者の布団乾燥を規定回数以上行い加えて毎週布団干しをしているほか、1歳児クラスの布団を買い換えた。			
		【改善すべき点・課題等】 令和9年度で閉園となるので、それを見据えつつ施設の維持、管理をしていく。			
	評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①規定回数以上の実施を確認。 ②今後の修繕計画が立てられている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 設備・保守点検が丁寧に実施されている。 【改善すべき点】 施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	5	5	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	5	5	5.00
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	35.0	35.0	35.00
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 園舎の警備は24時間の警備システムを入れており、令和6年度は一度も事故、不都合は起きなかった。 5 防災の取組 避難訓練は園内の出火想定だけでなく、近隣の出火や煙を想定して行っている。 6 防犯の取組 ①訓練は公園での不審者、園外の不審物訓練も行った。 ②鍵は管理簿で管理していて開園から現在まで紛失等は発生していない。 ③各キャビネットの鍵の使用簿も使用者が記入してお互いに確認している。 7 事故への対応 ①公園で遊ぶときは固定遊具の使用年齢、状況など子ども達が遊ぶ前に確認している。 ②遊び場の状況を見て臨機応変に場所を移動する時もトランシーバー等を使用して必ず園に連絡が入るようにしており、園外での見失い事故を防ぐ為に職員間でも合言葉を決めて人数確認を行っています。 ③トランシーバーは園内でも使用して園児の登降園状況や地震発生の時など瞬時に全クラス、職員の状況が把握出来るようにしている。 ④区の30分ルールも園内各所の職員の目につくように表示している。 ⑤令和6年度園児が受診するような怪我、事故は発生していない。			
		【改善すべき点・課題等】 5 防災の取組 全職員で各種マニュアルの読み合わせをしているが、ポイントを押さえて職員の意識に残るように定期的に確認していきたい。			
	担当課記入欄	4 施設・設備の安全の確保 全職員が応急救命資格を取得している。 6 防犯の取組 日常からトランシーバーを活用し、外出先の状況が瞬時にわかるようにしているが、その台数を増やし、非常勤職員にも行きわたるようにしている。 7 事故への対応 30分ルールを誰でもわかりやすいように加工した上で、事務室だけでなく各保育室にも掲示をしている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 児童も安心して過ごすことができる施設であると感じる。保護者の方も安心していると思う。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 (※倫理性も含む)	法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組	×2	×2	×7
		(1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らすことがないよう必要な措置を講じている	5	4	
		9 個人情報事故への対応	5	5	
		(1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している			
		10 職員の労働条件の保護	×2	×2	4.71
		(1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	5	5	
		11 職員研修	×2	×2	
		(1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	5	5	
		合計点(満点35点)	35.0	33.0	32.97
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 個人情報の報告書を3か月ごとに公設民営担当に提出している。 9 個人情報事故への対応 ①令和6年度は法人でファイルサーバーシステムを導入して個人情報のファイルの扱いを徹底している。 ②書類のキャビネットについて鍵の施錠、開錠の記録簿を付けている。 10 職員の労働条件の保護 ①職員の下限報酬は足立区の法令に従っている。 ②法人の社会労務士から法改正の説明会を開いてもらい、育児・介護法の改正点等職員に伝えている。 11 職員研修 ①職員研修は区の研修、足立区民間保育園連合会、東京都の認可外研修に参加している。 ②その他園内研修、嘱託医との研修、法人研修も毎年講師を招いて講演を聞いたり、各園からの研修発表も行っている。 【改善すべき点・課題等】 9 個人情報事故への対応 管理庫の鍵の扱いは使用者が開錠、施錠の記録を取っており、当初は職員のひと手間となっていたが、習慣化できるとお互いの見落としをチェックできて事故を未然に防ぐ事ができるので継続していきたい。			
	担当課記入欄	9 個人情報事故への対応 P.Cの使用時間及び使用者のチェック表と個人情報キャビネットのチェック表により、誰が個人情報に触れているか明らかになるようにした。 11 職員研修 職員育成計画にて職員ごとに自ら望ましい職員像を設定し、それに向けた計画を作成している。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 十分な対策が講じられていると感じる。引き続き、事故防止に努めていただきたい。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
			5	5	
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	4.81
			5	4.5	
	担当課記入欄	合計点(満点25点)	25.0	24.0	24.05
		【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 ①委託料は、区の指導に従って健全に行っている。 ②法人でも毎月会計士、理事長、園長、事務職員で会計処理等について確認、フィードバックをしている。 1.3 委託料残額の取扱い 閉園に向けての予算計画、備品等の処理についても考えて行かなければならぬ。			
	評価委員記入欄	【改善すべき点・課題等】 1.2 委託料の健全な運用 ①閉園に向けて予想していた園児数より多く入園しているので、職員の雇用も法人全体で考えていく。 ②保育を続けながら閉園の準備もしなければならぬので、区の担当者ともよく話し合っていきたい。			
		1.3 委託料残額の取扱い 会計の中長期計画や積立計画を立てている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果 （アンケート調査等による）	利用者の満足度 （アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員		
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14		
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4			
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4	4.43		
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5			
		合計点(満点 70 点)	70.0	62.0	62.02		
		【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 ①毎回保護者アンケートは高い回収率を維持しており、令和6年度もアンケート回収率と各項目の「A そう思う」が90%を超える結果で、保護者の園に対する信頼と協力が感じられる。 ②送迎の時も保護者、職員の笑顔や笑い声があるのも子ども達が安心して園生活を過ごせる環境が出来ているのだと実感できている。 ③家庭数が少ない園なので一人ひとりの票が大きく反映されるため、一人だけの意見であってもしっかりと耳を傾けて職員間で共有している。 ④保護者からの自由意見はすべて公表している。 ⑤毎年改善点は振り返りを行っている。					
	【改善すべき点・課題等】 1.4 サービスの質の評価 この評価を閉園まで持続していきたい。						
	【改善すべき点・課題等】 1.4 サービスの質の評価 ①直近では令和4年度に第三者評価を受審し、回収率は93.5%。 ②第三者評価を受審していない年については、利用者アンケートを行っている。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 総じて高い評価を得ているが、特に職員の接遇や食事、安全対策、清掃・整理整頓について90%以上の高い評価を得ている。 【特記事項】						
	【評価すべき点】 保護者から評価が高く、お互い信頼関係が構築されていると感じる。これからも、子どもたちのために丁寧な対応をお願いしたい。 【改善すべき点】 【その他注意点】						

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
			指定管理者	担当課	評価委員		
事業効果	事業の取組み 指定管理者記入欄	保育の状況					
		1.8 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8		
			5	5			
		1.9 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2			
			5	5	4.50		
		2.0 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4			
			5	4			
		合計点(満点40点)	40.0	36.0	36.00		
		【アピールポイント】					
		1.8 保育の基本原則 ①職員の離職率が低く、経験年数を重ねている職員がおひさま保育園の保育を守っている。 ②職員の異動も少ないので卒園児やその保護者も気軽に園に遊びに来てくれるのがうれしい。 ③開園当初に入職した現場経験のない潜在保育士が、1年毎に保育のスキルを身に付けて成長していく姿を見るのがうれしい。 ④「忙しいけど笑い声が聞こえる保育園」というのがいつしか職員間のキーワードになっている。 ⑤保育内容も毎年区の研修から学ぶものを全職員で共有し、お互いの保育で気になる点やアドバイスをし合える雰囲気を作っている。					
2.0 全体的な計画・指導計画の作成 ①法人で立てた全体的な計画を元に、長期計画は5期に分けた期別、短期計画は週案としている。 ②ICT化も進み、職員の負担軽減にもなっている。 ③地域性もあるのか外国の方が多く、言葉、習慣、食事等の対応が多岐にわたるため、特に言葉は翻訳機を使うだけでなくそれぞれの国の言語でお手紙を渡す等の対応をしている。							
【改善すべき点・課題等】							
1.9 人権の尊重 「人権を守る」は、子どもに対する事だけではなく職員間もお互いに気持ちよく勤務できるような職場作りを継続していく。							
1.8 保育の基本原則、1.9 人権の尊重 ①子どもの人権や遊びについて園内研修を実施し、写真で視覚的に情報共有している。 ②子どもの興味や関心や発達に応じた遊びの環境がある。 ③子どもの人権を考えることについて保育会議で研修を実施している。 ④ガイドラインの人権編で保育を振り返り、子どもの人権を尊重することの重要性を共有している。 【特記事項】							
【評価すべき点】 ①子どもを大切にしていると感じた。 ②職員が楽しそうに働ける職場環境を感じた。							
【改善すべき点】							
【その他注意点】							

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	【保育の状況】	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2	×2	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	5	4.7	
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2	×2	
		合計点(満点30点)	30.0	28.4	28.44
事業効果	担当課記入欄	【アピールポイント】			
		2.1 指導計画の展開 ①各年齢で指導計画を作成して日々活動している。 ②保育日誌は毎日園長が目を通して、アドバイス等一言記入して返している。 ③クラス打ち合わせ、乳児、幼児で分かれての会議、非常勤・パート職員の会議もそれぞれ行い、クラスや子ども達の状況を保育を進めていく上での確認点として共有しており、全職員で全園児に関わる事ができている。			
		2.2 保育環境 ①保育環境は室内の気温・湿度計でチェックしている。 ②夏は戸外（水遊び場）の暑さ指数（W B G T）を測っている。 ③玄関前にはミストも設置して涼を取っている。 ④保育室内の遊具等もチェックしている。 ⑤毎朝園長が門の前で受け入れするので、園の外側、近隣も確認している。			
		2.3 小学校との連携 ①新田地域では6つの保育園と認証、小規模園が連携体制を取っていて、年齢毎の連絡会を行ったり、園長の打ち合わせや小学校との連携関係も良好で就学に向けての取り組みも活発に行っており、おひさま保育園はその活動の中心になっている。 ②その他にも近隣の介護施設「ひのき」さんへ5歳児が訪問に伺っている。			
		【改善すべき点・課題等】 2.3 小学校との連携 地域内の複数園で近隣の公園、防犯等の情報も共有できるようにしたい。			
事業効果	評価委員記入欄	2.1 指導計画の展開			
		①子どもが主体性をもって活動できるように環境や保育者の配慮がされている。 ②保育日誌に日々園長がひと言アドバイスを記入し、保育者の保育の振り返りや職員のモチベーションアップにつなげている。			
		2.2 保育環境 廊下や4、5歳児の部屋の一部が開放され、自然と異年齢児が関わり合って遊ぶ姿がみられる。			
		2.3 小学校との連携 ①5歳児保護者向けに近隣小学校で校長による就学に向けてのお話し会を開催し、就学に向けて保護者の不安軽減をする取り組みを行っている。 ②近隣の保育施設や小学校と課題の共有や交流活動を実施している。			
		【特記事項】			
評価結果	評価委員記入欄	【評価すべき点】			
		近隣小学校としっかりと連携が取れていることから、保護者は進学に向けて安心感が得られていると評価する。			
		【改善すべき点】			
評価結果	評価委員記入欄	【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果	事業の取組み 指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員		
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2	×2	×6		
			5	5			
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2	×2			
			5	4.7	4.57		
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2	×2			
			5	4			
		合計点(満点30点)	30.0	27.4	27.42		
		【アピールポイント】					
		2.4 食育計画 栄養士が食育計画を立てて、調理保育、食材の学び、食事のマナー等指導する機会を多く持っている。 2.5 食事計画 ①給食調理職員の会議も毎月行い、食事提供や給食室内の情報から改善点など話し合っている。 ②5歳児は誕生日（誕生日月）メニューをリクエストできたり、就学に向けての食事の流れも小学校で体験してきた。 2.6 食事の提供 ①令和6年度はアレルギー児が1名、ハラル食の子どもが3名いたが、毎月保護者とも献立を確認して安全に進められた。 ②開園から現在までアレルギー事故、誤飲、誤食も起きていない。					
【改善すべき点・課題等】							
2.5 食事計画 栄養士、調理師をはじめ給食に係る職員の会議も毎月行っており、特に調理器具の破損が予想できるものは速やかに替えていくようとする。							
2.4 食育計画 ①食育指導報告書を作成し、評価反省を行っている。 ②栄養指導・調理保育・食育遊び等、カテゴリ一分けをし、取り組みのねらいや内容が分かり易い食育予定表を作成している。 2.6 食事の提供 ①子どもの状況に応じた食事の提供をしている。 ②1歳児の食事の介助の際、子どもの食べる状況を丁寧に見取り、タイミングよく介助する必要がある。 ③アレルギー児の座席から他児の姿が見えるような位置と保育者が正面から介助できる位置を工夫すると良い。 【特記事項】							
【評価すべき点】							
アレルギーやハラル食など、子どもの状況に合わせた対応を行っている。							
【改善すべき点】							
【その他注意点】							
評価委員記入欄							

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2	×2	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	5	5	
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2	×2	
	事業の取組み	合計点(満点30点)	30.0	30.0	30.00
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①子ども達の健康管理については、毎日保護者からの検温や連絡をアプリで確認して、受け入れ時には前日や朝の様子を保護者に聞きながら子どもの健康状態を確認している。 ②法人の看護師からのアドバイスで保健だよりを発行したり、担当職員が保健指導を行っている。 ③令和6年度「あだちっこ・いい歯推進園」の表彰で歯みがきの歌をつくり、優秀賞をいただいた。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①0歳児はないが、0歳産明け保育の経験者が数名いるので、法人園で学んだ事をもとにしてSIDS訓練や救急訓練も毎月行っている。 ②普通救命講習の受講済者は8名おり、期限を見て順に再講習を受けている。 29 虐待等への対応 ①子どもの虐待を早期発見するために足立区のマニュアルにあるチェックリストを付けている。 ②些細な様子もすぐに園長や主任に報告する連携ができる。 ③必要な時はこども支援センターへんき等関係各所と連携をとって対応している。			
		【改善すべき点・課題等】 28 乳幼児突然死症候群の予防 救急救命訓練はSIDS訓練も含めて幼児クラスでの想定も行っているが、子どもだけでなく職員の体調不調や怪我の訓練（熱中症対策）も想定したい。			
	担当課記入欄	28 乳幼児突然死症候群の予防 AED訓練やSIDS訓練を実施している。 29 虐待等への対応 ①要支援家庭への対応記録を作成し、関係機関と連携している。 ②子どもの様子をチェックリストで子どもの健康状態を記録している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 救命講習を積極的に受講するなど、意識高く取り組んでいる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（新田おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

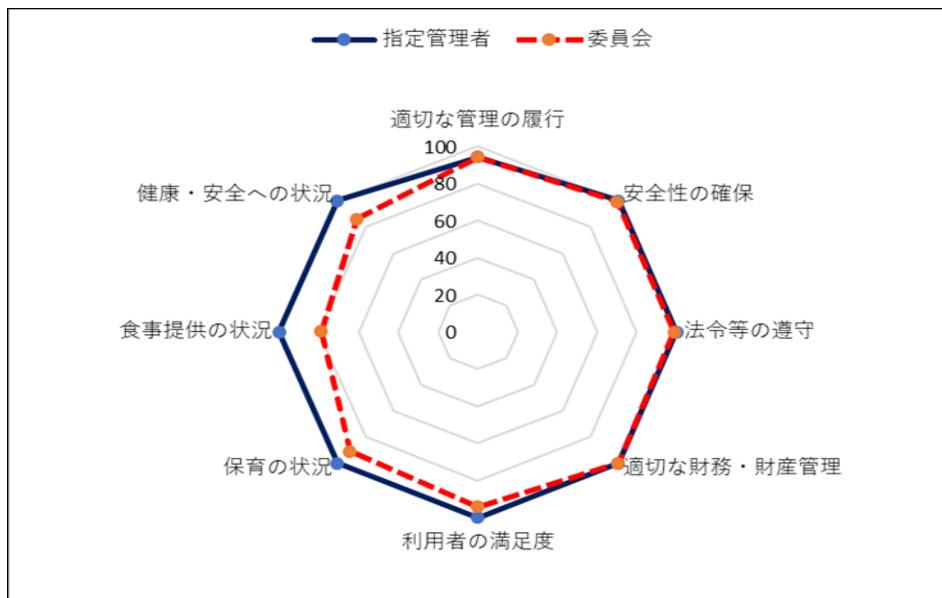
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 5	×2 4.5	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 4	4.57
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 5	×3 5	
	合計点(満点35点)		35.0	32.0	31.99
評価委員記入欄	【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①毎日の清掃は清掃分担表に従って、職員が協力して実施している。 ②園内で使用する遊具も危険な物や破損がないかチェックを行っている。 ③感染症の対策も状況に合わせて、マニュアルを参考にして行っている。 3.1 調理衛生管理 調理室の衛生管理や調理員の健康チェックもしっかりと行っている。 3.2 安全確保 ①保育中の安全については、ヒヤリハットや怪我簿から推察できる事を全職員で共有して事故防止、怪我の再発防止に努めている。 ②年度末の怪我の集計は次年度の参考にしている。				
	【改善すべき点・課題等】 3.2 安全確保 保育室内の環境設定については、非常勤・パート会議でも全員から意見を聞いて全職員で共有していく。				
	3.0 保育室衛生管理 ①毎月保育室の衛生面についてチェックしている。 ②掃除用具（バケツ）にカバーをかけたり掃除道具を整理整頓して設置している。 3.2 安全確保 ①事故報告やヒヤリハットは、事例と防止策を全職員で共有している。 ②訓練や安全確保の内容について園長が保護者に発信し周知している。 ③事務室前が玄関となっているため、事務室に職員が必ず在席し、園児の抜け出し防止に努めている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 清掃用具を片付ける際にカバーをかけるなど、衛生管理に対する意識が高い。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

水神橋保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人聖華

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的にとても良く取り組まれている。
- ②計画的に修繕を実施し、保育環境の向上に取り組んでいる。
- ③適切な財務運営・財産管理が行われている。
- ④保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員		ランクダウ ン	総合評価
	得点	評価		
	322	A+		

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】	

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
348.8	A+	322.0	A+

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な管理の履行	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	5	5	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	4	4.70
		合計点(満点20点)	18.8	18.8	18.80
	担当課記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 基本協定書の「作業実施報告」に基づいた年間計画を立て、施設・設備・備品等の保守点検を漏れの無いよう実施している。 2 施設の清掃等 ①施設の清掃等においても業務委託をし漏れのないように行い、職員が毎日の園舎内の清掃・消毒をしっかりと行い「掃除点検表」を用いて予防に努めている。 ②エアコンのフィルター、窓ガラス、グリストラップ等の清掃も定期的に行い、職員による園内外の大掃除も実施している。 ③倉庫なども定期的に清掃を行っている。 ④令和6年度に医務室のエアコンを1台交換。 ⑤用務員より報告を受け日々確認をし、必要に応じ対応している。 3 備品等の保守点検 ①樹木の選定を業者に委託し、自園でも定期的に実施している。 ②布団乾燥においても週末、週明けの天気の良い日にホールやテラスに広げる等、職員が細目に行っている。 ③定期的に布団を購入し、衛生的に保っている。 ④園舎内の清掃においては年5回専門の業者に依頼している。 ⑤ホール・5・4・3歳児クラスに続き、令和6年度は2歳児クラスを修繕し、予定していた全クラスの修繕が完了した。衛生的にも良くなり、利用者にとても喜ばれている。 ⑥今後も修繕計画を立てながら、実施していく。	4.8	4.8	
		【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①各項目規定回数以上の実施を確認。 ②修繕計画が立てられている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。 ②計画的に修繕を実施し、保育環境の向上に取り組んでいる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
管理状況	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員		
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7		
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	5	5			
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	5	4.7	4.96		
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3			
		合計点(満点35点)	35.0	34.7	34.72		
		【アピールポイント】					
		4 施設・設備の安全の確保 ①固定遊具は専門業者による安全点検を実施し、職員による固定遊具、園舎内外の自主点検も行っている。 ②その他にも職員が園内の見回りを行い、「防火・防犯点検表」を確認し、異常があった場合は報告するなど毎日の自主点検を行っている。 ③AEDは点検記録表に基づいて毎日インジケーターを目視し記録しているほか、毎月の点検についても項目ごとに行い、定期交換部品については定められた期限内に交換し常に正常な状態で使用できるようにしている。 ④職員に対して消防署職員が出席し、年1回のAEDを用いた応急救護訓練を実施している。 ⑤園長が令和6年度に救命救急資格を取得した。 5 防災の取組 ①避難訓練の計画では、年間を通して地震・火災等災害に備えた訓練を計画し、消火訓練も毎月実施している。 ②保護者の協力を得て、大地震発生を想定した引取り訓練を実施し、緊張感をもって行っている。 ③水害時の訓練においても、警察官立ち合いのもと計画を立て実施している。 ④事業継続計画を作成しており、重要事項説明書に記載し保護者にも入園説明会等で周知している。 ⑤その他にも散歩時や水遊び中の避難計画を立て実施している。 6 防犯の取組 ①防犯の取組として不審者対応訓練を実施している。 ②保護者への周知方法も工夫し、入園説明会、保護者会で対応の説明も行っている。 ③鍵管理においては管理手引きに基づきルールを決めて、日々の鍵の取り扱いを当番鍵持ち出し表を活用して鍵BOXに保管し管理しているほか、防災、防犯、施錠を点検表を用いて確認している。 7 事故への対応 ①法人ハンドブックで緊急時対応の文言を覚え、会議時に「緊急ブリーフィング」を行い意識を高めている。 ②法人の危機管理委員会から発信される「ヒヤリハット」事例を検討、また区の事故報告やニュースで取り上げられる事例を会議やラインワークスで知らせることにより自分のタイミングで見れる等、全職員に伝え事故防止の意識を高めている。 ③園内のヒヤリハットに関して、緊急性のある内容はその日のうちに周知し再度会議でも伝え、コドモンの様式を使用し、いつでも見ることで共有している。 ④全体会議のクラス報告に前月のヒヤリ報告件数、カテゴリー別にまとめ報告を行っている。 ⑤法人や足立区からの事故報告を全体会議で周知し、全職員が会議録を閲覧し、事故への意識を高めている。 ⑥区の「30分ルール」を会議で周知し、事務所に掲示とファイリングし職員が対応できるようにしている。 【改善すべき点・課題等】					
		5 防災の取組 ①BCPを重要事項説明書にも記載し保護者に周知を図っている。 ②消防署との合同訓練や警察署と連携して行う水害を想定し公社の上層階に避難する訓練、園外保育時に地震があった時の避難訓練など様々な想定で訓練を行っている。 6 防犯の取組 身元の確認が取れない人との対応を重要事項説明書にて保護者に周知し、警戒を呼び掛けている。 【特記事項】					
		評価委員記入欄 【評価すべき点】 防災訓練に保護者の参加を促すなど、内容の精度が高く園全体として防災意識の高さがうかがえる。 【改善すべき点】 【その他注意点】					

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 (※倫理性も含む)	法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	×2 5	×2 5	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	5	4.5	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 5	×2 5	4.93
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点35点)	35.0	34.5	34.51
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 ①個人情報の取り扱いについて、入社時のオリエンテーションで職員に周知している。 ②個人情報の利用目的については重要事項説明書に明記し、保護者に周知している。 9 個人情報事故への対応 ①個人情報の漏洩に繋がる事故は発生はしていないが、今後も事故防止に努め、全職員に個人情報の扱いについて周知徹底している。 ②個人情報が記載された書類は原則的に園外への持ち出しが禁止で、保管・廃棄についてはルールを決めて遵守し、またアクセス権限を設定している。 10 職員の労働条件の保護 ①毎年、職員代表との間で協定を結び、労働基準監督署に提出している。 ②令和4年度より足立区公契約条例を結び、職員に周知し遵守している。 ③ICT化を導入し、保育事務業務を軽減し、個人情報の管理を行っている。 11 職員研修 ①研修は職員に一定レベルの知識や技術が身に付くよう、経験年数を含めそれぞれに適した計画を立てている。 ②法人ハンドブックを整備し、職員一人ひとりが理解し実行できるように項目の研修を行っている。 ③法人研修では年齢別研修を行う事で、理念・目標への実現のため、発達に合わせ保育の実践を発表することで、個々のスキルアップに繋げている。 ④区が主催する研修（年齢別など）やキャリアアップ研修など職員の能力向上につながる研修に参加しやすいようにシフト調整を行っている。 ⑤研修の受講後は、園内研修を行い、本人の成長と職員の保育の質の向上の場としている。 ⑥足立区「保育の質ガイドライン」「振り返りシート」を活用し、研修計画を立て、職員による園内研修を行っている。 【改善すべき点・課題等】			
		8 個人情報保護の取組 ①新人研修の際に個人情報保護について周知しているほか、園内研修にてハンドブックの読み合わせを毎年全職員が実施。 ②「SNSで人生を棒に振らないための10か条」を更新し「10+1か条」として、若手職員の教育を実施。 10 職員の労働条件の保護 ICTの導入や法人内で作り物を共有することで時間外労働の軽減を図っている。 11 職員研修 足立区教育・保育の質ガイドライン研修を毎月実施している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 勤続年数が長く経験豊富な主任を2名配置するなど、職員配置が充実している。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員		
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5		
		5	5				
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	5.00		
		5	5				
		合計点(満点25点)	25.0	25.0	25.00		
				【アピールポイント】			
				1.2 委託料の健全な運用 ①委託料は協定書、社会福祉法人会計基準に従い、適正に管理している。 ②日々の会計業務に関しては、事務長が作成したものを法人経理担当者が確認し、会計士が最終確認している。 ③3カ月に1回、内部経理監査を行い、適正に運用処理されている。 ④水神橋保育園の特別区分を設け、委託費は小口現金・普通預金・定期預金で管理運用している。 ⑤貸付は行っていない。 ⑥当期末支払資金残高が委託料収入の30%以下となっている。 ⑦委託料の残額の取り扱いに関しては、協定期間の間で原則10%を上限としている。ただし、社会情勢等を勘案し柔軟に対応することがある。 ⑧本部繰入金に関しては、法人全体で3~4%按分して繰入を行っており、必要経費として計上している。			
				1.3 委託料残額の取扱い ①選ばれる保育園になるように、令和6年度に2歳児室の修繕を行った。 ②より安全性と衛生面が高まり、子どもや保護者にとって、魅力的な園となった。 ③今後も修繕計画にそって実施する。			
		【改善すべき点・課題等】					
		1.3 委託料残額の取扱い ①積立計画、積立金使用計画表あり。 ②これまで積立計画に基づき、ホール、5歳児室、4歳児室、3歳児室、2歳児室を改修しており、遊戯室のエアコンも指定管理者で入替を実施した。 ③今後も計画的に積立金の使用を予定している。 【特記事項】					
		【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 ③収支も良好であり、委託料の範囲内で適切に執行している。 【改善すべき点】					
		【その他注意点】					

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

※ 各記入欄については、特ない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
		利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	4.71
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	
		合計点(満点 70 点)	70.0	66.0	65.94
事業効果 利用者の満足度（アンケート調査等による）	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 ①指定機関の更新により、令和6年度にも第三者評価を実施し、サービスの向上に努めている。 ②保護者のアンケートでは保護者満足度が向上しており、特に職員に対して好意的な言葉を頂いた。 ③評価結果については会議で意見や要望について話をし改善に努め、園の対応策を保護者向けお礼と共に玄関に掲示し、コドモンでも配信している。 ④保護者、地域、職員の特徴やニーズの把握にも努めている。 ⑤3年連続で第三者評価を受けた事で保護者の意見を統計的に見る事で保育の改善に繋げた。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 ①苦情解決取扱規定に基づき「苦情申し出窓口」の設置について園内掲示で伝え第三者委員の存在も明記している。 ②日常的な保護者とのコミュニケーションを大切にし、意見箱も設置して意見を出しやすい環境作りに努め、いただいた内容に応じ敏速に改善に努めている。 ③行事の参加後に保護者アンケートを実施し、意見をまとめたものを掲示にて保護者に周知している。 ④そこでの改善を求められた事においては職員に周知し、検討し次年度に繋げている。 1.6 保育内容に関する評価 ①急な保育時間の変更や、食事の提供にも柔軟に対応している。 ②第三者評価ではアンケート回収率は71.4%。たいへん満足と満足を合わせて96.7%の結果をいただけた。 1.7 施設内容に関する評価 ①安全面では各保育室の環境設定に注意し、遊びの発展だけではなく、年齢に合わせた環境設定を行った。 ②園内外の点検は定期的に行い、清掃においても看護師と用務員を中心に行われ、看護師の指示のもと職員も決められたルールで清掃を行っている。 ③「年齢別チェックリスト」を活用することで更に事故防止の意識を高めている。 ④園長、主任の指示のもと転倒防止対策、環境設定、整理整頓に努めている。 【改善すべき点・課題等】			
		1.4 サービスの質の評価 第三者評価を受審し、利用者回収率は71.4%。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 総じて高い評価を得ているが、特に職員の待遇や食事、安全対策、清掃・整理整頓等は90%以上の高い評価を得ている。 【特記事項】			
評価委員記入欄		【評価すべき点】 保護者から高い評価を得ており、信頼されていることがうかがえる。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】 第三者評価などの利用者回収率が上がるよう、継続的な取り組みをお願いしたい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員	
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8	
		5	5			
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2		
		5	5	4.52		
	評価委員記入欄	20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4		
		5	4			
合計点(満点40点)			40.0	36.0	36.16	
【アピールポイント】						
18 保育の基本原則 ①保育所保育指針、基本原理と法人の理念・目標に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、発達の主体は子どもであるという考え方のもと、子どものあるがままを受容し、思いに共感して、養護と教育を通して子どもの発達を援助していくことを念頭に、人間形成において最も大切な時期のお子さんを預かっているという責任と自覚をもって保育を行っている。 ②本物に触れる多くの体験を取り入れて、豊かな感性や子どもが自ら成長しようとする力を育てていくことを大切にしている。 ③子どもが主体的に遊べるようクラス会議に役職が参加し、環境や保育の見直しを行い、計画的に改善している。						
19 人権の尊重 ①職員は人権擁護について、法人全体研修やオンデマンド研修他、年数回研修に参加し自己評価を行っている。 ②子ども一人ひとりに対して適切な関りを心掛け、丁寧な保育、やさしい保育に努めている。 ③区からの情報（セルフチェックリスト等）を活用し、人権に対する意識をさらに高める機会を作っている。						
20 全体的な計画・指導計画の作成 ①それぞれの年齢の発達を理解し、全体的な計画、年間カリキュラム、月案、週案、デイリーを作成し、3歳未満児については、個別の指導計画を立案し、振り返りを行っている。 ②0～2歳児においても担当制保育を取り入れる事で情緒の安定を図ると共に、具体的な保育のあり方を十分に検討している。 ③保育についても副主任以上会議で常に話し合いを重ね、区や法人と連携し保育を進めている。 ④長時間保育利用児においては家庭的雰囲気の中で過ごせるよう目標をたて保育を行っている。						
【改善すべき点・課題等】						
18 保育の基本原則 ①子どもが主体的に遊べる環境の工夫がされている。 ②本物に触れる体験を取り入れている。						
19 人権の尊重 ①区の保育実践振り返りシート、人権擁護のためのチェックリストなどで、振り返りを行い、園長・主任がチェックをしている。 ②法人全体研修やオンデマンド研修・区の人権研修を受講し、人権意識の向上に努めている。 【特記事項】						
【評価すべき点】 子どもを中心として、主体的に遊べるよう取り組まれている。						
【改善すべき点】						
【その他注意点】						

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2 5	×2 4.7	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	×2 5	×2 4	4.57
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点30点)	30.0	27.4	27.42
評価委員記入欄	担当課記入欄	【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 ①指導計画の評価、反省を行う事で次月に反映している。 ②各クラス保育日誌を作成し日々の評価反省を行い、園長、主任の指導を受け改善に繋げている。 ③0～2歳児は個別日誌や個別月案を作成している。 ④3歳児以上も必要に応じて個別の計画を立て実践し振り返りを行い改善に努めている。 ⑤保育ドキュメンテーションを取り入れたことにより、職員間の対話から子どもも理解を深め保育の質の向上に繋がっている。 2.2 保育環境 ①月に1回以上クラス会議を行い、クラスでの話し合い後、園長、主任、副主任で共有し保育の見直しを行い、改善出来るよう話し合う事で課題解決を迅速に行っている。 ②保育環境では日々点検や看護師、主任、園長が各クラスを回りながら声掛けを行っている。 ③空気清浄機を各保育室に設置。換気や湿度に配慮し、適正温度を掲示し意識するようしている。 ④日々の衛生管理は看護師との連携と用務員による掃除箇所を点検し再度の掃除が必要な場所は協力しながら取り組んでいる。 2.3 小学校との連携 ①就学に際して、子どもに関する情報共有と子どもの育ちを支えるための資料として保育要録を作成し、園長が確認の上、担任が各小学校へ届けている。 ②その際に園児の発達状況を伝える時間を頂いている。 ③幼保小ブロック会議に参加し小学校と連絡をとり計画をたて、できることを行った結果、小学校との交流も増え特に給食体験は子どもたちにとっても良い経験になった。 ④年度始めに西保木間小学校の校長先生が来園し、保護者に向けて「就学に向けて」について話をして頂く。 ⑤少しでも園児や保護者の就学への不安が軽減できるように個別対応も必要に応じて行い努めた。 ⑥今年度は「開かれた学校づくり協議会」「ブロック園長会」に積極的に参加することで情報を収集し、その内容を参考にすることで小学校との連携に繋げている。 【改善すべき点・課題等】			
		2.1 指導計画の展開 ①子どもが主体性をもって活動できるよう環境がつくられている。 ②令和6年度からドキュメンテーションを活用し職員間で対話をしたり、園長・主任がコメントを返したりし、子どもも理解を深め保育の質の向上に努めている。 2.2 保育環境 ①保育室は整理整頓され、安全な保育環境を整えている。 ②0歳児クラスにおいて、オムツ交換場の棚上のかごが落下の危険があるため是正が必要。 2.3 小学校との連携 近隣小学校の校長が保護者会で就学に向けて話をし、保護者の不安を軽減する取り組みを行っている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 近隣小学校と積極的に交流を図り、進学時の保護者の不安感を軽減する取り組みを行っている。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2	×2	×6
		5	4		
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2	×2	
		5	4.3	3.93	
	担当課記入欄	2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2	×2	
		5	3.5		
	評価委員記入欄	合計点(満点30点)	30.0	23.6	23.58
		【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①食育計画は全体的計画に基づき作成している。 ②栄養士が栄養のバランスを考慮しながら、園独自の献立を作成し、昨年度に引き続き「おいしい給食」をテーマに日本食のおいしさを子どもたちに知ってもらえるよう月1回、郷土料理を提供している。 ③行事ではテーマに合わせてイベント食を提供し、5歳児対象にゼリー・クッキー・芋煮作り等クッキングも行っている。 ④食育の年間計画に基づき、プランターで野菜（小松菜、ピーマン、ナスなど）の栽培を行っている。 2.5 食事計画 ①新メニューの給食、おやつを月2回以上提供している。 ②栄養士と保育士が連携を取り、季節を意識した食育指導などを園児向けに行い、食への関心を高めている。 ③毎月、食育ボードを活用し、食育年間計画に沿ったテーマを園児、保護者に向けてわかりやすく掲示している。 2.6 食事の提供 ①喫食表により園児の食の進み具合を把握し、園児においしく給食を食べてもらうよう味付けや献立の組み合わせなど工夫している。 ②園長、主任、栄養士、担任で離乳食・給食会議を月に一回行い、食事の様子を報告し、食育の年間計画をもとに毎月の目標の振り返りを行い、子どもたちの食への興味につながるよう話し合いを行っている。 ③アレルギー児の保護者とは毎月面談し、次月の献立を確認し、その情報を全職員に周知徹底している。 ④アレルギー児の給食提供までの流れを明確にし、栄養士または調理師とアレルギーチェック表を用いて、保育士へのダブルチェックを行い、除去の食品と園児名が明記された個別トレイで提供され、職員が側につき誤配、誤食の防止に努めている。 ⑤宗教食においても同様に配慮し提供している。 【改善すべき点・課題等】			
		2.4 食育計画 ①毎月、食育のテーマを決め計画的に取り組んでいる。 ②おやつ総選挙・調理体験など、工夫ある取り組みを行っている。 2.5 食事計画 食育の取り組みについて、写真掲示をして分かりやすく子どもや保護者に発信している。 2.6 食事の提供 ①一人ひとりの喫食状況を記入し、園児の食の進み具合を把握し、結果を献立作成の際に生かしている。 ②持参食の容器に記名が無い子どもがいたが、提供誤りにつながるため再度確認が必要。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①宗教食を意識するなど、児童一人ひとりに寄り添った食育が行われている。 ②おやつ総選挙など、子どもたちが楽しめる独自のイベントがある。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 5	×2 4	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 5	4.33
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 5	×2 4	
		合計点(満点30点)	30.0	26.0	25.98
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①看護師と保育士が連携を取り年間保健計画を立て子どもたちに向けて保健指導を行っている。 ②指導は子どもたちの年齢に合わせた内容で理解しやすいうように工夫して取り組んでいる。 ③子どもたちにも日常の保育中に声掛けや足立区が推奨する早寝・早起き・朝ごはんやベジファースト等も活用し、継続して指導を行うことで指導内容が習慣化することを目標にしている。 ④健康診断は園医による年間2回（0歳児は月1回）の内科健診、年1回の歯科健診を行い、結果を記録すると共に、保護者と共有し必要な場合は受診を勧め家庭と連携して園児の健康管理に努めている。 ⑤特に歯と口の健康については、歯磨き指導を実施し、家庭への呼びかけを丁寧に行うことで、園全体の口腔衛生の状況が向上している。 ⑥令和6年度は区が主催する「いい歯推進」にて足立区長賞を獲得した。 ⑦予防接種は便りや口頭で対象家庭に呼びかけ接種率の向上を目指している。 ⑧年1回看護師が目の愛護デーに4、5歳児対象の視力検査を実施することで家庭で気づきにくい視力低下のスクリーニングし早期矯正等に繋げている。 ⑨感染症予防対策として、園医と連携し地域のサーベイランスを情報収集し、必要に応じて保護者に周知し、症状を有する児は早期発見し、個別対応やお迎え依頼・受診を勧めている。 ⑩感染症流行の兆しがみられた時は、保護者周知と施設の消毒を徹底している。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDSについては職員に向けた対応訓練や研修を年2回行い、日々の睡眠時は午睡チェックを0歳児が5分起き、1、2歳児は10分起き、幼児は15分起きに個別に呼吸、顔色、その他異常がないかを視診、触診にて確認し、あおむけ寝の姿勢を徹底し午睡時の事故防止に努めている。 ②0歳児、1歳児は保護者にアプリにて睡眠状況を配信し周知している。 29 虐待等への対応 ①虐待の早期発見のために日々の保育の中で子どもたちの心身の状態に常に注意を払っている。 ②虐待が疑われる時は速やかに専門機関と連携を取り適切な対応に努めている。 ③「子どもの虐待発見シート50」を利用し定期的にチェックを行っている。 ④虐待発見時の通報の方法を玄関に掲示している。 ⑤法人研修やハンドブック、区の保育の質のガイドラインを用いて研修を行い、虐待への意識を高めている。 ⑥保護者会で日々「適切な保育」を心がけていることを伝えることで、職員も日々の子どもとの関わりが適切に保育が進められるよう、意識付けている。 【改善すべき点・課題等】			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 ①午睡時の室内の明るさは、保育室の陽の入り方に合わせて明るさを保っている。 ②年度当初に法人作成の動画を使用して、SIDS訓練や午睡観察の実演等の訓練を実施している。 29 虐待等への対応 育児困難家庭への支援記録を作成しており、必要に応じて区や関係機関と連携し、適切に対応している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 歯科検診において、区長賞を受賞するなどしっかりと取り組まれた結果であると評価する。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
評価委員記入欄		【評価すべき点】			
		【改善すべき点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（水神橋保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

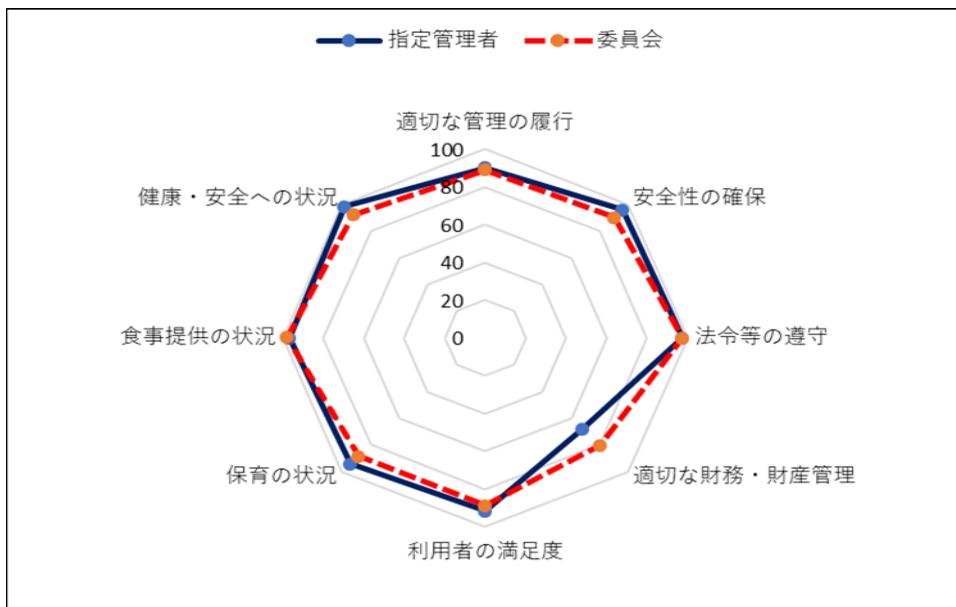
大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員		
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 5	×2 5	×7		
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 4	4.29		
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 5	×3 4			
		合計点(満点35点)	35.0	30.0	30.03		
			【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①掃除点検表を基に各クラスが毎日環境衛生に努めている。 ②看護師が毎日各保育室を巡回し、温度、音、採光、換気、水回り、棚の上の整頓、エアコン、空気清浄機のフィルターの清潔を点検し、毎月の全体会議で報告し改善を求める働き掛けをしている。 ③施設内の玩具は定期的に消毒し、衛生的に使用している。 ④クラスで感染症罹患児が出た時は、感染拡大予防策として、消毒液を用いた清掃を行っている。 ⑤手洗い、うがいについては必要性を朝の園内放送で毎日周知している。 ⑥排便時のオムツ交換は専用のエプロン、マットを使用し、使用後はその都度消毒している。 ⑦嘔吐処理研修を全職員に徹底している。 3.1 調理衛生管理 ①給食の配膳は保育用のエプロンと配膳用のエプロンを替えて三角巾も着用する。 ②調理師は調理室から出る時は白衣を脱いでいる。 ③調理従事者と調乳担当者は毎日健康状態に留意しチェックを行い記録に残し、下痢、嘔吐等の症状がある場合は直ちに医療機関を受診し感染症疾患の有無の確認を行っている。 ④衛生管理者に個人の衛生管理と健康チェック表を付けており、点検作業の結果を毎日報告し記録している。 3.2 安全確保 ①事故事例等を会議やラインワークスで知らせることにより、全職員に伝え事故防止の意識を高めている。 ②園児の安全確保のため法人ハンドブックを活用し緊急時の対応の職員への園内研修を通して常に子どもたちの安全を意識付け確保するよう努めている。 ③園内でのヒヤリハットの情報を共有しコードモンの様式を使用しいつでも見ることで共有している。 ④全体会議のクラス報告に前月のヒヤリ報告件数、カテゴリー別にまとめ報告を行うことで安全への意識を高めている。 ⑤避難経路の確保のため非常口、経路に物を置かないよう、園長、主任がラウンド時に確認すると共に、用務員の清掃時に確認しながら清掃を行っている。 ⑥事故発生時は足立区への報告「30分ルール」について会議で周知し、事務所に掲示とファイリングし職員が対応できるようにしている。 ⑦事故防止チェックリストを活用し玩具を含め点検を行っている。 ⑧月齢に見合った玩具を選択し子どもたちが安全に遊び込めるよう環境を整えている。				
			【改善すべき点・課題等】				
			担当課記入欄	3.0 保育室衛生管理 ①玩具等は、ルール化して消毒を行っている。 ②看護師（ラウンド時）や用務員の気付いた点を毎日記録・共有して改善できるように取り組んでいる。 3.2 安全確保 ①ヒヤリハットは統計を出し職員に共有しているほか、法人の園長会でも共有し法人の事例も回覧している。 ②事故報告やヒヤリハットは、重要度に応じてラインワークスを利用し速やかに共有し、自分事として受け止められるようにしている。 【特記事項】			
			評価委員記入欄	【評価すべき点】 衛生管理、安全確保に対する取り組みがしっかりと行われている。引き続き、子どもの安全を守るために取り組まれたい。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】					

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

竹の塚北保育園 評価シート

【 指定管理者 】 社会福祉法人三樹会

【 評価対象年度 】 令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
②適切な財務運営・財産管理が行われている。
③保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	316	A+

ランクダウン
有・無

総合評価
A+

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

（評価委員会評価基準）

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率			90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者	区担当課		
得点	評価	得点	評価
325.5	A+	316.7	A+

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
適切な管理の履行 状況	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	4.5	×2 4.5	×2 ×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	4.5	4	4.45
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4.5	4.8	
		合計点（満点20点）	18.0	17.8	17.80
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 基本協定書の施設管理基準に基づき、施設・設備等についての点検を漏れなく規定通りに行っている。 2 施設の清掃等 ①施設内の清掃に関しては業者との業務委託をし漏れの無いように行っている。 ②用務員がエアコンのフィルター等の清掃を行ったりし、日頃より清潔で安全な施設の保持に努めている。 ③職員も点検表に基づき日々消毒や清掃を行い清潔な園舎の保持に努めている。 ④エアコンについては全機種の内部清掃を業者に委託して行っており、施設管理基準以上になっている。 ⑤0歳児の布団は、丸洗いできるベビーエアマットを活用し清潔な状態を保持している。 ⑥カーペットやマットも洗えるものにし、防炎加工を配慮しつつ清潔な状態を保持している。 3 備品等の保守点検 ①保守点検に関しても、基本協定書に基づき漏れの無いように行っている。 ②樹木の剪定に関しては、害虫が付いた際や樹が伸びすぎた際にも剪定し、園児の虫刺されやケガに及ばないようにしている。 ③備品に関しての修繕計画を作成し、実施している。 【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①規定回数以上の実施を確認。 ②今後の修繕計画が立てられている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者 担当課 評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2 ×2 ×7 5 4.8
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	5 4.5
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	5 4.5 4.50
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3 ×3 4.5 4.3
		合計点(満点35点)	33.5 31.5 31.50
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①固定遊具については、専門業者に委託し点検を行っている。 ②毎月、職員が固定遊具や園舎内外の自主点検を行っている。 ③日々の中でも、気づいた危険箇所等については、小さな事柄についても即座に園長に報告し、全職員で共有し、必要に応じて修繕等を行っている。 ④警備会社の監視システムを設置している。 ⑤園舎火災警備点検は警備会社に委託し、日々の警備体制を整えている。 ⑥園外でもAEDを使用する可能性を考慮し、いかなるときも迅速に対応できるよう救命講習の受講に加えて、管轄消防署に依頼して心肺蘇生法やAEDの訓練を行う計画をしている。 ⑦各保育室等全ての部屋、出入口に監視カメラを設置している。 5 防災の取組 ①毎年度年間の避難訓練計画を作成し、地震、火災、水害等に備えた訓練をあらゆる場面において行い、毎月、消火訓練も行っている。 ②保護者にも避難場所の確認を促すとともに、毎年度、大きな災害を想定した引取り訓練を実施している。 ③水害訓練では、毎年度、実際に園の上部にある団地の3階まで避難する訓練を行っている。 ④BCPマニュアルを作成し職員に周知している。 ⑤毎年度、竜巻を想定した訓練も行っている。 6 防犯の取組 ①防犯対策として、警察官の方の指導の下、不審者訓練を行い、さすがの使い方も指導してもらっている。 ②出入口には、電子錠を使用し、不審者の侵入を防いでいる。 ③戸締り点検表を作成し、日々の施錠の徹底を図っている。 ④鍵管理簿を作成し、管理を徹底し、鍵を紛失しないように留意している。 7 事故への対応 ①ヒヤリハットについては、事例を毎月の会議にて周知した上で回覧し、年間100件以上挙げている。 ②30分ルールについては、マニュアルにも記載の上毎年行う新年度会議にて共有し、電話機にも添付いつでもだれでもこのルールのもと動けるようにしている。 ③事故や怪我が起きた際には、即座に全職員に周知し再発防止に努めている。 ④すべての部屋に見守りカメラを設置し、怪我や事故が起った際には状況を確認できるようになっている。 ⑤ICTを活用することで職員にすぐ事故の周知ができるように努めている。 【改善すべき点・課題等】	
	担当課記入欄	4 施設・設備の安全の確保 普通救命講習を職員全員が受講し、期限前に更新も行っている。 5 防災の取組 ①「防災対策職員マニュアル」を用い、職員が最低限度知っておくべき内容が共有されている。 ②訓練に併せて点検項目を設けており毎回チェックしている。 ③地震だけでなく水害や竜巻を想定した訓練を実施している 6 防犯の取組 出入口だけでなく各保育室にもカメラを設置している。 【特記事項】	
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 様々な災害を想定した訓練を実施し、その情報を保護者と共有することで、高い防災意識を維持している。 【改善すべき点】 【その他注意点】	

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点
管理状況 (法令等の遵守 (※倫理性も含む))	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者 担当課 評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らすことがないよう必要な措置を講じている	×2 5 5
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	×2 5 4
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 4.5 5
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 5 5
		合計点(満点35点)	34.0 34.0 34.02
		【アピールポイント】 8 個人情報の取組 ①個人情報の取扱いについては、毎年行う新年度会議の際に全職員に対し細心の注意を払うように周知している。 ②保護者に対し、入園時の重要事項の説明をして同意を得ている。 ③今まで、個人情報の流出等の事故は一度も起こっていない。 ④職員に対し、個人情報の遵守や、個人情報保護規定に関する研修を行っている。 ⑤個人情報について再度のお知らせとお願いを保護者に配布しSNS利用時の注意など保護者に対して周知をしている。 9 個人情報事故への対応 ①個人情報漏洩の事故が起こらないように、カメラ、USB、SDカード等の管理の徹底を図っており、SDカードに関しては、管理簿を作成している。 ②足立区より求められている個人情報の定期報告に対し、適切に報告を行っている。 10 職員の労働条件の保護 ①保育、事務作業双方に関し、極力業務の簡素化を図り、職員の負担の軽減を図っている。 ②令和4年度には、職員の年間労働時間を大幅にカットし負担軽減を実施した実績がある。 ③毎年度、労働基準監督署と36協定等の協定を取り交わしている。 ④一年間の就労時間を職員の状況に合わせ、幅広い選択肢より選べるようになっている。 ⑤有給休暇、産前産後休業、育児休業を取りやすい環境を整備し、育児休業制度を活用した全ての職員が復帰している。 ⑥ICT化を導入し、業務の軽減、利便性の向上を図っている。 ⑦法人で社会保険労務士がいるので、労働基準法の改正があればその都度説明をうけて規則の改正を行っている。 ⑧法人として多様な働き方実践企業のプラチナ認定をうけている。 ⑨毎年全職員にエンゲージメント調査を実施しており、施設運営の改善に取り組んでいる。 11 職員研修 ①研修に力を注いでおり入職時の法人の理念研修をはじめ各階層別、年齢別、職種別等の研修を行っている。 ②園内外の研修に積極的な参加を推奨し、また、参加できる環境を整え、オンデマンドの研修も始めたことでさらに参加しやすい環境になっている。 ③法人内の系列園間での公開保育を実施するなどし、互いの保育を見聞きし研鑽を積むことから保育の質の向上を目指している。 ④研修を受講後は、報告書を作成し他の職員にも必ず共有している。 ⑤毎月、自己評価表等を活用し各職員が自らの保育の振り返りを行い、その後の保育に活かせるようにしている。 【改善すべき点・課題等】	4.86
		8 個人情報保護の取組 個人情報についての再度のお知らせとお願いを保護者に配付し、SNS利用時の注意など保護者に対しても周知をしている。 10 職員の労働条件の保護 ①有給休暇を活用し計画的に休暇を取得しているほかバースデイ休暇やメモリアル休暇も設定している。 ②法人として埼玉県の多様な働き方実践企業のプラチナ認定を受けている。 【特記事項】	
		【評価すべき点】 ①個人情報の管理が徹底されている。 ②法人独自に休暇制度を設けるなど、良好な職場環境を保っている。 【改善すべき点】	
		【その他注意点】	
担当課記入欄	評価委員記入欄		

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	3	4	
			×2	×2	4.02
		合計点(満点25点)	17.0	20.0	20.10
	担当課記入欄	【アピールポイント】 1.2 委託費の健全な運用 ①委託料は協定書、社会福祉法人会計基準に従い、適正に管理している。 ②日々の会計業務に関しては、園の事務担当者が作成したものを本部経理担当者が確認し税理士法人が最終確認している。 ③貸付は行なっていない。 ④本部経費の配賦基準を単純な施設数割でなく人数割で行なっており、適正な損益管理をしている。 1.3 委託料残額の取扱い 委託費の管理・運用については、協定書、社会福祉法人会計に基づき適切に管理している			
		【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	1.2 委託料の健全な運用 本部経費の退職金を除いた全執行額に対する割合が、昨年度に比べて大きく減少している。 本部経費は人件費を職員数で按分する方法により算定しているほか、上限額も定めており、令和6年度は上限額に達したことから割合が減少したものと思われる。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果 （アンケート調査等による）	利用者の満足度 （アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員	
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14	
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4		
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4.5	×4 4	4.43	
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5		
		合計点(満点 70 点)	64.0	62.0	62.02	
		【アピールポイント】				
	1.4 サービスの質の評価					
	①三年に一度、第三者評価を受審し高い評価をいただいている。直近では令和6年度に受審している。 ②第三者評価を受審しない年度については、第三者評価に準じた保護者アンケートを行っており、こちらも満足度の高い結果になっている。 ③評価結果については、職員に共有し課題の解決をはかり、さらにより良い保育園作りを目指すよう努め、保護者にも公表している。 ④離乳食、トイレトレーニング等に関しては、一人ひとりの成長に合わせて柔軟に対応している。					
	1.5 保護者・地域への対応に関する評価					
①日頃より、保護者とのコミュニケーションを密にし、話しやすい関係性の構築に努めている。 ②意見箱を設置し、意見を出しやすい環境を作っている。 ③年に2回個人面談を行い、家庭と園で子どもの健やかな成長を喜び、園児の情報を共有する。 ④連絡帳等で心配な様子があった場合には、その都度声掛けをしたり面談を行い、育児に関する負担や不安の軽減をしている。 ⑤保育参観や行事の後にはアンケートをとり、保護者の要望等を把握し、職員と共有の上、次の行事に反映する事でさらにより良い行事の開催に繋げるようにしている。 ⑥苦情解決取り扱い規定に基づき「苦情申し出窓口」の設置について園内掲示で伝え、第三者委員の存在を明記している。 ⑦要望苦情に関しては必要に応じて面談を行い解決に取り組んでいる。						
1.6 保育内容に関する評価						
①急な保育時間の変更や、食事の提供にも柔軟に対応している。 ②給食は一汁三菜の工夫されたメニューがあがりたいと大多数の方が回答してくれている。						
1.7 施設内容に関する評価						
①定期的に園内外の点検を行い、安全の確保に努めている。 ②転倒防止策等の安全対策を講じている。 ③各年齢に合わせた玩具や、環境設定を行い安心して過ごせるように配慮している。 ④用務や職員が各チェック表を元に園舎内外の清掃を徹底している。						
【改善すべき点・課題等】						
1.4 サービスの質の評価						
第三者評価を受審し、利用者回収率は64.1%。						
1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価						
総じて高い評価を得ており、特に職員の待遇や安全対策、清掃・整理整頓等は90%以上の高い評価を得ている。						
【特記事項】						
評価委員記入欄	【評価すべき点】 保護者からの評価も高く、信頼されていることがうかがえる。 【改善すべき点】 【その他注意点】					

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		4.5	4		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
	評価委員記入欄	5	4.5	4.38	
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		4.5	4.5		
		合計点(満点40点)	37.0	35.0	35.04
	担当課記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 ①子ども主体性を尊重した保育を提供するように心がけ、子どもが自らやりたいと思える環境づくりや、言葉がけをしている。 ②保育所保育指針、法人の理念、方針をもとに、園児に最善の利益を提供するように努めている。 ③子どもの主体性を重んじ、自らが自主性を持って活動できるように配慮している。 19 人権の尊重 ①子どもの個性や、成長の過程を見定め、一人ひとりに寄り添った保育を行うように努めている。 ②園内研修で「自己チェックシート」を元に人権について自己評価している。 ③「足立区教育保育の質ガイドライン」とチェックリストを用いて虐待に対する意識や連携機関への理解を深めている。 20 全体的な計画・指導計画の作成 ①各年齢の発達に応じ、配慮が必要な園児に関しては、個別指導計画を作成し丁寧な関わりを行っている。 ②0歳児から2歳児は、個別指導案を作成した上で、一人ひとりに寄り添った保育を提供するよう心掛けている。 ③毎月行う会議の際に、各クラスの反省や園児の様子等の情報を職員で共有している。 ④毎月月末に保育の振り返りシートにて自分の保育を振り返り、評価反省を行い次に繋げていけるようにしている。			
		【改善すべき点・課題等】			
		18 保育の基本原則 ①既成の食べ物の玩具のほかに、見立てられる素材があると良い。 ②5歳児クラスについては、廃材など自分でイメージしたものを製作できる環境が整えられている。 19 人権の尊重 ①人権尊重マニュアルを作成している。 ②ガイドラインの人権についてチェックシートを活用して保育を振り返っている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①子どもが主体的に制作に取り組む環境が保たれている。 ②足立区教育保育の質ガイドラインを活用した人権尊重の取り組むを行っている。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者 担当課 評価委員		
		2.1 指導計画の展開 (1)指導計画に基づき保育が行われている (2)指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3)保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2 5 4.5	×2 4.5	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	×2 4.5	×2 4	4.50
		2.3 小学校との連携 (1)就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2)地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点30点)	29.0	27.0	27.00
		【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 ①年間指導計画・月案・週案等の指導計画について、評価、反省を行い次の保育に反映させるようにしている。 ②乳児クラスは、個別の指導計画を作成し一人ひとりの育ちに寄り添った保育を提供できるようにしている。 ③日々の保育日誌を作成し、評価反省を行い振り返りを行っている。 ④発達支援児に関しては、園生活支援シート・園内支援個別シート・個別指導計画・個別日誌を作成し、保護者の思いも取り入れつつ個別の配慮を行っている。 ⑤毎年度末に評価反省を行った上で、全職員で指導計画の見直しを行い、課題解決に繋げる事で保育の質の向上に繋げている。 ⑥毎月クラス会議を開き、クラスの保育について振り返りを行い、次月の指導計画に反映させるようにしている。 ⑦全体の会議でも園児、クラスの様子を共有している。 2.2 保育環境 ①各部屋に温度湿度計を設置し、温度・湿度を適正に保っている。 ②年間を通して空気清浄機、乾燥する冬の期間は加湿器を設置している。 ③年度ごとに園児の様子に合わせた保育環境を検討し、子どもの遊びに応じて環境設定を変えている。 ④日々の消毒・清掃に関しては、看護師、用務員と連携を取り、点検表を作成の上適切に行っている。 ⑤新型コロナウイルスが五類になった後も、あらゆる感染症の園内感染防止のため、引き続き換気を行っている。 ⑥午睡時の採光などの環境についても適切に対応している。 ⑦午睡チェック表に室温・湿度を記録している。 2.3 小学校との連携 ①幼保小連携活動として、毎年度年間実施計画書を作成の上、給食体験や、一年生体験、小学校教諭の保育所体験等、渕江小学校との交流を行っている ②園長が渕江小学校の開かれた学校づくり協議会の委員となっており、協議会への参加や、主催する行事へ参加している。 ③新型コロナウイルスの影響で中止となっていた3園交流を再開し、水神橋保育園、西保木間保育園との交流を行っている。 ④年度末に4、5歳児の保護者を対象とし、渕江小学校の校長による校長講話会を開催している。 【改善すべき点・課題等】			
		2.1 指導計画の展開 ①職員会議やクラス会議などで月案反省や保育内容の見直しを行っている。 ②子どもの姿や日々の活動を捉えて保育の振り返り評価・反省を行い、今後を見据えて記録している。 2.2 保育環境 絵本を読むコーナーや熱帯魚の水槽などがあり、子どもの興味や関心を大切にしている。 2.3 小学校との連携 ①給食体験や一年生体験や小学校長講話を5歳児保護者会で実施している。 ②近隣の保育園と3園で交流活動を実施している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①良好な保育環境が保たれている。 ②近隣小学校とも積極的な連携を行い、進学に向けた不安軽減に取り組んでいる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者 担当課 評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 ×2 ×6 5 5
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 ×2 5 4.7 4.90
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 ×2 4.5 5
		合計点(満点30点)	29.0 29.4 29.40
		【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①食育計画を作成し、子どもが楽しめる内容の食育活動を行っている。 ②子どもたち自ら野菜を植え、水やりし、収穫を体験できるようにしており、その食材で何ができるか子どもたちが考えて、クッキングに発展させた結果、野菜への苦手感が軽減されている。 ③園児が収穫した野菜を調理し、給食で提供している。 2.5 食事計画 ①毎月給食会議を行い、日々の喫食の様子を栄養士に見てもらい、給食おやつの内容や形状等に反映させている。 ②0歳児は、担任、栄養士、園長、看護師で離乳食会議を行い情報共有している。 ③足立区の「一口目は野菜から」を取り入れ、自ら野菜を先に食べることが定着してきた。 ④全園児が興味関心を持てるように給食室前に食育ボードを掲示し、今日の食事が見えるようにしている。 ⑤献立は自園の栄養士が作成し、園児に寄り添った給食、おやつになっている。 ⑥献立はツーサイクルメニューになっており、月の半ばで給食会議を行い、そこで出た意見や改善点に関し、可能な限り後半に反映させるようにしている。 ⑦日本各地の郷土料理や世界の料理を給食に取り入れている。 ⑧各クラスの喫食状況を確認し、担任と栄養士が話し合っている。 2.6 食事の提供 ①食物アレルギー児、宗教食に関して対応している。 ②食物アレルギー児に関しては、毎月月末に保護者に献立を確認してもらい、担任、栄養士、看護師で共有している。 ③食物アレルギー児の給食・おやつは、食器・食具の色を他児と差別化し、園児名、除去食品を明記したトレーに載せて提供し、職員が付き誤食を防いでいる。 ④食物アレルギー児の対応が孤食にならないように机の位置や体の向きを配慮している。 ⑤宗教食に関しても、同様にトレーに載せて提供している。 【改善すべき点・課題等】	
		2.4 食育計画 ①クラス別に食育計画を作成している。 ②野菜、果物、魚など旬の食材を記載している。 2.6 食事の提供 ①子どもの状況に応じた食事の提供をしている。 ②食育実施計画を作成し、評価反省を行っている。 ③毎月各クラスから給食アンケートをとり、良かった点や改善点や要望等を共有している。 ④アレルギー等のある子どもが疎外感なく、他の子どもと同様に楽しく食べることができるよう配慮されている。 【特記事項】	
		【評価すべき点】 足立区の食育に関する取り組みを積極的に取り入れるなど、子どもの育ちを意識し楽しい食事を提供している。 【改善すべき点】	
		【その他注意点】	
	評価委員記入欄		

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2	×2	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	5	5	
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2	×2	
		合計点(満点30点)	29.0	28.0	28.02
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①看護師が保育士と連携の上、日々の園児の健康状態を把握し健康管理に努めている。 ②年間保健計画を作成し、保健指導を行っている。 ③手洗い・歯磨きの指導を年齢に合わせた内容で行っている。 ④熱中症予防対策を講じている。 ⑤健康診断に関しては、入所時及び年2回、嘱託医師による内科健診、年1回の歯科検診を行っている。 ⑥0歳児の内科健診に関しては毎月行っている。 ⑦感染症が発生した際には、園での感染拡大の予防に努めると共に、即座に保護者に共有し家庭での園児の体調に留意してもらうようにしている。 ⑧感染症については、嘱託医と情報共有し、不明点等があった場合には指導を受けている。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDSについては、職員に対し、看護師主導で研修を行っている ②日々の午睡チェックに関しては、0歳児・1歳児が5分おき、2歳児が10分おき、幼児は15分おきに行い、必ず園児の間近で、呼吸、顔色等について確認するようにしている。 ③午睡時の湿度、気温、採光に気を付け午睡チェックをコドモンに入力している。 29 虐待等への対応 ①虐待やネグレクトが疑われる場合には、即座に関係機関に連絡し、連携をとるようにしている。 ②職員からの虐待や、不適切な保育に関しては、チェックシートを作成し、各職員が自分の保育について毎月振り返りをしている。 ③虐待が疑われる場合には、写真を撮り、対応した職員名、日付を残し記録している。 【改善すべき点・課題等】			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDSの訓練を行い、訓練計画書を読み合せている。 ②入園前に保護者にSIDSの予防について話をしている。 29 虐待等への対応 ①毎月虐待チェック表で確認し、早期発見に繋げている。 ②ヒヤリハットの記録をつけ怪我の項目を細かく分け、時間帯などを記入し安全に努めている。 ③要支援家庭への対応記録を作成し関係機関と連携を図っている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】			
	評価委員記入欄	【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚北保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

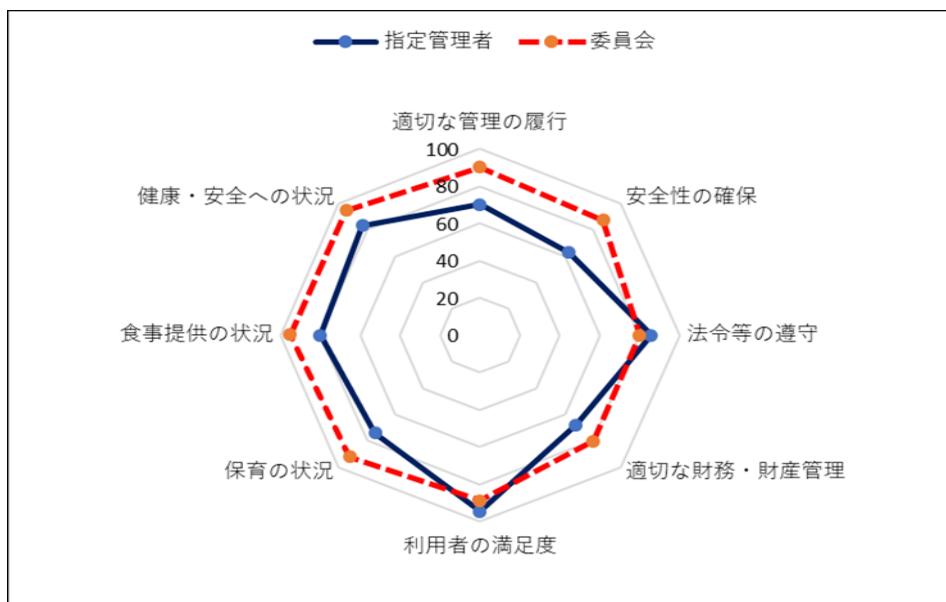
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具(寝具、玩具等)が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 5	×2 4.5	×7 4.57
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 4	×2 4.57
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 5	×3 5	
		合計点(満点35点)	35.0	32.0	31.99
		【アピールポイント】			
		3.0 保育室衛生管理 ①保育室、トイレ共に、各クラス担任、用務員が欠かさず毎日清掃を行い清潔を保っている。 ②トイレに関しては、特に衛生を保つことが必要な場所なため、毎朝看護師が消毒を行っている。 ③感染防止策として、登園時には保護者に園児の手洗いをお願いしている。 ④排便のオムツ交換には、必ず手袋、専用のマットを使用している。 ⑤嘔吐処理の研修を全職員に対し行っている。 ⑥感染症の病気が拡散しないように、家族の中で感染症が疑われる病気にかかった時には、保護者と連携を取りながら園内に感染が広がらないように努めている。			
		3.1 調理衛生管理 ①調理従事者は、日々の健康状態に留意しチェック表を記載している。 ②調理室の清掃を毎日欠かさず行っており、調理室内を常に清潔に保っている。 ③掃除に関してのチェックリストを作成し、衛生管理に努めている。 ④嘔吐、下痢の症状がある場合には、調理には入らず必ず病院を受診し完全に回復してから調理業務に従事する。 ⑤調理従事者は10月からノロウイルスの検査も行っている。			
		3.2 安全確保 ①安全点検を行い、事故防止に努めている。 ②ヒヤリハットに関しては、職員会議で共有し集計して事故防止に努めている。 ③事故が発生した場合の区への報告の30分ルールを全職員で共有し、すぐに連絡できるよう電話機に電話番号を貼っている。 ④玩具の破損や磁石がついているもの、誤飲の危険性がないかを毎月点検している。 ⑤看護師が中心となり、玩具や室内などの消毒や職員の手洗い、消毒方法を掲示するなど「誰でも・いつも」同じ取り組みができるようにしている。 ⑥散歩などで行き先・園児数・引率職員名・出発時間と帰園予定時刻を記し、園長は出発時と帰園時に園児数を担任と確認している。			
		【改善すべき点・課題等】			
担当課記入欄	3.0 保育室衛生管理 感染症予防について、看護師が問題を提起して保育内容を振り返り改善を図っている。 3.2 安全確保 ①毎月各クラスで安全管理チェック表を記入し危険箇所がないか点検している。 ②危機管理委員が怪我やヒヤリハットについて会議で話し合い周知している。 ③ヒヤリハットの記録を作成し、怪我の項目を細かく分け、時間帯などを記入し再発防止、安全に努めている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】				
	子どもが安心して過ごせる環境が保たれている。引き続き、子ども中心の取り組みを続けてほしい。				
評価委員記入欄	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

谷在家保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人わかば会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

①全般的に良く取り組まれている。
②適切な財務運営・財産管理が行われている。
③保護者から高い評価を得ており、地域とも良好な関係を築いている。
④「子どもの主体的な遊びと環境」への取り組みは高く評価する。

評価結果	評価委員		ランクダウ ン 有 無	総合評価
	得点	評価		
	312	A		

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】	

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
279.0	A-	312.8	A

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	3	4.8	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	3.6	4.50
		合計点（満点20点）	14.0	18.0	18.00
	担当課記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等 ①業者による定期点検・清掃業務は、協定どおり実施している。 ②トイレ、厨房、エアコンは特に汚れが激しく、衛生上も注意すべきであることから、専門業者に依頼している。 ③園舎が老朽化していること、都営住宅の建て替え工事に伴い園舎がある棟も数年後の取り壊しが予定されていることなどから、必要に応じた修繕計画を立てている。 ④令和6年度は、懸案であったテラス屋根の雨漏り状況がひどくなつたため部分的に屋根の防水工事を行った。 ⑤調理室の清掃及び衛生管理は毎日職員が徹底して行っている。 ⑥エアコンフィルター、換気扇は用務職員が定期的に行なうほか、職員による側溝掃除、大掃除を行つた。 ⑦月1回園庭整備の日を設け、職員が砂場の日光消毒を行うほか園庭全体の定期点検を行い清掃や安全確認を行つている。 ⑧砂場は、業者による消毒・清掃を2回実施した。 3 備品等の保守点検 ①調理器具点検は3回、必要な修繕も行つた。 ②毎月布団の消毒乾燥を行つている。			
		【改善すべき点・課題等】 2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①植栽の害虫駆除に関しては、消毒の危険性やその効果も含めて課題があることから、駆除は物理的に職員が排除する（枝切など）方法で行つてはいるが、効果的な方法は難しいようだ。 ②実のなる樹木がありカラスや小動物（ハクビシンか）がやつてくる。今のところ被害はないが、小動物の糞など毎日の点検と清掃・消毒以外に対策ができないところが悩ましい。			
		1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①各項目規定回数以上の実施を確認。 ②修繕計画が立てられている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。			
		【改善すべき点】			
	【その他注意点】	害虫について苦労されているが、園児の安全を最優先に取り組みを継続していただきたい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	3	4.7	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4.3	4.36
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	22.0	30.5	30.52
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①AEDについては、事業者からの連絡により適切に対応している。 ②遊具については、事業者による定期点検のほか、毎月職員がチェックしている。 5 防災の取組 毎年年度初めに、連絡アプリを利用し避難訓練の連絡をし、同時に引き渡し訓練を実施している。 6 防犯の取組 ①危機にすぐに対応できるよう不審者訓練を年4回実施し、振り返りを行い防犯意識を高めている。 ②施設内外を毎日点検し、異常等を記録し、園長も都度確認をしている。 ③鍵管理簿を作成し適切に鍵の管理を行っている。 7 事故への対応 業務改善計画を作成している。			
		【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	5 防災の取組 ①災害等緊急事態が発生した場合に備え、近隣に居住する職員を「緊急時駆け付け職員」として指定し、危機管理マニュアルに明記している。 ②園外（散歩中）や水遊び中に地震が来た想定の訓練を各クラスで実施したり、避難所となる鹿浜第一小学校へ避難する訓練を実施するなど、様々な想定で訓練を行っている。 6 防犯の取組 ①タバコや動物の糞尿について記録を残し、自治会長等と相談し対応にあたっている。 ②警察署とも連携を図り、年4回という高い頻度で不審者対応訓練を実施している。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 災害発生時にすぐ園に駆け付ける職員を決めており、不審者対応訓練についても警察署と連携して積極的に実施するなど、危機管理に対する意識が高い。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
法 令 等 の 遵 守 (※ 倫 理 性 も 含 む)	指定 管 理 者 記 入 欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組	× 2	× 2	× 7
		(1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	4	4	
		9 個人情報事故への対応	4	4	
		(1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している			
		10 職員の労働条件の保護	× 2	× 2	4.00
		(1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	4	4	
		11 職員研修	× 2	× 2	
		(1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	5	4	
		合計点(満点 35 点)	30.0	28.0	28.00
		【アピールポイント】			
		8 個人情報保護の取組			
		①個人情報の利用目的は、園のしおりで保護者に周知し、全員から承諾書をもらっている。 ②毎年年度初めに情報管理の適切な運営について職員会議で周知している。			
		9 個人情報事故への対応			
		①個人情報保護規程を整備し個人情報の管理は適切に行っており、漏洩やデータ等の紛失事故はない。 ②個人情報の管理は紙ベースを基本としており、廃棄に当たってはシュレッダーで確実に粉砕している。 ③PCは鍵のかかるロッカーで保管している。 ④個人情報のデータはUSBに保管し鍵のかかるロッカーで一括保管しており、紛失等がないかを毎日終業時にチェックしている。			
		10 職員の労働条件の保護			
		①超過勤務労働は、全ての職員が月平均10時間未満である。 ②保育士等を基準以上配置している。 ③勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している。 ④土曜日出勤の振り替え休日は完全実施しているほか、年次有給休暇、夏季休暇も取得しやすい環境である。			
		11 職員研修			
		①園外での研修を受けた職員による報告を必ず職員会議で行い共有化している。 ②キャリアアップ研修は計画的に受講を進めている。 ③外部研修は必要な研修が受講できるよう配慮したほか、自主研修への支援（年間10,000円以内）を行っている。 ④必ず全員が研修に参加できるよう計画的に進めている。			
		【改善すべき点・課題等】			
	担当 課 記 入 欄	8 個人情報保護の取組			
		①職員会議で繰り返し周知しているほか、新しい職員に対しては口頭だけではなく書面でも周知を図っている ②実習生やアルバイトに対しても従事前に周知を徹底している。 【特記事項】			
	評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】			
		①自主研修費用の補助を行うなど、人材育成に力を入れていることがうかがえる。 ②比較的の勤続年数の長い職員が多く、職場への定着が進んでいる。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員	
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5	
		3	4			
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	4.02	
		4	4			
		合計点(満点25点)	17.0	20.0	20.10	
			【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 ①園の会計は、毎月必ず会計事務所による点検を行い、税理士の助言の下適切な執行を行っている。 ②園の会計は、本部や他の事業所と区別されており、預金通帳も個別に開設し明確になっている。 ③人件費の差額、事務費の差額は当初予算の10%未満であった。 1.3 委託料残額の取扱い ①委託料の残額については、理事会で承認をとり、園の今後に向けては足立区の保育に関する事業に利用できるよう積み立て（園の修繕費・備品購入費）を行うほか及び本部経費負担分に充当している。 ②令和6年度は、テラス屋根の防水工事に利用した。			
			【改善すべき点・課題等】 1.2 委託料の健全な運用 ①会計事務や人事管理事務は園長の管理監督の下にあっても、職員の個人情報管理を適切に行う上から、事業所職員に全面的に任せるのは困難があり、事務・管理部門の一部業務は本部負担となっている。 ②経費負担については一定額を確保できる運営が必要である。 ③修繕費、委託料、利子等については、施設・設備の老朽化への対応や職員の離職・入職に伴う経費、物価高騰、預金利率の変化など園や社会の状況や変化等状況に応じた対応をしなければならず、当初予算どおりに進まないこともある。			
			1.2 委託料の健全な運用 想定外の人材紹介手数料がかかったものの、収支は黒字に転じた。 1.3 委託料残額の取扱い 残額使用計画を立てている。 【特記事項】			
			【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度 (アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員		
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14		
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4			
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	4.43		
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4			
		合計点(満点 70 点)	66.0	62.0	62.02		
		【アピールポイント】					
	1.4 サービスの質の評価 ①利用者アンケートは毎年同じ事業者で行うことで項目による変化の状況を毎年確認しているほか、3年ごとに福祉サービス第三者評価（利用者アンケートを委託している事業者を選定）を受審しており、令和6年度は受審した。 ②アンケート結果からサービスの質や保育の柔軟な対応についても評価が高い。 ③毎年アンケート結果を職員で共有し必要な対策を話し合っており、できることは計画に反映している（保護者会の日程等）。 ④令和6年度の利用者アンケートの回収率は76.1%であり、利用者の満足度は「大変満足」「満足」を合わせて100%であった。 ⑤自由意見でもたくさんの良い意見をいただきしており、アンケート結果は園内に掲示するほか、保護者のご意見への対応については、令和7年3月24日付でお知らせを出して説明している。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 ①保護者への対応の満足度に関しては「保育の内容の説明がわかりやすい」が96%、「子どもの気持ちを尊重した対応」が98%、「ケガ・病気対応」が94%である。 ②地域との関係では、朝の体操に特別養護老人ホームの入居者の方も参加されるようになり、地域との良好な関係づくりが広がってきている。 ③保育時間などの柔軟な対応の満足度は86%である。 1.6 保育内容に関する評価 食事に関しての満足度は98%、プライバシーが守られているかは82%、行事日程などは88%、活動が子どもの発達に役立っているかは100%であった。 1.7 施設内容に関する評価 ①施設の整理整頓に関する項目も満足度は高いが、安全対策に関しては園庭柵が低いことを心配する声が続いていたが、区役所に要望を伝えた結果、嵩上げ工事が行われることになった。 ②清掃・清潔の満足度は90.2%だった。						
【改善すべき点・課題等】							
担当課記入欄	1.4 サービスの質の評価 第三者評価を受審し、利用者回収率は76.1%。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 総じて高い評価を得ているが、特に職員の接遇や食事、清掃・整理整頓等は90%以上の高い評価を得ている。 【特記事項】						
評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①保護者から良好な評価を得ている。 ②特別養護老人ホームと連携するなど、地域と良好な関係を築いている。 【改善すべき点】						
	【その他注意点】 第三者評価やアンケートの回収率が上がるよう継続した取り組みをお願いしたい。						

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

※ 各記入欄については、特ない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点					
		保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員			
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8			
			3	5				
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2				
			4	5	4.50			
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4				
			4	4				
		合計点(満点40点)	30.0	36.0	36.00			
事業効果 指 定 管 理 者 記 入 欄	【アピールポイント】							
	18 保育の基本原則 ①福祉サービス第三者評価結果では、保育内容に関して適切である旨の評価を得ている。 ②令和4年度の指定管理評価の結果を踏まえ、保育士の対応も含めた保育環境の見直しを行い、その内容を「子どもの主体的な遊びと環境」というドキュメントを作成し、事務室前に掲示するとともに、年度末にそのドキュメントを基に振り返りを行っている。 ③振り返りは、保育計画の振り返りと連動して行い、次年度の環境づくりの参考としている。 ④職員の年間目標を設定、事務室内に掲示し、子どもへの対応の在り方を常に振り返るよう心掛けている。 ⑤手作りおもちゃなど子どもの遊びの様子をみながら追加したり整理したりしながら、子どもの興味や発達に応じた遊具の工夫をしている。 ⑥物理的な環境に関する子どもたちの興味や発達の様子、集団遊びの状況などを見ながらその都度変更を行い、その時々の子どもの成長発達に合わせた工夫を行っている。 ⑦定例の職員会議は月2回、保育リーダー会議が月1回、その他期の反省や研修を行うため、年2回土曜日を利用しじっくり話し合う等の時間をつくっている。							
指 定 管 理 者 記 入 欄	19 人権の尊重 ①虐待に関しては、研修を行ったりして意識を高めるとともに、関係機関と連携しながら対応している。 ②対応や気になる子どもの様子などは、高度な個人情報のため十分配慮しながら丁寧に記録している。 ③人権に関する指針を定め、子どもの権利に関する研修を行っている。 ④区の「保育実践振り返りシート」を活用した研修は必ず行い、法人の理事及び苦情解決第三者委員に子どもの権利を研究している大学の教授、准教授に入っているため、毎年法人全体で子どもの権利を学ぶ機会を設けており、参加者は保育園にフィードバックしている。							
	20 全体的な計画・指導計画の作成 ①一人ひとりの成長を丁寧に確認できるよう児童票の書式を変更し、3歳未満児の成長発達や個別指導計画がより細かにできるようになった（令和7年度から使用） ②月1回の全体職員会議やクラス単位の職員会議で子どもの育ちに関して様々な話し合いをもち個別計画や指導計画に反映している。 ③苦情解決第三者委員を仕組みを保護者会で説明しているほか、各クラスに掲示するなど苦情等に対しても真摯に向きあっている。 ④第三者委員への申し出はなかった。							
指 定 管 理 者 記 入 欄	【改善すべき点・課題等】							
担当 課 記 入 欄	19 人権の尊重 ①足立区の保育実践振り返りシートを活用し、実践している。 ②職員間で人権に関するガイドラインの読み合わせを行っている。 【特記事項】							
	18 保育の基本原則 ①教育保育の質のガイドラインの振り返りシートを活用し、保育内容の振り返りを行っている。 ②研修で学んだ環境構成記録を活用し、主体的に遊べる環境構成作りに取り組んでいる。							
評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】 ①第三者評価でも高い評価を得ており、質の高い保育が行われている。 ②「子どもの主体的な遊びと環境」への取り組みは高く評価できる。							
	【改善すべき点】							
評 価 委 員 記 入 欄	【その他注意点】							

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	×2	×6 4.7
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	3	×2	×2 4.5 4.74
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	4	×2	×2 5
	合計点(満点30点)		22.0	28.4	28.44
評価委員記入欄	【アピールポイント】				
	2.1 指導計画の展開 ①秋から非常勤、派遣の職員も含めクラス担任全員が半日クラスを抜けて子どもの姿とその対応、子どもの育ちの共有と目標の確認を毎月行い、計画の見直しに反映している。クラス担任が抜けているときは他のクラスの担任やフリーの保育士がそのクラスの保育を行っており、子どもの様子をたくさん目のでみる環境ができた。 ②月1回のリーダー会議で課題共有をしたり、全体職員会議でケース検討をしたりして子どもの育ちをどのように支援していくかを常に検討している。				
	2.2 保育環境 毎日、確認表を用いて園庭及び保育室の安全確認を行っている。				
	2.3 小学校との連携 ①連携小学校には年長児を中心に3回ほど訪問して就学に向けての期待と意識を育んでいる。 ②近隣の保育園との交流を行い、同じ学校に通う子ども同士が顔合わせできる機会をつくっている。 ③就学先の小学校へは要録を直接届け子どもの様子を口頭で伝えている。				
【改善すべき点・課題等】					
評価委員記入欄	2.1 指導計画の展開 ①子どもが主体的に行動できるように環境図を作成して職員間で共有している。 ②研修で得た学びを職員間で共有して保育内容の見直しと改善に努めている。				
	2.3 小学校との連携 ①給食体験や授業体験を実施している。 ②近隣保育園とゲームなどを通して交流を深めている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 近隣保育園との交流や小学校との積極的な連携など、各主体との協働を通じて子どもの成長に大きく寄与している点が評価できる。 【改善すべき点】				
【その他注意点】					

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2	×2	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	4.5	5	
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2	×2	
		合計点(満点30点)	24.0	28.4	28.38
評価委員記入欄	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>2.4 食育計画 ①食育計画に基づき多彩な食育を実施している。 ②写真記録も作成し評価反省も記録しているほか、毎月の給食によりその様子を掲載し、保護者に食の大切さや食事の楽しさを伝えている。 ③保育で取り組む夏野菜育てと食育を連動させ、クラスで子どもたちが育てた野菜を給食室で調理し提供して、生産から消費までの流れを体験し、命を育むことや食べることの喜びを感じられる取組をしている。 ④お弁当給食（調理したおかずやごはんを自分で好きなようにお弁当につめて食べる）で給食の楽しさを味わったり、かつお節からダシをとり匂いを嗅いだり味わったりしながら味覚を育てたり、大豆から豆腐ができる経験をしたりなど、保育室と給食室が連携した食育で、食に対する関心を深める取組をしている。</p> <p>2.5 食事計画 給食会議を実施し、アレルギーに関してマニュアルに沿った対応をしており事故はない。</p> <p>2.6 食事の提供 栄養に留意しながらも、子ども状況に応じて食べる量や提供の仕方を工夫している。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p>			
	担当課記入欄	<p>2.4 食育計画 ①食育計画を作成し食育実施報告書に評価・反省を記録し、実施状況を写真などで視覚化して情報共有している。 ②地域のお米屋さんと連携を図り、お米へ興味関心をもたせている。</p> <p>2.6 食事の提供 ①子どもの状況に応じた食事の提供を行っている。 ②乳児の食事介助は食べ始めから保育者がそばにつき、丁寧に落ち着いて介助ができるとよい。 ③アレルギー児の対応については、マニュアルに沿って対応し、保護者や職員間で情報共有している。</p> <p>【特記事項】</p>			
	評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】</p> <p>①食育への取り組みが大変工夫されている。 ②地域との連携も積極的に行われているので、継続した取り組みをお願いしたい。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>			

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2	×2	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	4.5	5	
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2	×2	
	評価委員記入欄	合計点(満点30点)	25.0	29.0	28.98
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 保健計画、健康診断を適切に行い、日々の健康状態は連絡帳や口頭で保護者と共有している。 28 睡眠時無呼吸症候群の予防 ①午睡チェックはマニュアル通りに実施している。 ②姿勢を直した場合は○をつけ分かるように標記している。 29 虐待等への対応 ①虐待が疑われる場合は、必ず記録し様子を見ながら関係機関に適切につないでいる。 ②子育てが困難な家庭や子どもへの適切なかかわり方に問題がありそうな保護者が増えていくという実感がある中、保育者はその子どもにとって最も良い方法は何かを考え、保護者対応を行っている。ケースバイケースで難しいが、保護者との信頼関係を築くことを大切にしながら、個人情報の漏洩に十分配慮しチームワークで対応している。 ③子どもの様子に気になることがあったり、専門機関と連携したりしたときは、個別に記録している。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】			
		27 子どもの健康管理 ①年間保健目標、月目標を計画し、健康教育計画・報告を作成している。 ②プライベートゾーンの話や自分の体を大切にするような取り組みを実施している。 29 虐待等への対応 ①虐待に関する関係機関との連携について通告案件を記録している。 ②虐待個別面談記録をとり、子どもの様子を職員間で共有している。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 子育て困難家庭への丁寧なアプローチなど、支援の難しい保護者への対応にも真摯に取り組んでおり、その姿勢が評価できる。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（谷在家保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

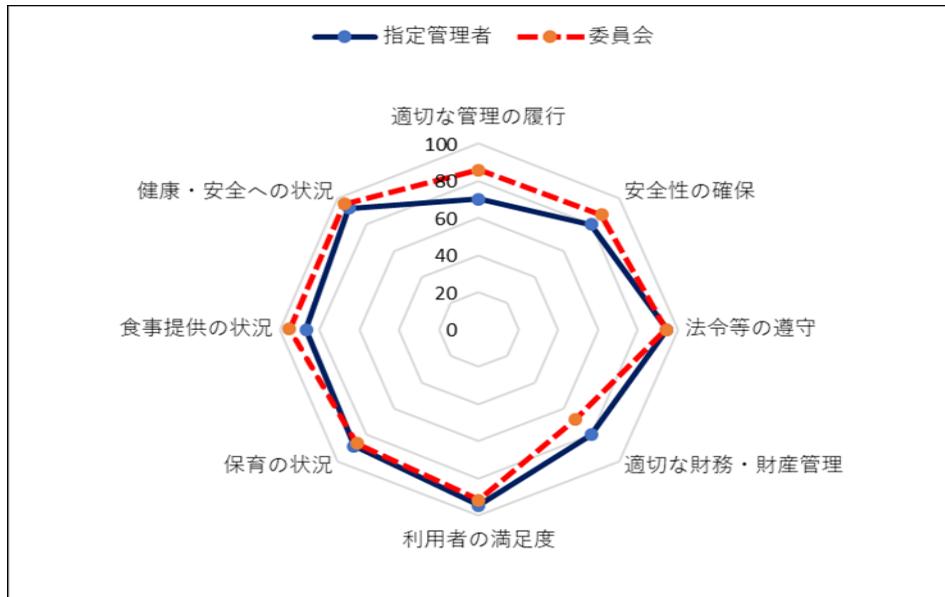
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 3.5	×2 4.5	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 5	4.64
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 4.5	
	合計点(満点35点)	29.0	32.5	32.48	
担当課記入欄	【アピールポイント】				
	3.0 保育室衛生管理 ①トイレは用務職員が毎日丁寧に清掃している。 ②換気扇掃除などは保育室が開いている時間に順次行い、棚拭き、窓拭きは毎日実施し清潔を保っている。 ③トイレは、年1回専門業者に消毒清掃を委託している。 ④体調不良の子どもは事務室（医務室兼務）で休ませ、適切に保護者と連絡をとり、子どもの様子に合わせた対処をしている。 ⑤嘔吐処理研修、AED研修、応急手当研修を毎年必ず職員全員参加で行っている。 ⑥感染症の発生はその都度掲示し保護者に知らせているほか、流行については保健だよりで伝えている。	3.1 調理衛生管理 「保健衛生・安全対策」のキャリアアップの研修に栄養士と調理師が参加した。	3.2 安全確保 ①ヒヤリハットの事例をまとめ、職員に年2回配付し注意喚起している。 ②病院等の一覧表でまとめ分かりやすいところに備えている。 ③緊急連絡先は事務室に掲示しつつも見られるようにしている。 ④各クラスの電話機の近くに緊急の場合のマニュアルを備え付けている。	【改善すべき点・課題等】	
	3.0 保育室衛生管理 日々の保育室清掃と衛生管理を日誌に記載している。 3.2 安全確保 ①施設点検、安全確認票で毎日確認し、園長が押印している。 ②ヒヤリハットは一覧でまとめて発生状況や改善点などを記録している。 【特記事項】	【評価すべき点】 ①職員全員が応急手当研修などに参加しており、危機対応への意識がしっかりと根付いている。 ②園内の清掃も行き届いており、衛生的で良好な環境が維持されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
評価委員記入欄					

竹の塚保育園 評価シート

【 指定管理者 】 株式会社ベネッセスタイルケア

【 評価対象年度 】 令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
②適切な財務運営・財産管理が行われている。
③保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	312	A

ランクダウ ン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

評価委員会評価基準						
評点	満点	標準点	評価基準			
			A+	A	A-	B+
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満
						54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
309.0	A	312.6	A

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
適切な管理の履行 状況	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	3	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	4.3	4.28
		合計点（満点20点）	14.0	17.1	17.12
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 ①施設設備の保守点検は、基本協定書の施設管理基準及び法に定めのある保守点検の規定回数を実施し、記録を残している。 ②玄関・廊下の排煙窓に一昨年不具合が有り、工事する等都度修理を行っている。 ③トイレ網戸に不具合が有り修理を行った。 ④トイレ換気の為壁つき扇風機を取り付けた。 2 施設の清掃等 ①設備の清掃等は、安全衛生基準に基づき、専門業者による清掃を実施し記録を残している。 ②毎日の清掃・消毒は、クラスごとにマニュアルを作成し安全衛生基準に基づき行っている。 3 備品等の保守点検 ①園庭の樹木は、1年に1回専門の業社による剪定を行い、他都度自主剪定も行い記録している。 ②子どもの布団は使用せず、衛生面・安全面に考慮しコットを使用、週に1度自主清掃も行っている。 ③カーテン・ジュータンのクリーニングは、年2回必ず行っている。 ④カーペットは、ジョイントタイプの物を使用し衛生面を考慮して汚れた部分は、取り換えるようにしている。 ⑤網戸・尿石・サッシレール・排煙窓ガラス清掃を行っている。			
		【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 各項目規定回数以上の実施を確認。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。			
	評価委員記入欄	【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	4	4.3	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4.3	4.36
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	28.0	30.5	30.52
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 園庭遊具は、年1回の業社の点検の園内研修安全衛生チームによる自主点検も行っている。 5 防災の取組 ①訓練は様々な場面（地震・火災・早番・遅番時等）を想定し計画している。 ②避難訓練に関しては散歩時・水遊び・水害等多面的計画・実施している。 ③月に1回の避難訓練時に施設内を点検し記録に残している。 ④避難訓練時保護者との連携をねらいとした引き渡し訓練等も実施している。 ⑤BCPを作成園内で共有を行った。 6 防犯の取組 ①園庭のフェンスを安全面を考慮し一昨年改修、外部からの侵入防止等の対策をおこなった。 ②警察の防犯課の方のご指導のもと年1回防犯訓練を行っている。 ③園舎回りにも5台の防犯カメラを設置している。 ④鍵管理については、マニュアルを作成し定期的に点検を行い、事務所には防犯カメラを設置している。 ⑤園舎の鍵については、点検簿に解錠・施錠時間の記入を行い記録に残している。 ⑥来園者カードを設け、園内に訪れる来園者を明確にし、来園時間・降園時間を記録に残している。 7 事故への対応 ①ベネッセ全園共通の安全衛生基準に保育の考え方に基づき実行している。 ②園児のけがや、事故については、コドモン・ラインワークスにて職員に周知している。 ③受診の際には、ベネッセ独自の記録用紙を用いて保護者・園・本部と共有している。 ④職員は年に1回必ず乳幼児救命救急研修を受講している。			
		【改善すべき点・課題等】			
担当課記入欄	評価委員記入欄	4 施設・設備の安全の確保 ①園庭の安全チェックシート及び安全衛生チェックにより、園庭固定遊具について定期的に職員による点検を実施している。 ②毎年全職員が必ず、乳幼児救命救急研修を行っている。 5 防災の取組 遅番・延長番・早番といった職員が手薄な時間に災害が来たときの役割をあらかじめ定めている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 全職員が毎年「乳幼児救命救急研修」を受講するなど危機管理に対する意識が高い。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	×2 5	×2 5	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	3	3	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 5	×2 5	4.71
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点35点)	33.0	33.0	32.97
	担当課記入欄	【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 全社共通の「スタイルケア宣言」「個人情報セキュリティ研修」を全職員が必ず年1回受講し、共通理解を計っている。			
		9 個人情報事故への対応 ①個人情報マニュアルに基づき、書類の保管や資料・写真データの管理を行い、個人情報についてはファイルにラベルシールを貼り目で種別出来るようにしている。 ②事務所にカメラを設置し、個人情報の紛失や流失防止策を取っている。 ③事故が起きた場合「即時報告事項」として本部に共有対応している。 ④全社でISOを取得している。			
		10 職員の労働条件の保護 ①就業規則・スタイルケア宣言に則り、法令を順守する事を徹底している。 ②有休取得促進手当を設け、園では有休取得リストを作成し有休取得出来る環境作りがなされている。			
	評価委員記入欄	11 職員研修 ①職員は、足立区他外部・本部（内部）が行う様々な研修に参加し研鑽を積んでいる。 ②研修報告の時間を設け共有し、保育に活かす取り組みを行っている。 ③職員ごとに個別に目標設定を行い、それに合わせた研修参加を計画を立てている。			
		【改善すべき点・課題等】			
		8 個人情報保護の取組、9 個人情報事故への対応 ①情報セキュリティ・個人情報研修を毎年実施・全職員が受講している。 ②個人情報の紛失事故の発生あり。			
	評価委員記入欄	10 職員の労働条件の保護 有休取得促進手当があるほか、有休取得計画リストを作成し、園全体で有休を取得できる環境づくりに取り組んでいる。			
		11 職員研修 職員ごとに目標設定の面談を行い希望を聞いているほか、園からの「伸ばしていってもらいたいところ」を設定し、参加予定研修を定めている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 勤続年数の長い職員が多く、職場環境が安定していることがうかがえる。法人としても、有給休暇の取得を促進する取り組みを行うなど、良好な職場環境が保たれている。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
			4	3	
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	3.42
			4	4	
	【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 ①園の経理処理業務は、他の業務同様に園と本部とで役割を分けることで、園が保育の質向上に専念できる体制を取っている。 ②社全体としても、四半期毎に外部監査法人による会計監査を受け、継続して適正な経理業務を行えるよう努めている。	合計点(満点25点)	20.0	17.0	17.10
	【改善すべき点・課題等】				
	【特記事項】 1.2 委託料の健全な運用 収入が見込みより多くなったこともあり、収支は大幅に黒字に転じた。 1.3 委託料残額の取扱い 残額については、令和7年度の処遇改善経費として人件費に充てる。				
	評価委員記入欄 【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる 【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度 (アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 4	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	4.57
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	
		合計点(満点70点)	66.0	64.0	63.98
		【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 ①行事後等に保護者アンケートを実施し、サービスの向上に努めている。 ②保育参観・参加 保護者面談を実施し、保護者からのご意見や感想を保育に活かしている。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 ①保護者からの質問や要望には園長が直接対応している。 ②園内にご意見箱を設置し、サービスの質の向上に努めている。 1.6 保育内容に関する評価 延長保育・年末保育・夕食対応を行っている。 1.7 施設内容に関する評価 ①園庭の門と玄関にテンキーを設置している。 ②半年に1回テンキー番号を変更し、警告音により閉め忘れを防いでいる。 ③保育室や園庭、園舎のチェックリストを作成し、安全と衛生面に配慮している。 ④安全衛生基準に基づき各クラスで計画的に清掃を行っている。			
		【改善すべき点・課題等】			
	指定管理者記入欄	1.4 サービスの質の評価 第三者評価を受審し、利用者回収率は77.1%。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 総じて高い評価を得ているが、特に保育時間の変更や食事、清掃・整理整頓等は90%以上の高い評価を得ている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 保護者から高い評価を得ており、信頼されていることがうかがえる。 【改善すべき点】 【その他注意点】 第三者評価などの利用者回収率が上がるよう、継続的な取り組みをお願いしたい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		1.8 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		4	4		
		1.9 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
		4	4	4.25	
	2.0 全体的な計画・指導計画の作成	(1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		5	4.5		
	合計点(満点40点)	36.0	34.0	34.00	
	【アピールポイント】				
	1.8 保育の基本原則	①乳児クラスは緩やかな担当制を行い、家庭的で丁寧な関わりを大切にし、幼児クラスは、異年齢保育を取り入れている。 ②幼児クラスは異年齢保育により子ども同士の育ち合いの経験をたくさん持てるようにしている。 ③連絡会議・クラス会議・分野別研修等のより子どもの育ちと姿を共有し保育に活かしている。 ④子どもの各年齢の発達に合わせ、主体的に活動出来るような環境設定がなされている。			
	1.9 人権の尊重	①「スタイルケア宣言」を毎年1回必ず全職員が受講している。 ②保育の質ガイドラインによる保育実践振り返りシートを用い、職員全員が振り返りを行っている。 ③毎年年度初めの職員会議にて、クラスファイルにファイルしている虐待のチェックリストを職員で共有している。			
	2.0 全体的な計画・指導計画の作成	①コドモンを使用して年間計画・月間計画と週案日誌を作成している。 ②全体的な計画については、ベネッセの保育理念・方針・目標に基づき作成されている。 ③5歳・4歳（後半）に関しては、午睡の時間を学年の時間とし、それぞれの学年で学びの時間として計画を立てている。 ④3歳未満児に関しては、毎日個別日誌を記入、又一月ごとの個別月案も作成している。			
	【改善すべき点・課題等】				
	1.8 保育の基本原則	①乳児クラスについて、少人数で遊ぶ環境をつくっている。 ②手触りの良い感触の玩具や手作り玩具など年齢に応じた玩具がある。			
	1.9 人権の尊重	①プライベートゾーンが大事と考えた着替えや排泄の環境になっている。 ②1歳児の食事介助の一口量が多かった姿が見られた。 【特記事項】			
	【評価すべき点】	子どもの着替えなどにしっかりと配慮しており、人権を尊重した保育が行われている。			
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	4.3	×2 ×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	4	4	×2 4.43
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	5	5	×2
事業効果	評価委員記入欄	合計点(満点30点)	26.0	26.6	26.58
		【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 ①保育の計画は、クラス会議や連絡会議で子どもの姿を共有し、保育の振り返りと次の計画に活かしている。 ②児童（異年齢クラス）は、異年齢の活動の中に学年活動を計画の中に取り入れ同学年での育ちを大切にしている。 ③月の計画には学年のねらいと異年齢のねらいを立てている。 ④月のねらいは会議にて職員が共有する時間を設け保育の実践に活かしている。 2.2 保育環境 ①施設・設備は、老朽化しているが、都度修理・補修を行い安全に保育が行えるようしている。 ②ベネッセ安全衛生基準に則り季節に合わせて温度・湿度・換気などの調整を行い、記録に残している。 ③午睡時の採光等の環境についても天候や季節に合わせて適切に行っているほか、看護師・主任・園長等による定期的なラウンドも行っている。 ④各クラス・事務所・ホールに空気加湿清浄機を設置し、看護師が定期的に清掃も行っている。 2.3 小学校との連携 ①年度末に保育指導要録を子どもの就学先小学校に園長が持参しており、必要が有れば担任も同行し子どもの育ちを共有している。 ②連携校である保木間小学校を中心に子ども共有や行事見学、学校体験、図書館訪問等連携を深めている。 ③公開保育・小学校主催の「開かれた学校作り協議会」等に園長が参加し、地域の方々とも連携を深めている。 ④ブロック会議等にも参加し小学校就学に向けての情報共有を行い、保護者にお伝えしている。	【改善すべき点・課題等】		
		2.1 指導計画の展開 ①乳児クラスについて、保育室は、天蓋を設置したり、穏やかな色合いで環境を整え、落ちついて過ごせる空間になっている。 ②子ども支援会議で子どもの育ちの共有や保育について見直し改善を図っている。 ③園内研修では子ども支援・家庭支援・食事食育・安全衛生の4つの柱をたて課題解決に向け取り組んでいる。 2.3 小学校との連携 ①図書室訪問・保木間まつり参加・1年生との交流など小学校との交流活動を実施している。 ②5歳児保護者には、「学校だより」を配付して、就学への不安軽減に取り組んでいる。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 学校や地域と良好な関係を築いていることがうかがえる。引き続き、就学に向けた保護者や子どもの不安軽減に取り組んでほしい。	【改善すべき点】		
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員		
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2	×2	×6		
			5	5			
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2	×2			
			4	4.7	4.73		
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2	×2			
			4	4.5			
		合計点(満点30点)	26.0	28.4	28.38		
		【アピールポイント】					
		2.4 食育計画 ①年間食育計画を作成、計画に基づき調理・保育者が連携し食育活動を行い、配慮事項や振り返りを記録している。 ②園庭に畑を作り、計画的に野菜の成長の観察や収穫を経験できるようしている。					
2.5 食事計画 ①ベネッセ全園共通の献立に基づき、竹の塚保育園に合った献立を作成している。 ②薄味と素材の味を活かすことを大切にし、ベネッセ独自だしパックを開発使用し調理提供している。 ③栄養摂取量についても基準を考えている。 ④献立を2週間サイクルにし、月の半ばにフィードバックを行い後半の提供に役立てている。 ⑤子どもが食事を楽しめるように実物大の魚のプリントを掲示したり、クイズを行ったりした。							
2.6 食事の提供 ①子どもの成長・発達に合わせ、刻みや軟飯等工夫している。 ②アレルギーマニュアルに基づき、誤提供の無いよう毎年年度初めに個別にシュミレーションを行っている。 ③誤提供防止として専用トレイに配膳し、食札も添え、トレイを置く場所も決めている。 ④誤食防止の為子どもの席の間隔を空け、職員が側に位置している。							
【改善すべき点・課題等】							
2.4 食育計画 ①食育活動の記録を作成し、評価・反省を行っている。 ②食事食育チームが中心となり、食育の取り組みを行っている。							
2.6 食事の提供 ①子どもの状況に応じた食事の提供を行っている。 ②異年齢児保育の机や椅子が子どもの体に合っていない場面が見られたため、年齢に応じた調節が必要。 ③誤提供予防対策マニュアルに沿ってアレルギー児の食事の提供を行っている。							
【特記事項】							
【評価すべき点】 野菜の形や魚に関するクイズを実施するなど、調理前の姿がわかるよう工夫した独自の食育の取り組みを行っている。							
【改善すべき点】							
【その他注意点】							

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員		
		2.7 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 5	×2 5	×6		
		2.8 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 5	5.00		
		2.9 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 5	×2 5			
		合計点(満点30点)	30.0	30.0	30.00		
		<p>【アピールポイント】</p> <p>2.7 子どもの健康管理</p> <p>①保健計画は、各年齢発達に合わせて作成している。 ②年2回園医による定期健康診断を行い、健康管理に努めている。 ③看護師が毎日ラウンドし、一人ひとりの健康状態を把握し、健康管理に努めている。 ④担任は健康観察リストを用いて視診を行い、子どもの毎日の変化に留意している。 ⑤毎月身体測定を行い、コドモンに記録し、保護者と情報共有をしている。 ⑥保護者に子どもの体調をコドモンに入力してもらい、送迎時にも体調の確認を行っている。 ⑦感染症対策などは、安全衛生基準に則り、園医にもサーベーランスなどアドバイスを行っている。</p> <p>2.8 乳幼児突然死症候群の予防</p> <p>①午睡時の担当職員を決め、1歳児は5分、2歳児は10分間隔で午睡チェックを行っている。 ②午睡時の採光・温度・湿度に気を付け、看護師も巡回し、午睡チェックの記録をコドモンに入力、記録を残し保護者に共有している。 ③コドモンに入力出来ない子どもの細かな様子は、専用の用紙を設け記録し残している。 ④1歳児クラスは、おひるねセンサーを使用している。</p> <p>2.9 虐待等への対応</p> <p>①毎日健康観察リストにより視診を行い、子どもの心身の変化に留意している。 ②各連携機関とも綿密に情報を共有し、定期的に共有を行っている。 ③毎日コドモンの当降園記録を確認し、未入力の子どもが登園しない場合は、電話連絡をいれ確認を行っている。 ④虐待等について通報・報告義務がある事を、掲示にて保護者に周知を行っている。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p>					
		<p>2.7 子どもの健康管理</p> <p>①ほけんだよりを毎月発行し、保護者に健康についての発信をしている。 ②はみがきカレンダーを作成し活用することで、楽しみながら歯磨きの習慣がつくよう工夫している。</p> <p>2.8 乳幼児突然死症候群の予防</p> <p>睡眠時の呼吸チェック方法について、午睡時の確認事項が明確に記載された資料がある。</p> <p>2.9 虐待等への対応</p> <p>①健康観察リストを作成し、毎日、朝夕の子どもの体の状態を把握している。 ②虐待関係の資料を職員と共有して、虐待対応については関係機関と連携して対応を記録している。 【特記事項】</p>					
		<p>【評価すべき点】 良好な保育環境が保たれている。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>					

令和7年度 指定管理者評価シート（竹の塚保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

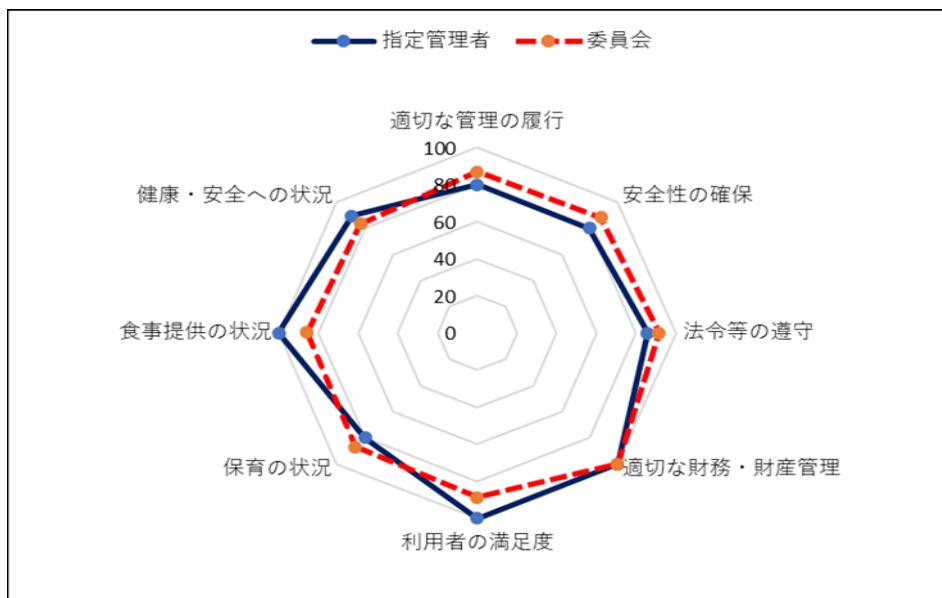
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 4	×2 5	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 5	4.57
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 4	
		合計点(満点35点)	30.0	32.0	31.99
事業効果	担当課記入欄	【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①用務職員及び職員全員が清潔に努めている。 ②保育室においては衛生管理の方法に則り毎日計画的に清掃・消毒されている。 ③感染症対策に備え嘔吐処理について必ず全員がDVD研修を視聴している。 ④新任職員には、看護師が嘔吐処理のシミュレーションを行っている。 ⑤職員は保育に入る前に必ず出退勤時セルフチェックリストをもとに健康チェックを行い、体調に変化の有る際には、園長・看護師に相談している。 3.1 調理衛生管理 ①職務に従事する前に必ずセルフチェックを行い記録に残し、調理職員として自覚を持ち勤務している。 ②職員は、安全衛生基準に則り控えるべき食材等のルールを守り、調理室や食材の管理もマニュアルに則り行っている。 3.2 安全確保 ①毎月看護師がけがの集計を行い、それを基に各クラス分析・振り返りを行い、未然にけがを防ぐ努力をしている。 ②ヒヤリハットは保育日誌に、室内的ハザードは毎月のけがの集計に記録し、けがを未然に防ぐようにしている。 ③事故があった場合は、その日のうちに振り返りを行い、再発防止策を保護者・職員に周知している。 ④土曜保育時等通常保育時以外に事故が起った際のマニュアルも作成している。 ⑤リスクマネジメント委員が、月に一度「安全だより」として様々な子どもの安全対策を発信している。 【改善すべき点・課題等】			
		3.0 保育室衛生管理 ①子どものプライバシーや衛生面、動線に配慮がされている。 ②保育室の自主点検チェックリストを作成し室内清掃に務めている。 3.2 安全管理 ①ヒヤリハットや危険個所については、分析・集計・共有をし、未然に怪我を防ぐようにしている。 ②事故やヒヤリハット報告書を全職員で情報共有している。 ③事故があった場合は、当日振り返りをし再発防止策を保護者・職員に周知している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
評価委員記入欄					

せきや保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人桑の実会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
- ②適切な財務運営・財産管理が行われている。
- ③保護者からの信頼が厚いことがうかがえる。
- ④保育室の立地を活かし、小学校とは良好な連携ができている。

評価結果	評価委員		ランクダウング 有 無	総合評価
	得点	評価		
	307	A		

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

食物アレルギー児の食事の際は、マニュアル記載内容の実施を徹底すること。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
313.0	A	307.4	A

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な管理の履行	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2 4	×2 4	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	4	4.8	4.35
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	4.6	
		合計点(満点20点)	16.0	17.4	17.40
評価委員記入欄	担当課記入欄	【アピールポイント】			
		1 施設・設備の保守点検 施設の保守点検は適切に実施している。			
		2 施設の清掃等 ①エアコンクリーニング（1回）のほか週末毎にフィルターの清掃実施、業者による砂場清掃（年2回）、モップ・手洗い場のマットの敵対的交換、園舎内外の清掃は、用務員や職員により日々清掃を丁寧に行い、常に清潔安全を保つよう努めている。 ②厨房のグリストラップ清掃は年5回実施し、その他厨房職員が適宜実施している。 ③園児用トイレの業者によるクリーニングを実施し、常に衛生的な環境に努めている。			
評価委員記入欄		【改善すべき点・課題等】			
		1 施設・設備の保守点検 施設の老朽化による修繕箇所が増えているため、修繕計画を立て、予算を見ながら計画的に実施していくたい。			
		1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 各項目規定回数以上の実施を確認。 【特記事項】			
評価委員記入欄		【評価すべき点】			
		清掃等は適切に実施されており、良好に管理されている。今後も引き続き、施設内の衛生管理に努めてほしい。			
評価委員記入欄		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 安全性の確保	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		<u>4 施設・設備の安全の確保</u> 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	4	×2	×2 ×7
		<u>5 防災の取組</u> (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	4	4.3	
		<u>6 防犯の取組</u> (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4	4.40
		<u>7 事故への対応</u> (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	4	×3	×3
	評価委員記入欄	合計点（満点 35 点）	28.0	30.8	30.80
		【アピールポイント】 <u>4 施設・設備の安全の確保</u> 安全管理チェック表（園庭）により、職員によって毎日遊具を点検している。 <u>5 防災の取組</u> 法人内で全職員を対象に、毎月職員安否コール訓練を実施している（休日や業務時間外においても実施）。 <u>7 事故への対応</u> 事象ごとに園独自にフローチャートを作成し、各部屋ですぐに手に取れるように備えている。			
担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】	<u>4 施設・設備の安全の確保</u> 救急救命講習受講を推進し、危機管理意識の向上に努める。 <u>5 防災の取組</u> マニュアルの見直しを適宜行い、わかりやすいものに変更していく（誰が見てもわかるように）。 <u>7 事故への対応</u> 事故防止については、常に振り返りを行いながら、様々な事故を想定したうえで、事故対応のシミュレーションを行い、有事の際にも適切な対応ができるようにしていく。			
	【評価すべき点】	<u>4 施設・設備の安全の確保</u> 園庭固定遊具安全点検について、複合遊具は総合判定Cで使用可だったが、改善を実施し、併せて鉄棒下の安全マットのめくれについても対応した。 <u>5 防災の取組</u> 法人内で全職員を対象に毎月職員安否コール訓練を実施している（休日など業務時間外にも実施）。 <u>7 事故への対応</u> 事象ごとに園独自にフローチャートを作成し、各部屋ですぐに手に取れるよう備えている（プール時のものは、プール使用時に持参している）。 【特記事項】			
	【改善すべき点】	遊具の安全点検結果を受けて、迅速に補修作業を行うなど、安全確保に対する意識の高さがうかがえる。			
評価委員記入欄	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 (※倫理性も含む)	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らすことがないよう必要な措置を講じている	×2 4	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	4	4	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 5	×2 5	4.57
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 4	×2 5	
	合計点(満点35点)	30.0	32.0	31.99	
評価委員記入欄	【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 個人情報保護について、法人新入職員研修を実施し、全職員に対しても4月当初の園内研修で確認しているほか、人事考課（年2回）の際にもチェックしている。				
	11 職員研修 研修計画を策する際には、個々に学びたいことを聞き、研修計画に反映している。				
	【改善すべき点・課題等】 10 職員の労働条件の保護 ①ノンコンタクトタイムを定着させ、就業時間内に業務が滞りなく済むように時間外労働の減少に努める。 ②現在活用しているICTの帳票関係を使用できるようにし、質を落とさずに業務の軽減に努めていきたい。				
担当課記入欄	8 個人情報保護の取組 個人情報保護について、法人で新入社員研修を実施し、全職員に対しても4月当初の園内研修で確認しているほか、人事考課の際（年2回）にも自己評価でチェックしている。				
	10 職員の労働条件の保護 ノンコンタクトタイム（保育室から出て必要な作業を行う）、作り物を減らす等により時間外労働の減少に努めている。 11 職員研修 前年度に研修希望を聴取し、園として受けさせたい研修も含め研修計画書に落とし込んでいる。 【特記事項】				
評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①職員の勤続年数が長く、職場への定着が見られる。 ②ノーコンタクトタイムの導入など、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる点は高く評価できる。				
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員		
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5		
		5	5				
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	5.00		
		5	5				
		合計点(満点25点)	25.0	25.0	25.00		
		【アピールポイント】					
		1.2 委託料の健全な運用 ①当法人の会計処理は法人経理規定を遵守し、会計ソフトを使用、顧問税理士より処理内容の点検を受けており、決算処理については外部公認会計士の監査も受けている。 ②委託料の財務管理及び安全性の高い銀行預金での運用管理の徹底を図っている。					
		1.3 委託料残額の取扱い 足立区にある姉妹園のJキッズルミネ北千住保育園が老朽化のため園舎改修工事を行うことになり、年度協定書第4条第6項に基づき、当園の余剰金の積み立てのうち4,500万円を園舎改修工事資金として活用した。					
		【改善すべき点・課題等】 1.3 委託料残額の取扱い 施設の老朽化のための修繕費を委託料残額使用計画として将来を見通しながら作成していきたい。					
1.2 委託料の健全な運用、1.3 委託料残額の取扱い ①複数年にわたり積み立てられた余剰金について、年度協定書に基づき区内の別の保育施設の改修費用として活用した。 ②当園についても、余剰金を調理器具の更新やトイレ手洗場の改修費用として活用してきた。 【特記事項】							
【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。							
【改善すべき点】							
【その他注意点】							

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 （アンケート調査等による）	利用者の満足度 （アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4.5	4.43
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4.5	
		合計点(満点 70 点)	70.0	62.0	62.02
		【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 ①令和6年度は第三者評価が利用者満足度95%と高い評価を頂いた。 ②課題も抽出することが出来たので、振り返りを行い改善に努めた。 ③回収率も80%と高かった。			
		【改善すべき点・課題等】 1.4 サービスの質の評価 第三者評価後に、法人の利用者満足度を行ったが、回収率が低かったため、時期など考えていきたい。			
	担当課記入欄	1.4 サービスの質の評価 第三者評価を受審し、利用者回収率は78.8%。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 総じて高い評価を得ているが、特に職員の待遇や食事、清掃・整理整頓等は90%以上の高い評価を得ている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 第三者評価の結果などから、保護者からの信頼が厚いことがうかがえる。引き続き、保護者に寄り添ったサービス提供を心がけていただくようお願いしたい。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	4	4	
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×2	×2	4.26
		合計点(満点40点)	32.0	34.0	34.08
評価委員記入欄	【アピールポイント】 <u>19 人権の尊重</u> ①「子ども主体の保育」を基本とし、人権擁護・接遇マナーのチェックリストを年2回実施し、ヒアリングを行い、人事考課でも面談の機会を設け、個々の保育に対する意識の確認をしている。 ②法人統一のハンドブックや、足立区教育保育の質のガイドラインを活用しながら、皆が同じ方向性を向き「子どもの子らしさを大切にした保育」に取り組んでいる。				
	【改善すべき点・課題等】 <u>18 保育の基本原則</u> ①「子どもの行動」や「エピソード」から気づきをみつける「ドキュメンテーション」を学び、子どもの理解を深めていきたい。 ②常に「聴く保育」を心がけていく。				
	<u>18 保育の基本原則</u> ①年2回、区のガイドラインを利用し、振り返りをしている。 ②子どもが主体的に遊べる環境づくりのため、定期的に見直しを行い改善している。 <u>19 人権の尊重</u> ①乳児クラスについて個別に関わり、遊ぶ中で子どもの声を聴き応答的に対応していた。 ②水遊びの着替えの環境には工夫が必要。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 引き続き、質の高い保育を提供するよう努めてほしい。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	4.3	×2 ×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	4	4	×2 4.45
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	4	5	×2
	合計点(満点30点)	24.0	26.6	26.70	
評価委員記入欄	【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 環境設定については、子どもの成長と共に変化を繰り返し、次年度に繋げられるように記録を取るようにした。 2.2 保育環境 子どもたちが主体的に遊びこめるような年齢に合わせた環境設定及び午睡時の採光・換気等に十分に配慮している。 2.3 小学校との連携 小学校との連携は積極的に行うことができ、5歳児公開保育も実施した。				
	【改善すべき点・課題等】 2.3 小学校との連携 小学校とは積極的に交流活動を行ったが、保護者の就学に対する不安を軽減できるように、校長先生の講和や、相談等も適宜行っていきたい。				
	2.1 指導計画の展開 ①指導計画に基づき、子どもが主体性をもって活動できるように配慮されている。 ②写真を使用したドキュメンテーションを作成し、保護者に周知しており、アプリを使用した取組も開始した。 2.3 小学校との連携 ①授業体験や校庭遊び等、同敷地内の小学校との交流活動を密に行っている。 ②保護者会で、小学校からの資料をもとに就学に向けての話をし、不安の軽減を図っている。 【特記事項】				
評価委員記入欄	【評価すべき点】 保育室の立地を活かし、小学校とは良好な連携ができていると評価する。進学時の不安感軽減という観点からも、一層積極的かつ継続的な連携を強化していただくよう、強く期待する。				
	【改善すべき点】 【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 5	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 5	×2 4.3	4.27
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 5	×2 3.5	
		合計点(満点30点)	30.0	25.6	25.62
	指定期入欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①クラスの興味・関心に合わせた食育計画を作成し、調理を含む食べ物に触れる経験を通して「食」に興味を持つてもらえるような活動を取り入れている。 ②食育活動は計画、実施、反省を記録し、次回の活動に活かしている。 2.5 食事計画 ①献立作成では、旬の食材の使用や季節ごとの行事食、日本の郷土料理や世界の料理などを取り入れることでバリエーションを豊かにし、みんなで楽しく食事ができるようにしている。 ②給食室会議を月に1回開催し、調理作業を円滑に行うための意見交換や情報共有を通して給食室のコミュニケーション向上に繋げている。 ③職員会議などで保育職員からの意見を聞きとり、栄養士や調理師が実際に食事の様子を見に行くこと、献立作成・食育活動に活かしている。 ④法人内で月に1回栄養士会議を実施し、各園のヒヤリハットの共有・食育や献立作成の工夫・作業管理・衛生管理・危機管理・アレルギー対応の確認など様々な情報交換をし、自園の振り返りを定期的におこなうことで、安全で美味しい食事の提供に活かしている。 2.6 食事の提供 ①個々の発達に合わせて食具や食材の大きさを変更して提供している。 ②残菜量をチェックし、日々の園児の食の進み具合を把握している。 ③担任とも定期的に情報交換をし、提供量の見直しを行っている。 ④アレルギー児の給食提供までの流れを明確にし、栄養士または調理師とアレルギー対応確認表を用いて保育士とのダブルチェックをおこなっている。 ⑤園児名が明記された個別トレイで提供し、職員が側につき誤食を防いでいる。 ⑥アレルギー児が孤食とならないように机の位置や体の向きを配慮している。 【改善すべき点・課題等】			
		2.4 食育計画 旬の食材や調理体験と献立の計画が詳細に記載され、豊かな食体験につながる内容になっている。 2.6 食事の提供 ①子どもの椅子の高さを足台をつけ配慮しているが、床に足がつかない子どももいた。 ②アレルギー児の対応について、「食物アレルギー対応マニュアル」通りに対応できていない。 【特記事項】			
		【評価すべき点】			
	評価委員記入欄	【改善すべき点】 アレルギー対応を誤ると重大な事故につながる恐れがあるため、マニュアル記載内容の実施を徹底すること。			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 5	×2 4	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 4	×2 4	4.33
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点30点)	28.0	26.0	25.98
事業の取組み	評価委員記入欄	【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①園児の健康管理については個々の病歴の一覧表を作成し職員全員で確認・共有している。 ②歯磨き指導を5歳児のみ実施、次年度に繋げていく。 28 乳幼児突然死症候群の予防 午睡は法人全体で「うつぶせ寝禁止」を徹底し、職員一人ひとりの危機管理意識を向上できるよう会議等で適宜伝えている。 29 虐待等への対応 「人権及び虐待チェックリスト」を活用することや人事考課面談などの認識の確認等から意識を高め、虐待の早期発見に努めている。			
		【改善すべき点・課題】 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①令和6年度は午睡センサーを活用しなかった。 ②今後は「ルクミー機能」の午睡チェック手入力を活用し、しっかりと呼吸の確認をしながらも、連絡帳と連動できるようにし、職員の業務軽減に繋げていく。 29 虐待等への対応 虐待に対する園内研修を適宜行い、理解を深めていく。			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 園内研修でSIDS予防について職員間で確認をしている。 29 虐待等への対応 ①人権、虐待チェックリストで年2回確認するほか、人権に関する園内研修も年2回以上実施している。 ②要支援家族の対応記録を作成し、関係機関と連携を図っている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 健康・安全に対する意識が高いことがうかがえる。			
		【改善すべき点】			
評価委員記入欄		【その他注意点】 午睡チェックの職員負担を軽減するため、ICT機器の活用も検討してほしい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（せきや保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

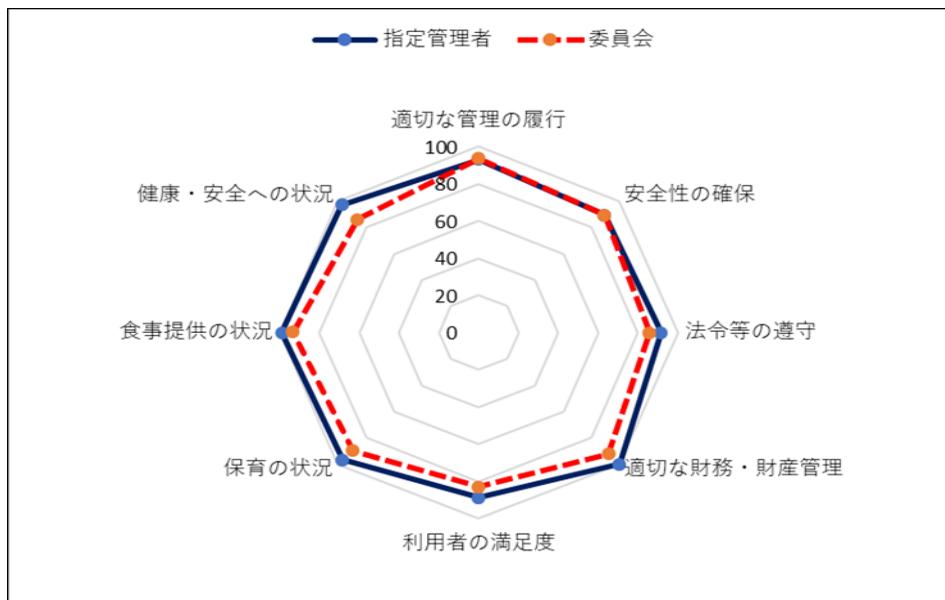
大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 4	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 4	4.00
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 4	
		合計点(満点35点)	30.0	28.0	28.00
		【アピールポイント】 3.1 調理衛生管理 ①食品衛生責任者は食品衛生に関する研修を受講し、受講後はレポートを作成し回覧するとともに、重要な点は会議でも周知して、一人ひとりが衛生管理を意識するようにしている。 ②調理員は調理室から出る時は白衣を脱いでいる。 ③調理従事者は毎日健康チェックを行い、毎月細菌検査を行っている（夏季は月に2回）。 ④配膳や食事介助につく保育者も毎月細菌検査を行っている。 ⑤下処理、洗浄の際にはそれぞれ色の異なる専用エプロンを着用、肉・魚・卵などの汚染作業の際には使い捨てビニールエプロンを着用することを徹底し、作業の区別と汚染の防止している。 ⑥食品の温度管理は納品から加熱調理、冷却、保存までしっかりと行い、記録している。 ⑦衛生管理者に調理室の個人衛生チェック表と調理室内の点検表の結果を毎日報告し記録に残している。 3.2 安全確保 ①事故の振り返りをしっかりと行い、複数のチェックリストを用いて安全管理に努めている。 ②30分ルールを厳守し、職員皆が同じ対応が出来るようにしている。 ③昨年度のモニタリングで指摘いただいた年齢に合わない玩具については見直しを行い、年齢に沿った玩具を提供するようにしている。			
		【改善すべき点・課題等】 3.0 保育室衛生管理 園内がいつも清潔でいられるように、一人ひとりが衛生管理にの意識を高く持ち、常に安全で綺麗な環境に努めていきたい。			
		3.0 保育室衛生管理 衛生管理チェックリストで室内の衛生管理について定期的に確認している。 3.2 安全確保 ①アクシデントレポートは園長がコメントを入れ、必要に応じてラインワークス等を通じて職員に周知している。 ②保護者アプリで訓練や安全確保の内容について周知している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 とても丁寧に対応されていることがうかがえる。継続した取り組みをお願いしたい。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
評価委員記入欄					

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

青井保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人からしだね

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
- ②適切な財務運営・財産管理が行われている。
- ③保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	307	A

ランクダウング
有

総合評価
A

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
329.1	A+	307.6	A

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な管理の履行	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	5	5	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	4.1	4.68
		合計点(満点20点)	18.6	18.7	18.72
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 ①基本協定書に定められている規定回数は専門業者に依頼し、日常も可能な限り職員でできる事を行っている。 ②足立区による空調設備改修工事の開始前に職員休憩室の空調が壊れてしまった為、新規交換し職員が快適に休憩できる場を提供した。 ③3～5歳児クラス、医务室、事務室は、足立区による令和6年度の空調設備改修工事が実施され快適な冬を過ごす事ができた。 ④修繕計画も立てている。 2 施設の清掃等 ①午前と午後に用務の職員が園内園外共に丁寧に清掃を行っている。 ②ゴキブリ駆除は専門業者に依頼し規定回数を実施し、状況によっては追加での依頼も実施している。 3 備品等の保守点検 ①植木剪定は、毛虫の発生時期や植木にとっての適正な剪定時期を専門的に相談しながら業者に行ってもらっている。 ②布団乾燥は業務委託の他、毎週布団干しを行い、布団庫には除湿シートや除湿機を使用し快適を保つよう努力している。 ③布団は洗濯機で丸洗いでき、常に衛生的に使用できる。 ④樹木剪定及び調理器具清掃は規定回数以上実施している。			
		【改善すべき点・課題等】 次年度以降も、現行を維持していくように努力していきたい。			
	担当課記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①各項目規定回数以上の実施を確認。 ②修繕計画が立てられている。 ③令和6年度に区で空調機の大規模改修を実施したが、職員休憩室の空調機についてはその対象外であったため園で交換した。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	5	5	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4.3	4.3	4.47
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	31.3	31.3	31.29
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①園舎火災警備点検は、警備会社に委託し日々警備体制を整えている。 ②園庭遊具を設置し子どもたちが常に安心安全に使用できるよう毎月チェックしている。 ③園庭遊具の点検については、業者委託を行い指示通り使用している。 ④滑り台は安全補修を行った上で使用し、太鼓橋については基準外だった古い物を撤去し新しい物を新設した。 ⑤園庭の乗り物、転落怪我防止等については、送迎バス等安全対策支援事業を利用して修繕を行った。 ⑥AED装置は、毎日リモートによる点検システムを利用しており非常に備えている。 ⑦AEDの使い方を含め、消防署との連携により心肺蘇生の講習を受けている。 5 防災の取組 ①消防署や警察署と連携を取り、訓練を実施している。 ②自治会の協力も大きな助けとなっている。 ③防犯カメラを8台設置し、警備会社へも委託して防犯・防災に力を入れている。 ④午前、午後の用務職員は、腕章を着けて園周辺の見回りを兼ねながら清掃行っている。 ⑤BCPマニュアルを作成している。 ⑥消防計画に帰宅困難者対策の消防計画を平成26年度に追加した。 ⑦水防非常対策計画を作成し、園がある団地の自治会の協力の下、上階へ上がる訓練を行っている。 ⑧消防計画の避難場所が古いとの指摘を受け、消防計画の改訂を行っても古い箇所は削除されないため残っているが、考え方としてはBCPマニュアルがある為そちらを優先して行っている。 6 防犯の取組 ①不審者対応訓練では、綾瀬警察の方に学校110番のDVDを観ながら指導を受けている。 ②防犯対策訓練では、年長クラスが「いかのおすし」についてDVDを観ながら指導を受けている。 ③巡回については、日報に巡回記録を行っている。 ④散歩届けの記載内容を見直した。 ⑤散歩時には必ずカメラを持参し、不審な物や害虫等が出た時に画像にて報告をしている。 7 事故への対応 ①毎月の園長会での事故報告を翌日には職員に周知し、その際に30分ルールについても確認している。 ②園舎周りのフェンス下は、潜って外に出られないように花壇の整備をしている。 ③防犯対策や園児の飛び出し防止については、利用者からの意見もあり園舎周りのフェンスの高さも含め門扉のオートロックについて、令和7年度の門扉改修工事が夏に予定され着工に向けて準備をしている。 【改善すべき点・課題等】 次年度以降も、現行を維持していくように安全・防災・防犯に努めていきたい。			
		4 施設設備の安全の確保 消防署と連携して心肺蘇生、AEDの訓練を実施している。 5 防災の取組 ①防火管理者である園長は消防団員でもあり、また防災士資格も取得していることから、防災の取り組みに対し率先して取り組んでいる。 ②訓練だけでなく実際の地震時の対応記録も付けている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①遊具の点検や入れ替えが適切に実施されている。 ②AEDの使い方の確認や、消防署と連携して講習を行うなど、不測の事態に備える取り組みが充実している。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 (法令等の遵守 (※倫理性も含む))	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさないよう必要な措置を講じている	×2 4	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	4	4	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 5	×2 4	4.29
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点35点)	32.0	30.0	30.03
		【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 ①個人情報保護については神経質になるくらい徹底しており、園児や保護者だけでなく職員の個人情報についても日々気配りを行っている。 ②職員には特に時間を掛けて年度末に次年度に向けての会議や新年度の会議、また、入職者があった場合にはその都度説明をし誓約書を提出して貰っている。 ③新規採用者には、入職前研修にて丁寧に説明をしている。 ④ホームページ上の子どもの画像、クラス毎のドキュメンテーションの画像、それぞれについて保護者の同意を貰っている。 9 個人情報事故への対応 個人情報についての事故は起こっていない。 10 職員の労働条件の保護 ①法人で1年単位の変形労働時間制を取り入れている。 ②1年単位の変形労働時間制の場合は、日曜祝日も勤務日となり代休や振替を設定する必要はないが、職員の体を休める為にプラスで休みを取ってもらっている。 ③残業を希望する職員には、必ず申請をしてもらい、園長の許可を貰った上で規定時間以内で残業を認めている。 ④労基法に基づいて、年間5日以上の有休を計画的に消化し実施している。 ⑤翌月の休暇届の〆切を設定し、その数日前には必ず声を掛け休みが取りやすいようにしている。 11 職員研修 ①研修は本人が希望するものを含めて積極的に参加を促し、園内の研修会議で研修内容を周知するとしている。 ②キャリアアップ研修は、予定より早めに全員が受講できるように計画を立て実施している。 【改善すべき点・課題等】 次年度以降も現行を維持し、職員にとって働きやすい業務環境を整えていきたい。			
		8 個人情報保護の取組 4月の職員会議において個人情報について毎年読み聞かせを実施しているほか、アルバイトも含め、入職時に誓約書を徴している。 11 職員研修 職員ごとに研修計画を立てている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 研修計画が充実しており、人材育成への積極的な姿勢が評価できる。引き続き、保育の質向上に努めていただくようお願いしたい。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員		
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5		
		5	5				
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	4.61		
		5	4				
		合計点(満点25点)	25.0	23.0	23.05		
		【アピールポイント】					
		1.2 委託料の健全な運用 ①計画的な修繕を行う事ができ、子どもたちの安心・安全な環境を整えられる事ができた。 ②法人本部拠点への繰入れは、人件費分としては法人で一括して給与計算等を行っているため、法人本部の事務職員賃金等を各施設拠点が案分計算に基づき、繰入れしている。 ③事務費としては、公認会計士、司法書士、弁護士の経費等の法人・施設運営必要な経費を各施設拠点が案分計算に基づき、繰入れしている。 ④法人経理規程により、修繕費積立及び備品等購入積立については、保育所施設・設備整備積立とされているが、内容については変わらない。 ⑤給食食材費、水道光熱費の物価高騰の予測は難しかったが、可能な限り無駄を出さないよう努力している。 1.3 委託料残額の取扱い 委託料については、残額は発生しておらず、残額が発生した場合は、退職金の積立と人件費の積立、施設整備の積立に当てており、特に人件費及び施設整備費に関しては目標や整備計画を立て実施している。					
		【改善すべき点・課題等】 次年度以降も、節約できるところは努力し財務運営をしていきたい。					
		1.2 委託料の健全な運用 収支報告書上は収支が赤字になっているが、翌年度以降に支出する賞与引当金を差し引くと大幅に黒字となるため、財政状況は健全と言える。 【特記事項】					
【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】							
【その他注意点】							

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度 (アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員	
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14	
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4		
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	4.14	
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4		
		合計点(満点 70 点)	62.0	58.0	57.96	
				【アピールポイント】		
			1.4 サービスの質の評価			
			①第三者評価については、指定管理者受託の年から3年連続で実施しその後は規定通りの3年に一度に受審している。 ②第三者評価受審のない年の利用者アンケートは、足立区のフォーマットに準じて毎年行っている。 ③令和6年度は保護者アンケート（利用者アンケート）のみを実施した。			
			1.5 保護者・地域への対応に関する評価			
		①クラス担任が直接保護者と話し、家庭での様子やクラスでの様子を情報交換できるように、8:00～18:30を各クラスベースで過ごし、人数が減っても所属クラスで子どもたちが安心して過ごせるよう、職員のシフトに配慮している。 ②苦情解決第三者委員を設置し保護者にも周知している。				
		1.6 保育内容に関する評価				
		①運動会は幼児クラスと乳児クラスに分け、乳児クラスは「親子で一緒」をメインにプログラムを構成した。 ②発表会は当日を幼児クラスに絞り、乳児クラスは日々の表現活動を写真に撮り、スライドショーとしてクラス毎に子どもの成長を見てもらった。 ③参観・参加は各年齢ごとに時期を変え、それぞれ約3週間の期間を設けている。 ④毎月行っているお誕生会はご家庭にとっては年に1回のお誕生会であるため、保育園側でビデオ撮影し、希望されるご家庭にはコピーを作って配付した。 ⑤保護者からの要望については、職員間で話し合い、できる事とできない事を丁寧に説明をしている。				
		1.7 施設内容に関する評価				
		①トイレの臭いは天気にも左右されるが、業者に依頼ができる限りの事はしているが、見えない部分の配管は経年劣化の為触ることができないとの事で、毎日の清掃ができる限りの事をしている。 ②トイレは足立区による改修工事が令和8年度に予定されている。				
		【改善すべき点・課題等】				
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価				
		①苦情や要望については可能な限り前向きに考え方対応を行っているが、100%要望を叶えることは難しい。 ②ひとつでも自分の要望が聞き入れて貰えないと、どちらともいえないまたはいいえという回答になっている。 ③今後もこの点については課題として前向きに対応をしていくつとも、理念や方針に沿った保育内容については園を信頼してもらえるよう働きかけを怠らない。 ④エスカレートする保護者の要望（職員の仕事量は増える内容）についてにはとても悩まされている。				
	記担当 欄課	1.4 サービスの質の評価				
		①直近では令和4年度に第三者評価を受審し、利用者回収率は54.0%。 ②第三者評価を受審していない年については、利用者アンケートを行っている。				
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価				
		清掃・整理整頓等は90%以上の高い評価を得ているが、安全対策は比較的低い評価となっている。				
		【特記事項】				
	評価 委員 記入 欄	【評価すべき点】				
		保護者から良好な評価を得ており、園の取り組みが高く評価されている。今後も引き続き、保育の質の向上に努めてほしい。				
		【改善すべき点】				
		アンケートの回収率の向上に努めること。				
		【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		5	4		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
		5	4.5	4.38	
事業効果	評価委員記入欄	20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		5	4.5		
		合計点(満点40点)	40.0	35.0	35.04
		【アピールポイント】 18 保育の基本原則 ①進級の際には、個別の引継ぎ記録が準備されている。 ②支援計画を保護者に確認して貰った後、口頭ではなく確認印を貰うようにしている。 ③1年の振り返りをしっかりと残し、スマーズな進級へと配慮している。 ④連絡無しの欠席はほとんど無いが、連絡が無かった場合は必ず連絡を入れ記録として保育日誌に残している。 ⑤年間で「保育のまなざし」を設定し、各クラス毎のサブタイトルに沿った保育の実践をしている。 ⑥「保育のまなざし」の内容については、クラスだよりを通して保護者とも共有している。 ⑦保護者からWEB上で読めるようにして欲しいとの意見から、クラス便りもHPにアップできるように検討している。 19 人権の尊重 ①保育士の子どもへの関わり方は、年度初めの職員会議で資料（保育中の言動についての注意事項・保育士倫理綱領）を読み合わせながら確認し合っている。 ②乳児トイレの目隠しについては、個々が安心して用を足せる高さの衝立を作成し使用している。 ③幼児クラスが健診や水着に着替える際には、男女を分け、衝立を使用して更衣している。 ④令和6年度のモニタリングの際に指摘された衝立の高さについては、大人が必ず衝立の中にもいる事で子どもが不安にならないようにした。 20 全体的な計画・指導計画の作成 ①年間カリキュラムについては期毎及び年間の反省を残している。 ②年間カリキュラムを基に、月案・週案を立て、日々の記録は保育日誌として記録している。 ③年間個別指導計画は、年齢問わず全園児に対応している。 【改善すべき点・課題等】 日々見直しを怠らず、気付いた事を話し合えるようにしていく。			
		18 保育の基本原則 ①子どもが主体的に動けるように、子どもに分かり易く伝える配慮を共通として保育をすすめている。 ②2、3歳については、見立て遊びができる素材や玩具がいつでも子どもが手に取れるような環境があると良い。 19 人権の尊重 「子どもの人権を尊重する保育とは」の研修報告を会議で行い、事例を通して職員と意見交換をして共有を行い記録している。 【特記事項】			
評価委員記入欄		【評価すべき点】 適切な保育が提供されている。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】 クラス便りのHPへの掲載など、保護者の要望に適切に対応するようお願いしたい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点				
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員		
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	4.8	4.8	4.8	
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	4.8	4	4.60	4.60	
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	5	5	5	5	
		合計点(満点30点)	27.6	27.6	27.60	27.60	27.60
		【アピールポイント】					
		2.1 指導計画の展開 年間カリキュラムを基に、月案・週案を立て、日々の記録は保育日誌として記録している。					
		2.2 保育環境 ①施設内の環境は、室温・湿度・採光・音（大人の声も含めて）に配慮している。 ②『子どもが自由に自主的に動けるための子どもに分かり易く伝える共通の配慮』を下記の4点に力を入れ保育環境や保育内容を整え保育教育に取り組んでいる。 （1）子どもの活動の動線を配慮し、幼児クラスの保育室の基本的な環境・配置を統一する。また、遊具・教具・備品の置き場所を基本的に固定する。 （2）子どもが自分で行う活動で、毎日繰り返される活動は統一し共有する。 （3）子どもに伝える時には、様々な子どもたちが説明や紹介を理解できる工夫をする。 （4）活動や説明を伝える時は、絵カードや文字カード、写真をホワイトボードを使用し視覚補助教材を使用する。					
		2.3 小学校との連携 ①幼保小連携としてスムーズな就学に向け、小学校との交流を行っており、感染対策が少しづつ緩和されたものの、副校長が交代となった為、なかなか連絡がスムーズにいかず実質的な交流は発表会の鑑賞のみとなつた。 ②児童要録はクラス担任を中心に作成した書類を園長、副園長が確認し、最終的には記載内容を保護者に伝え、同意を得て完成としている。 ③5歳児の保護者会では「就学に向けて」のプリントを作成し配付し、個別の質問にも答え、保護者の不安軽減に取り組んでいる。					
		【改善すべき点・課題等】					
2.2 保育環境 環境面で、空気が乾燥している時期に加湿器をフル稼働しているが、天井がとても高い分、なかなか湿度が上がらない事が課題である。							
担当課記入欄	2.1 指導計画の展開 ①子どもが主体的に活動できるよう環境のレイアウトを視覚化し職員間で共有している。 ②研修会議で事例を出し合いグループディスカッションを行い記録し、見直しや改善、提案をして学び合っている。						
	2.3 小学校との連携 ①学校探検や展覧会、1年生との交流を行っている。 ②5歳児保護者会で「就学に向けて」の資料を配付しており、5歳児担任が交流研修で捉えた1年生の生活をクラスだよりで保護者に伝えている。 【特記事項】						
評価委員記入欄	【評価すべき点】 丁寧な対応を行っていただいていると評価する。						
	【改善すべき点】						
	【その他注意点】 小学校との連携については小学校側の事情もあるが、進学時の不安感を軽減するため取り組みを継続してほしい。						

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 5	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 4.8	×2 5	4.67
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 5	×2 4	
		合計点(満点30点)	29.6	28.0	28.02
		【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①本園は直営にて給食を提供している。 ②献立の立て方としては、旬野菜を中心にバランス良く立てている。 ③毎月「世界の料理」を献立に盛り込み、世界の食文化を伝えている。 ④年2回、児童クラスの成長具合（身測記録）を把握し食事のすすめ方を担任と栄養士が話す機会を設けている。 ⑤園全体として、離乳食会議、アレルギー会議、給食担当者会議を設定し献立内容を検討する場も設けている。 ⑥各年齢の食育計画は、0歳～就学前までのスムーズな移行に沿って立てている。 ⑦子どもに自らの健康を意識して貢う為に、食材そのものが身体の何に良いのかを分かり易く廊下に掲示しており、掲示物は各クラスへの移動が可能で、食前にメニューを確認しながら使用食材についての話しを行っている。 ⑧現在エビデンス対応のお子さんはいないが、嘱託医による衛生教育でエビデンス講習を行っている。 2.5 食事計画 ①コロナ禍が明け、食卓に座る人数も少し緩和され、一度に食卓に着く人数と食席の位置を見直した。 ②特に乳児は、登園時間によって朝食の摂取時間に差がある為、十分に遊び食事を食べたいという気持ちになれたタイミングで食事に誘っている。 ③旬の野菜の紹介や野菜作り等、食育活動を行っている。 2.6 食事の提供 ①子どもの食べ始める時に目を離してしまう場面があった為、準備と食卓に付く職員の動きを見直した。 ②乳児の食事提供について、子どもたちの口腔機能や発達を考慮しながら食べさせ方を工夫している。 ③アレルギー児が孤食とならないよう配慮している。 ④個々に食べる時間を配慮し、お腹が空いた子どもから食べ始めるようにしている。 ⑤机やイスは既製の物なので、一人ひとりに合ったイスや足台を作り使用している。			
		【改善すべき点・課題等】 次年度以降も、現行を維持していくように努力していきたい。			
		2.4 食育計画 食育計画を作成し調理保育や栽培、収穫など計画的に保育に取り入れている。 2.5 食事計画 ①調理保育計画を作成し、ねらいや方法・配慮点評価・反省を記録している。 ②毎月離乳食会議や給食担当者会議を行い、栄養士より食育によりを発行し、給食に関する情報を提供している。 2.6 食事の提供 ①食事中、個々の姿勢を配慮し、足台を使用している。 ②アレルギーマニュアルの他、エビデンスやブコラムなどの使用について資料をファイルに保管し共有している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①アレルギー対応など適切な対応がなされている。 ②栄養士とも適宜連携を取り、引き続き食育への取り組みを実施していただくようお願いしたい。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
評価委員記入欄					

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 5	×2 5	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 4	4.67
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 5	×2 5	
担当課記入欄	評価委員記入欄	合計点(満点30点)	30.0	28.0	28.02
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①園長、副園長、看護師、栄養士との連携を密に、園全体の健康管理や衛生管理を行っている。 ②子どもに自らの健康を意識して貢う為に、食材そのものが身体の何に良いのかを分かり易く廊下に掲示し、掲示物は各クラスへの移動が可能で、食前にメニューを確認しながら使用食材についての話しを行っている。 ③毎月「保健だより」発行し、子どもの健康について保護者と共有している。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①午睡チェック表を使用し、体調等に早く気付けるよう行い、0～2歳児クラスは、仰向けを徹底している。 ②午睡時のカーテンについては、クラスを回ってカーテンが開いている事を確認している。 ③午睡チェック表は、使い易さを考え様式を変え、更に改善し現在は体の向きも含めて記録している。 ④乳幼児突然死症候群については看護師の講義を受けている。 ⑤他国籍の保護者に向けては丁寧に「仰向け寝」を説明している。 29 虐待等への対応 ①虐待が疑われるケースについては、専門機関と連携を組み適切に対応している。 ②足立区教育・保育の質ガイドラインの振り返りシートや自己チェックシートを活用して早期発見に努めている。			
		【改善すべき点・課題等】 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①午睡チェックは規定通り行い、事故につながらないよう十分に気を付けていく。 ②他国籍の保護者には「仰向け寝」を理解してもらう必要がある。			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 午睡チェック表に午睡時の観察ポイントや特記事項の記入例が記載され、子どもの状況を記入している。 29 虐待等への対応 ①自己チェックシートを使用し、虐待の早期発見に努めている。 ②家庭支援経過記録を作成し、専門機関と連携している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 外国籍の保護者にも丁寧な説明を心がけている。引き続き、保護者に寄り添った対応をお願いしたい。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

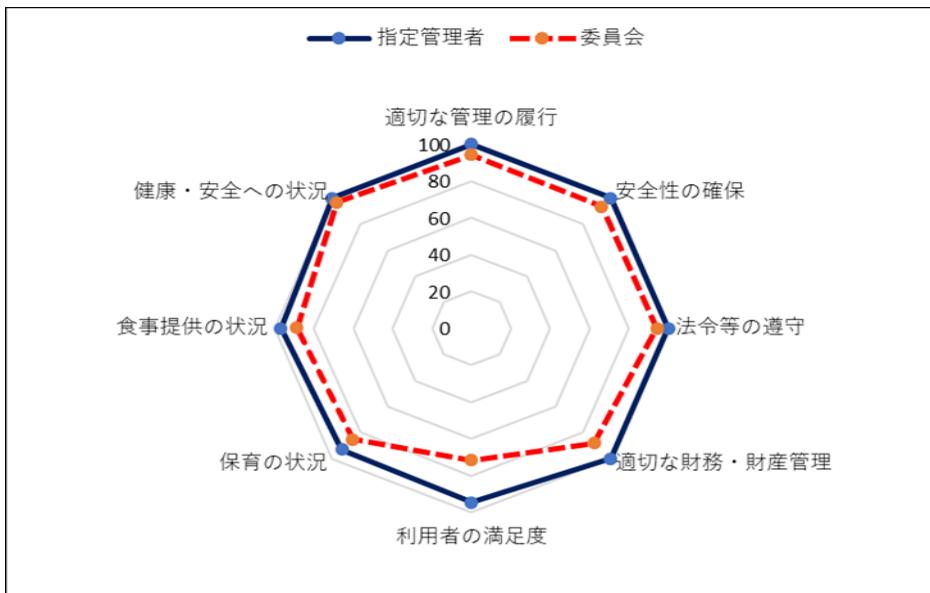
大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理	×2	×2	×7
		(1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	5	4	
		3.1 調理衛生管理	×2	×2	
		(1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	4	4	4.00
		3.2 安全確保	×3	×3	
		保育中の事故発生防止に取り組んでいる	5	4	
		合計点(満点35点)	33.0	28.0	28.00
		【アピールポイント】			
		3.0 保育室衛生管理 ①園長、副園長、看護師、栄養士との連携を密に、園全体の健康管理や衛生管理を行っている。 ②嘔吐物、排泄物（下痢）の処理方法は、マニュアルを見ながら確認し、嘱託医による衛生教育を実施している。 ③園舎内の床は、除菌・消毒の液体にも対応している為、常に清潔に保っている。 ④園内清掃の特に共用部分は、午後担当の用務が屋内を中心毎日清掃を行っている。 ⑤トイレ及び厨房は、年に1回業者が入り清掃。加えて幼児の立便器には、尿石がこびりつかない様に業者が定期的に薬液の交換に来ている。 ⑥乾燥時季には、加湿器をフル稼働している。 ⑦感染性の病気が拡散しないように、家族の中で感染性が疑われる病気にかかった時には、登降園の入口を変え園舎内の立ち入りを最小限に止めている。 ⑧保育に付く職員には、自宅が近所であっても、出勤時と退勤時の着替え、うがい、手洗いを促し“菌を持ち込まない・菌を持ち帰らない”としている。 ⑨コロナ禍は明けたが、感染対策全般として、トイレ、廊下、共有部分は、清掃とは別に、事務職員が出勤後直ぐに、消毒に回っていた。 ⑩汚れた衣服を着替える時には必ず一人ひとり衝立を使用している。			
		3.1 調理衛生管理 ①調理従事者の衛生管理、健康管理や食材管理については、給食日誌に記録している。 ②毎日、翌日の確認と当日の確認を調理従事者全員で行い給食日誌に記録している。			
		3.2 安全確保 ①散歩届については、引率者名を全員記入に変更し、帰園時の確認を必ず園長が行うようにしており、園長が不在の時は、副園長が確認をしている。 ②散歩時には必ずカメラを常備し、不審な物や害虫が出たら画像として持ち帰り園全体で共有している。 ③プールの際の監視体制は、必ず監視役を置いている。 ④物置前の鉄柵部分については、柵までも熱くないようにコーティング施工している。 ⑤ヒヤリハットを行い、ちょっとした事でも躊躇せず報告し職員全体で共有している。 ⑥令和6粘土のモニタリングで指摘のあった1歳児クラスの磁石の付いている玩具については直ぐに撤去した。 ⑦屋内屋外問わず全職員が全ての子どもを見る事を職員に周知している。			
		【改善すべき点・課題等】 次年度以降も、現行を維持していくように努力していきたい。			
		3.2 安全確保 ①遊具点検表を記入して安全面に配慮している。 ②防犯指導、不審者対応訓練を実施し事務室だよりで保護者と情報共有している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 散歩時の安全確認や、鉄製の柵に高温防止措置を講じるなど、子どもの安全確保に向けた取り組みが適切に行われており高く評価できる。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

興本保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人太陽会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
- ②適切な財務運営・財産管理が行われている。
- ③子どもたちが安心して過ごせる環境が保たれている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	305	A

ランクダウ ン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
340.0	A+	305.6	A

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
適切な管理の履行	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2 5	×2 5	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	5	4	4.70
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	5	4.8	
		合計点(満点20点)	20.0	18.8	18.80
担当課記入欄	評価委員記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 ①基本協定に基づき実施している。 ②上記項目以外にも外部業者に全熱交換器等のフィルター清掃を依頼している。 ③施設の修繕計画を作成し、区の担当係長と相談しながら修繕を進めている。 2 施設の清掃等 ①用務員を雇用し、日々の清掃業務の他に天井扇等の清掃を職員で実施している。 ②用務員の他に保育補助員も清掃に加わり園舎内外の美化に努めている。 3 備品等の保守点検 ①園舎前の小学校の敷地が長年空き地になっているため雑草がすぐに生えてしまう。 ②樹木の剪定については、規定の数より多い年2回依頼しており、更に職員による整備も実施している。			
		【改善すべき点・課題等】 1 施設・設備の保守点検 ①民営化9年が経過し、修繕が必要な箇所が増えてきており、予定していた物以外の故障や修繕も多くなっている。 ②金額が大きいものは区と相談しながら進め、金額の小さい修繕は運営費の中で計画的に進めていく。 3 備品の保守点検 ①小学校敷地の空き地は新校舎が移転するのは8年後になるとのことなので、今後も雑草の問題は続いている。 ②区はビューティフル・ウインドウズ運動を掲げているので花壇の整備をしていくが、当面は雑草の対策が必要。			
		1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①各項目規定回数以上の実施を確認。 ②今後の修繕計画が立てられている。 【特記事項】			
評価委員記入欄		【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。			
		【改善すべき点】 施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	5	5	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	5	4.7	4.66
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点(満点35点)	35.0	32.6	32.62
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①遊具点検は業務委託による点検の他に、チェックリストに基づき職員による定期点検も実施している。 ②業務委託により指摘を受けた箇所は修繕を行った。 5 防災の取組 ①消防計画だけでなく、いち早くBCPを作成し職員に周知してきた。 ②災害時における時差退社計画を作成している。 ③引き渡し訓練の際には、保護者に園の防災グッズを紹介した。 ④保護者会時に保護者の皆さんも被災者になることを伝え、自身の身を守ることの大切さを伝えた。 6 防犯の取組 ①園舎西側の門を電子錠にし、保護者のみ出入り出来るようにした。 ②保護者に送迎者カードを配付し、一目で保護者と分かるように、安心して送り向けるようにした。 ③西新井警察署に協力いただき防犯訓練を行い、できるだけ多くの職員がさすまたの訓練を実施している。 7 事故への対応 ①区の30分ルールを遵守し、事故の発生に対処している。 ②判断に迷うことに関しても区の担当課に相談しながら進めている。 ③事故・怪我にすぐに対応出来るようトランシーバーを購入し活用している。			
		【改善すべき点・課題等】 6 防犯の取組 今後は園舎内に見守りカメラを導入予定。			
担当課記入欄		4 施設・設備の安全の確保 業者による遊具点検においてC判定（木製アスレチック）だったが、修繕工事の実施を確認した。 5 防災の取組 ①引き渡し訓練時に防災グッズを展示するほか、保護者会で防災の大切さを伝えるなど保護者周知に力を入れている。 ②震災時における時差退社計画を策定している。 ③年度当初の訓練前に3～5歳児を対象に図上訓練を実施しているほか、場面や想定を替えた訓練を頻繁に実施している。 6 防犯の取組 園舎西側の門を電子錠にし保護者のみ出入りできるようにした。 7 事故への対応 ①訓練など安全対策の取組みについて、その日のドキュメンテーションで保護者へ周知している。 ②事故対応にトランシーバーを活用し、園全体で対応している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 保護者会で防災に関する周知を行うなど、防災意識が高い。			
		【改善すべき点】			
評価委員記入欄		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らすことがないよう必要な措置を講じている	×2 5	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	5	5	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 5	×2 5	4.71
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 5	×2 5	
	評価委員記入欄	合計点(満点35点)	35.0	33.0	32.97
担当課記入欄	【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 年度の始めに職員のしおり・園内確認事項を職員に配付し、個人情報の取り扱いについて周知している。				
	9 個人情報事故への対応 ファイルサーバー（N A S）を導入。個人情報が入っているU S Bの持ち出しがなくなり、紛失による事故のリスクが大幅に軽減された。				
	10 職員の労働条件の保護 法人本部のある太陽保育園が平成23年度からワーク・ライフ・バランス認定企業となり、令和4年度からは太陽会全体で登録した。				
	11 職員研修 ①年度ごとに職員の研修計画を立てて積極的な研修参加を勧めている。 ②令和5年度は外部研修だけでなく、園内研修も充実させていった。 ③子どもの気持ちに寄り添う食べさせ方や、グループ討議を実施した。 ④園内研修のテーマについても、園長の一存でなく職員が何を学んでいきたいかを聞きながら進めた。 ⑤テーマとした食育について、それぞれの困りごとを出し合いながら、区の栄養士にも意見を聞きながら学びを深めた。				
評価委員記入欄	【改善すべき点・課題等】 11 職員研修 ①園内研修は園長・主任から的一方的な研修にならないように、職員の声を聞きながら実施している。 ②それぞれの困り感を伝えあえる職場を目指している				
	8 個人情報保護の取組 「園内確認事項」という確実に知っていなければいけない項目について年度当初に確認し、個人情報についてもその項目に含め周知を図っている。				
	9 個人情報事故への対応 令和6年度に法人でファイルサーバーを導入し、U S Bメモリを使用しないこととした。				
	11 職員研修 職員育成（研修）計画として職員ごとに自ら望ましい職員像を設定し、それに向けた個人の能力開発、研修計画を設定している。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 ①研修が充実しており人材育成に力を入れている。 ②U S Bメモリの使用を中止するなどのセキュリティ対策に取り組んでいる。				
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	5	4	
	合計点(満点25点)		×2	×2	4.41
			5	5	
	合計点(満点25点)		25.0	22.0	22.05
	【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 ①委託料は適正に管理できるよう毎月会計士に経理状況、会計の状態をチェックしてもらっている。 ②本部繰入は法人本部で一括して給与計算等を行っているため、本部事務員の人事費、事務費に相当する額を繰入れている。				
	【改善すべき点・課題等】 1.2 委託料の健全な運用 これからも適正な財務運営に努めていく。				
	1.3 委託料残額の取扱い 委託料残額使用計画（積立計画）を定めている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる 【改善すべき点】 【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度 (アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14
		1 5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 3	
		1 6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 3	3.57
		1 7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	66.0	50.0	49.98
		1 4 サービスの質の評価 ①園運営に関するアンケートでは、たくさんのご意見をいただいた。 ②保育士が子ども達に寄り添う姿に、皆さん安心して預けて下さっている。 ③改善出来るところはすぐに改善に向けて取り組んでいる。 1 5 保護者・地域への対応に関する評価 ICTでデータでのやりとりが増えていく中で、保護者の方からお手紙は紙でも欲しいというご意見をいただき、早速手紙のポケットを用意し、紙ベースでの配付も行っている。			
	指定管理者記入欄	【改善すべき点・課題等】 1 6 保育内容に関する評価 ①園運営に関するアンケートでは「保育者は園での様子を分かりやすく伝えているか」の項目が70%台だった。 ②年々朝夕保育の児が増えているため、保護者と会えた時にはできるだけ具体的なエピソードを交えて話すようしている。			
	担当課記入欄	1 4 サービスの質の評価 ①直近では令和4年度に第三者評価を受審し、回収率は88%。 ②第三者評価を受審していない年については、利用者アンケートを行っている。 1 5 保護者・地域への対応に関する評価、1 6 保育内容に関する評価、1 7 施設内容に関する評価 安全対策について高い評価を得ている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 第三者評価における利用者アンケートの回収率が高く、引き続きこの水準を維持できるよう取り組んでほしい。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2 5	×2 3.5	×8
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2 5	×2 4	4.13
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4 4	×4 4.5	
	評価委員記入欄	合計点(満点40点)	36.0	33.0	33.04
担当課記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 子どもたち一人ひとりの思いに寄り添う保育を実践している。 19 人権の尊重 ①今まで当たり前に行ってきた保育を見直しながら、人権とは何かということを会議で伝えたり保育の話し合いの中で意見を出し合ってもらしながら進めている。 ②保育の中で気になる言動に関してはそのままにせず、その都度伝えたり相手の意見を聞きながら人権の大切さを伝えている。 ③常勤職員だけでなく保育に携わる、非常勤職員・保育補助員にも人権の大切さを伝えている。 ④令和6年度も足立区のガイドラインを活用し、人権・虐待について各々の保育を客観的に振り返りながら実践してきた。	【改善すべき点・課題等】 19 人権の尊重 ①人権については、職員の中でも意識が高まっている一方で、人権に対する意識を持ちすぎることで、経験の浅い職員を中心に保育者として「叱る」ことに対する恐怖心を持つ職員が出てきた。 ②どんなに経験を重ねても瞬時に主観的な視点と客観的な視点をもつことは難しいことなので、保育者・教育者としての立場を忘れずに、ガイドラインやモニタリングの振り返りの助言を下に人権を意識した保育を実践していく。			
	【特記事項】	18 保育の基本原則 ①乳児クラスについて、年齢にあった感触、見立て遊びの素材が少ない。 ②自然物がすぐに観察できる環境や自ら片付けしやすい環境がある。 19 人権の尊重 ①保育者が子どもの気持ちに寄り添った言葉がけをしている。 ②乳児の子どもを後ろから抱えて席につかせる姿が見られた。			
	【評価すべき点】	【改善すべき点】			
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2	×2	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	5	4.3	
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2	×2	
		合計点(満点30点)	29.0	26.6	26.58
	評価委員記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>2.2 保育環境 ①主体的な遊びや活動が出来るように、玩具（主におままごと）を購入した。 ②乳児クラスは、手作り玩具や手作りのウォールポケットやエプロン・バッグなどを用意した。 ③環境を整えることで、子ども達が主体的に遊び込める場となった。</p> <p>2.3 小学校との交流 ①令和6年度は興本小学校に運動会と学園祭のリハーサルを見学させていただいた。 ②その他にも給食・授業体験、スマイルプロジェクトに参加させていただき、就学への期待が膨らむように取り組んだ。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>2.2 保育環境 環境設定については、日々試行錯誤をしながら取り組んでいる。</p> <p>2.3 小学校との交流 小学校との交流は職員同士の交流研修を実施しているが、幼保小連携会議だけでなく、地域の学校や保育園の管理職、または、教師・保育士が集まる機会を増やしていくと考えています。</p>			
	担当課記入欄	<p>2.1 指導計画の展開 ①指導計画に基づき、子どもが主体性をもって活動できるようになっている。 ②職員会議で、保育内容を見直し改善を図っており、園全体で共有したいことやクラスでの困り事等の共有を定期的に行っている。 ③園長が日誌にコメントを記入し、保育への共感や助言をして保育者のモチベーションアップや保育の質の向上につなげている。</p> <p>2.2 保育環境 ①廊下に体を動かして遊べる環境がある。 ②ハサミなど棚の上においてあるので、より安全な設置場所の工夫が必要。</p> <p>2.3 小学校との連携 ①就学先の小学校へ子どもの育ちを支える資料を送付している。 ②給食体験や授業体験等交流活動を実施している。</p> <p>【特記事項】</p>			
		<p>【評価すべき点】 近隣小学校と良好な関係を築いている。就学に向けた不安感の軽減のため、さらなる取り組みを期待する。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>			

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 5	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 5	×2 4.3	4.43
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 4.5	×2 4	
		合計点(満点30点)	29.0	26.6	26.58
		【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①令和6年度の園内研修のテーマを「食育」とし、食育活動に積極的に取り組んできた。 ②栄養士・給食室にも協力してもらい、食材のクイズや調理工程をビデオで撮影してもらい、子どもたちが給食が出来るまでの様子を観察した。 ③お弁当づくりやお米屋さんによる「お米マイスターの食育出前授業」を実施している。 2.5 食事計画 月1回給食会議を行い、献立について保育士、栄養士、調理担当チーフと検討し、2回目の提供の際に活かしている。 2.6 食事の提供 ①食物アレルギーマニュアルは区立保育園と同じものを活用している。 ②アレルギー児への提供についてはマニュアルを遵守しながら実施し、疑問点については区の栄養士に相談しながら進めている。 【改善すべき点・課題等】			
		2.4 食育計画 調理保育計画を作成し、実践の記録の作成、振り返りをし、食に関する興味関心を育んでいる。 2.5 食事計画 ①毎月給食会議を行い、喫食状況や食育の取り組み状況等を共有し、改善に努めている。 ②果物の切り方等の情報を一覧にまとめ、クラスと栄養士との連携を密にし、誤嚥事故の防止に努めている。 2.6 食事の提供 ①子どもの状況に応じた食事の提供をしている。 ②食べる食材の一部を実際に子どもたちに見せ、食育活動に取り組んでいる。 ③アレルギー児への対応については、マニュアルに沿って提供している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 食育に関して、食材クイズなどの独自の取り組みを通じて、子どもたちが興味を持つような工夫している。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.7 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 5	×2 5	×6
		2.8 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 5	5.00
		2.9 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点30点)	30.0	30.0	30.00
		【アピールポイント】 2.7 子どもの健康管理 ①子どもの体調については、怪我や体調不良に関して細かく伝達している。 ②前日に休んだ児には園長も朝の受け入れの際に体調を確認している。 ③体調不良でお休みが続く際には、アプリで連絡が入っていてもこちらから電話で様子を聞くように心掛けている。 2.8 乳幼児突然死症候群の予防 ①体調が気になるお子さんや既往歴のあるお子さんは職員のすぐ側で午睡をしている。 ②午睡チェックも時間でしっかりと行い、午睡室には複数名職員が常駐するようにしている。 ③救急対応訓練は、乳幼児突然死症候群に限らず、アレルギーの誤食（アナフィラキシー）・頭部打撲（意識消失）を想定して行っている。 ④消防署との合同訓練時などにAEDの訓練も行っている。 2.9 虐待等への対応 ①子どもとの会話や、保護者とのやりとりの中で虐待の兆候や心配な様子が見られる際には、職員間で情報を共有し、子ども支援センターへ連絡を入れるようにしている。 ②家庭支援のケースが多いため、しっかりと記録を取り対応している。			
		【改善すべき点・課題等】 2.7 子どもの健康管理 ①近年、様々な感染症が爆発的に流行するようになった。 ②ご家庭のよってはコロナ以外の感染症に詳しくない方がいらっしゃるため、保健だよりや感染症情報を活用し、各家庭にそれぞれの特徴を伝え注意を促している。 ③今後も感染症が流行しないように、手洗いの大切さを保育の中で伝えていく。			
		2.8 乳幼児突然死症候群の予防 午睡中のカーテンの使用はせず、子どもの状態を確認しやすい環境を整えている。 2.9 虐待等への対応 被虐待児と思われる児童の記録を作成し、関係機関につなげ支援している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 子どもたちが安心して過ごせる環境が保たれている。引き続き、子どもを中心とした取り組みを続けてほしい。 【改善すべき点】			
	評価委員記入欄	【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（興本保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

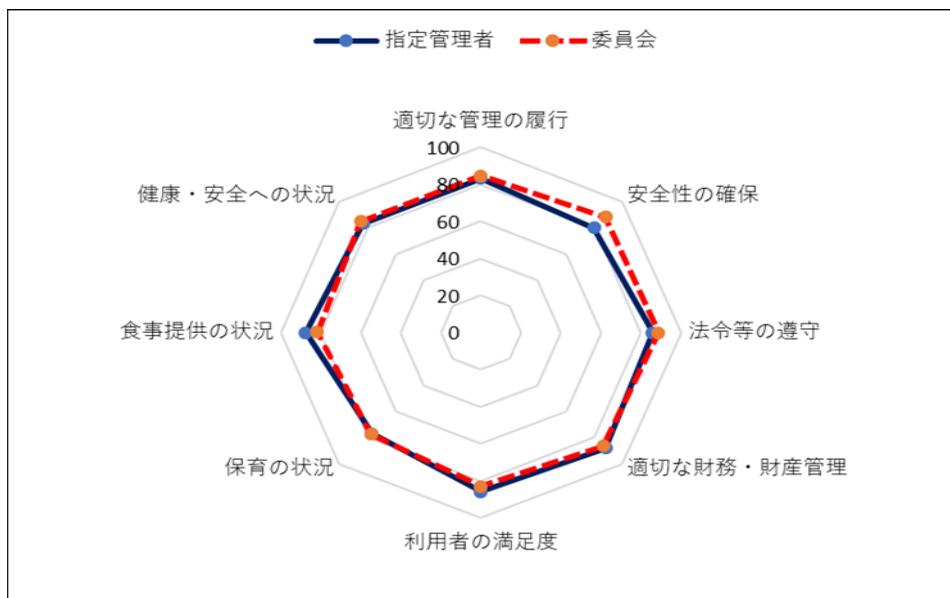
大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 5	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 5	4.71
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 5	×3 5	
評価委員記入欄	担当課記入欄	合計点(満点35点)	35.0	33.0	32.97
		【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①用務職員を中心に園内清掃を実施。 ②清掃・消毒について用務職員が細かく把握しており、気づいたことは園長・主任に報告し職員に共有するようしている。 ③嘔吐の処理はマニュアルに沿って実施している。 3.2 安全確保 ①地震の際、落下物や転倒物から身を守れるよう、各保育室の床に子どもが集まるための印を設置している。 ②園児にも定着し、何かあるとすぐに集まるようになっている。 ③地震訓練の際には「ダンゴムシのポーズ」で頭を守る姿勢を毎回実施している。 ④園外活動マニュアルを作成、配付し、園児の安全確保として、散歩に出かける際は「園外保育届・連絡票」を記入し事務所に提出する（行き先、ルート、園児人数、引率する職員名、出発時間と帰園予定時刻を記入）。 ⑤園長は出発時と帰園時に園児の人数を数えて担任と確認している。 ⑥散歩途中での人数確認では、常勤保育士だけでなく、非常勤保育士や保育補助員も同じように人数を数えて、複数人で声を出して人数把握を行っている。 ⑦事故防止の観点からヒヤリハット様式を使って職員で共有している。			
		【改善すべき点・課題等】 3.2 安全確保 ①安全対策に関してはヒヤリハット記録を書くだけでなく、その場ですぐにトランシーバーで伝達をしたり朝ミーティングでも報告し、情報にタイムラグが生じないように心掛けている。 ②今後はトランシーバーの台数を増やしていき、職員全員が一度に連絡を取り合えるようにする。			
		3.0 保育室衛生管理 子どものプライバシー保護のため、乳児トイレの入り口付近の便器に衝立があると良い。 3.2 安全確保 ①事故報告やヒヤリハット報告は、主任・園長がコメントを記入し、ミーティングや職員会議で共有している。 ②パート職員は報告書を読んだ後、サインをしてもらい確認をしている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 良好な衛生環境が保たれている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

さつき保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人江北会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
- ②適切な財務運営・財産管理が行われている。
- ③保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	292	A

ランクダウング
有

総合評価
A

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

- ①施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。
- ②食物アレルギー児の食事の際は、マニュアル記載内容の実施を徹底すること。
- ③誤飲の危険性のある遊具の使用を見直すこと。

（評価委員会評価基準）

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上 315点未満	291点以上 291点未満	263点以上 263点未満	224点以上 224点未満	207点以上 207点未満	189点以上 189点未満	189点未満
得点率	90%以上		83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者	区担当課		
得点	評価	得点	評価
290.8	A-	291.8	A

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	4	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4.5	4.3	4.23
		合計点（満点20点）	16.6	16.9	16.92
	担当課記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 基本協定書に基づき実施している。 2 施設の清掃等 ①年2回大掃除を実施し、大掃除表に基づき壁面や照明器具、天井等の掃除を丁寧に行っている。 ②園内外の倉庫（4カ所）の掃除や整理整頓を行っている。 ③排水溝はプール遊びの前に職員が側溝の掃除を行い、マス清掃を専門業者に依頼している。 3 備品等の保守点検 ①樹木剪定は専門業者に委託して年5回実施している。 ②蔓や枝が歩道を通る人の邪魔にならないよう、職員も樹木の手入れをしている。 ③布団乾燥は2か月に1回実施し、午睡用以外の布団（保健室用等）や布製の玩具も乾燥・消毒をしている。 ④園児布団は0歳専用布団を除き新入園児分を毎年購入し、布団に名前を付けてマイ布団として幼児クラスまで使用している。			
		【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 規定回数以上の実施を確認。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 規定回数以上の清掃を実施するなど、適切な施設管理に努めている。 【改善すべき点】 施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	4	4.7	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4	4.40
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点(満点35点)	28.0	30.8	30.80
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①固定遊具は専門業者による安全点検を実施している。 ②毎日、園庭や園の周囲・砂場・園内など見回りをし、異常があった時は事務所が報告を受け確認している。 ③安全計画に基づき定期的に安全点検を実施している。 ④年に1回西新井消防署に依頼し、AEDを使用した応急救護訓練を受講しているが、令和6年度はより多くの職員が学ぶことができるよう午睡の時間帯に行った。 ⑤看護師が令和6年度に上級救命講習を受講した。 5 防災の取組 ①避難訓練計画に基づき火災や地震の訓練を実施した。 ②訓練記録や会議で各クラスの避難状況や次に向けた課題等を確認・共有している。 ③訓練を通して防災に対する職員の意識を高めている。 ④会議で事業継続計画（BCP）の目的や緊急時の行動の基本を確認するとともに、足立区の洪水ハザードマップで荒川の氾濫のリスクを情報共有している。 6 防犯の取組 ①防犯対策として西新井警察署による不審者対応訓練を実施した。 ②訓練の学びを共有し、日々の気づきにつなげている。 ③幼児は足立区子どもの安全安心プロジェクトによる防犯劇を見て、自分の身を守る意識につなげられるいい機会となった。 ④鍵管理マニュアルに基づき鍵の取り扱いを行っており、鍵の持ち出しや戻す際は記録をつけると共に事務所に声を掛けることとしている。 7 事故への対応 ①安全計画・事故防止及び事故発生時対応マニュアルを会議で職員に周知し、事故の予防や対応の確認をしている。 ②区の30分ルールは会議で職員に周知し、事務所の目につきやすい場所に医療機関一覧と共に掲示し緊急事態に迷わず連絡できるようにしている。 ③幼児クラスが中心となり、幼児緊急訓練を実施している。令和6年度は園庭での事故（正面衝突）、プール遊び中の事故、給食時の誤嚥を想定して対応訓練を行った。 ④訓練後は会議で振り返りを行い、緊急時に備えている。 【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	5 防災の取組 ①保育園のある棟の棟長に相談し、水害の恐れがあるときには予告なく上階に上がるようにしており、その訓練も実施している。 ②ソーラー充電器、蓄電池を準備し、停電に対する備えを行っている。 7 事故への対応 幼児緊急訓練として園庭での事故（正面衝突）、プール遊び中の事故、給食時の誤嚥を想定して対応訓練を行い、職員会議で反省を共有した。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 園が荒川に近いという地理的条件を踏まえた水害訓練を実施している。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	×2 4	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	4	4	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 4	×2 4.5	4.43
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点 35 点)	30.0	31.0	31.01
		【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組 ①守秘義務や個人情報の保護について、年度初めの会議で園長から説明があり、職員に周知している。 ②個人情報の保護の方針は重要事項説明書に明記し、新入園児説明会で園長から説明をしている。 9 個人情報事故への対応 ①個人情報の漏洩に繋がる事故は発生していない。 ②定期的に個人情報取り扱いに関する研修を行い職員に周知徹底し、引き続き事故防止に努めていきたい。 10 職員の労働条件の保護 ①保育士 2 名が産休に入る事が見込まれる為、夕方パート 1 名の採用と非常勤保育士の勤務時間の延長を予定している。 ②結婚、出産後も勤務しやすい体制を整え、急なお迎え要請があった時も協力する体制ができている。 ③子育て中の職員が多く、職員のリフレッシュの為にも夏季休暇を継続していく。 11 職員研修 ①本人の希望を聞き、園として伸びてほしいところも考慮し職員ごとに研修計画を立てている。 ②研修受講後は研修報告を提出させ、会議で報告をしたり、回覧することで新しい知識を得たり、共有したりと皆の学びとなっている。 ③園内研修として足立区教育・保育の質ガイドラインを使用して学びを続けていている。 ④振り返りシートを使用して自己の振り返りやクラス間で振り返りをして、日々の保育に活きるようにしている。 ⑤園庭環境リーダーと園内環境リーダーが中心となり園内環境を見直す園内研修を行った。 ⑥キャリアアップ研修は 4 人受講。			
		【改善すべき点・課題等】 基準保育士等は満たしているが職員の負担を減らすため期間限定のアルバイトを募集している。			
		8 個人情報保護の取組 職員会議で園長から職員全員に個人情報についての説明を実施しているほか、職員保育マニュアルや教育保育のガイドラインに基づき人権や個人情報保護についての研修を定期的に実施している。 10 職員の労働条件の保護 令和 6 年度より夏季休暇の付与日数を増やしている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①園内研修を多く計画し、人材育成に積極的に取り組んでいる。 ②職員の勤続年数も長く、安定した職場環境が形成されていることがうかがえる。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	4	4.5	
		合計点(満点25点)	×2	×2	4.31
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 <u>1.2 委託料の健全な運用</u> 昨年度の残額については職員の人事費積み立てとしたが、今年度よりは園庭固定遊具の修繕計画を立て同時に進めしていく。	5	4	
	指定管理者記入欄	【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	1.3 委託料残額の取扱い 委託料残額の取扱いについてルールを定め、令和6年度は職員の処遇を落とさないよう人事費の確保に努めるため、人事費の積立を行った。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
		利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 4	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	4.14
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	60.0	58.0	57.96
事業効果 利用者の満足度（アンケート調査等による）	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>1.4 サービスの質の評価</p> <p>①令和6年度は福祉サービス第三者評価を受けた（利用者の回収率は60.2%）。</p> <p>②第三者評価の結果は保護者に配付した。</p> <p>③保護者からの以下の意見、要望を受け、改善に向けた取り組みを実施に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事について 運動会を0才から実施した。 ・アプリの使用について 令和7年度より休み等の連絡、毎日のクラスの活動や連絡事項をアプリで配信開始する。 <p>1.5 保護者・地域への対応に関する評価</p> <p>意見、要望、苦情、不満を解決する仕組みについては保護者に知って頂けるよう、引き続き説明会や懇談会で、重要事項説明書を用いてわかりやすく話していく。</p> <p>1.6 保育内容に関する評価</p> <p>保育時間の変更等については春の懇談会や新入園児説明会で知らせているが、引き続き保護者にわかりやすく伝えていく。</p>			
		<p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>1.4 サービスの質の評価</p> <p>第三者評価の回収率をあげて、より多くの保護者の意見に寄り添いたい。</p>			
担当課記入欄		<p>1.4 サービスの質の評価</p> <p>第三者評価を受審し、利用者回収率は60.2%。</p> <p>1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価</p> <p>食事や保育時間の変更、安全対策、清掃・整理整頓等は高い評価を得ている。</p> <p>【特記事項】</p>			
		<p>【評価すべき点】</p> <p>保護者から良好な評価を得ており、園の取り組みが高く評価されている。今後も引き続き、保育の質の向上に努めてほしい。</p> <p>【改善すべき点】</p>			
評価委員記入欄		<p>【その他注意点】</p> <p>第三者評価の回収率を上げる取り組みを行うこと。</p>			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		4	4		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
	3	3	3.54		
	評価委員記入欄	20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		4	3.5		
	合計点(満点40点)		30.0	28.0	28.32
	担当課記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 ①令和6年度のモニタリングで指摘があった保育の内容に関しては、園長や主任が各クラスの保育を見て回り、保育者の声の大きさなど子どもに対する人権配慮に関して、保育士に具体的にアドバイスをしたり会議で振り返りをした。 ②子どもが主体的に遊べるように保育室や廊下・ホール・園庭などの環境を見直した。 ③足立区教育・保育の質ガイドラインを活用したり、研修で得たことを活かし、子どもたちが自ら遊びだしたくなる環境づくりを工夫している。 ④助言を活かし廊下に置いてあるものを整理し、安全の確保に配慮している。 19 人権の尊重 ①足立区教育保育の質ガイドラインを使い、人権に関して理解を深めている。 ②②チェックリストを使用し保育の振り返りをしている。 20 全体的な計画・指導計画の作成 毎週金曜日に各クラスの担任が集まり週カリ会議を実施し、次週の活動を伝え合い、ホールや園庭等の活動を互いに保障し合っている。	【改善すべき点・課題等】		
		【特記事項】	【評価すべき点】		
		【その他注意点】 過去のモニタリングによる指摘事項を改善するなどの取り組みは評価できるが、さらなる保育の質の向上に向けて、着実に取り組みを進めてほしい。	【改善すべき点】		

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	4	×2 ×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	3	4	×2 4.33
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	5	5	×2
		合計点(満点30点)	24.0	26.0	25.98
評価委員記入欄	担当課記入欄	【アピールポイント】			
		2.1 指導計画の展開 期ごとに各クラスが年間指導計画に基づき評価・反省し、冊子にまとめ、職員会議で振り返りをしている。			
		2.2 保育環境 ①保育室は常に整理整頓している。 ②手洗い場・机・いす等は子どもの体に合った大きさや高さに合わせている。 ③季節や天候に合わせて、温度・湿度の調節をしているほか、換気も行っている。 ④幼児クラスはロッカーの使い方や生活の流れの動線が同じにしている。			
		2.3 小学校との連携 ①5歳児は音楽会や学校探検（図書室や1年生の授業見学）、給食体験、1年生と生活科交流ができ、入学への期待が膨らんだ。 ②生活科交流では1年生が園児に向けて学校生活のクイズや授業の体験をさせてくれて、学校生活を知るいい時間となつた。 ③就学先の小学校へ保育要録を届けた際、必要に応じ園児の発達状況や姿、園での対応等を伝えている。 ④5歳児クラスのクラスだよりに就学に向けてひと言アドバイスを載せた。 ⑤昨年に引き続き、近隣園と園庭で交流を行つた。			
		【改善すべき点・課題等】			
評価委員記入欄	担当課記入欄	2.1 指導計画の展開 指導計画に基づき保育が行われており、主体性をもって活動できるようになっている。			
		2.3 小学校との連携 5歳児クラスだよりに「就活」コーナーを設け、就学に向けての記事を載せ、保護者の不安軽減に取り組んでいる。			
		【特記事項】			
		【評価すべき点】			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2	×2	×6
		4.5	5		
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2	×2	
		4.6	4	4.08	
	担当課記入欄	2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2	×2	
		4	3.3		
	合計点(満点30点)		26.2	24.6	24.48
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①毎月ごはんだより（給食だより）を発行し、人気の献立や旬の食材を使ったレシピを紹介している。 ②子どもたちが食に興味や関心を持てるような取り組みをしている。（旬の食材表やクイズ、5歳児リクエストメニュー等）。 ③年齢に応じて楽しい食育体験ができるように工夫している（トウモロコシの皮むき・豆のさやむき等、年齢に応じた料理保育）。 ④園庭に畑を作り野菜を育てており（種まき・水まき・観察・収穫の経験をする）、秋の焼き芋会は園庭で育てたさつまいもを使用している。 2.5 食事計画 月1回献立会議を行い、会議で出た意見により、食材の大きさや調理方法を見直している。 2.6 食事の提供 ①食物アレルギー対応マニュアルを見直し、新しいマニュアルに沿って除去・代替食の提供が間違いなくできるよう対応の流れを会議で確認した。 ②どのクラスでもどの職員でもマニュアルに沿った対応をしている。 ③年度初めの会議で食物アレルギー児や疾病による要配慮児を確認し、誤食時の対応や薬の保管場所等を情報共有している。 ④食具やいすの高さ等一人ひとりに合わせて、給食とクラスが連携して細やかに配慮している。 ⑤離乳食の試食を0歳の保護者に向けて行っている（新入園児説明会）。			
		【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	2.4 食育計画 ①毎月給食だよりを発行し、旬の野菜を使ったレシピの紹介をしている。 ②「さつき農園」を作り、育てたサツマイモで焼き芋会をしたり、料理保育をしたりし、食への興味関心が広がるよう取り組んでいる。 2.6 食事の提供 ①入園前、0歳児保護者向けに離乳食の試食会を行っている。 ②足台を用意し配慮しているが、高さが合っていないため、高さの調節が必要。 ③2グループ目について、配膳後30分ほど経過してからの喫食となつておらず、異物混入の恐れがある。 ④アレルギー児の対応について、「食物アレルギー対応マニュアル」通りに対応できていない。 【特記事項】			
		【評価すべき点】			
	評価委員記入欄	【改善すべき点】 アレルギー対応を誤ると重大な事故につながるおそれがあるため、マニュアルの周知・徹底を図ること。			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 4	×2 5	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 5	5.00
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 4	×2 5	
		合計点(満点30点)	26.0	30.0	30.00
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①看護師と保育士が連携を取り、日々の園児の健康状態を把握し一人ひとりの健康管理に努めている（毎日、看護師が各クラスを回って健康状態を把握している）。 ②保健計画を作成し、子どもたちの年齢に応じてわかりやすく保健指導を行っている。 ③健康診断（年2回）・0歳児健診・歯科健診の受診結果は保護者に知らせ、園と家庭で共有している。 ④日々の健康状態は連絡帳で確認したり、送迎時に保護者から丁寧に聞き取っている。 ⑤日中の様子やケガ等も丁寧に伝えている。 ⑥朝礼や会議で子どものけがや病気、体調等を職員間で情報共有している。 ⑦体調不良が見られたときは、担任が状態（熱、嘔吐、下痢、咳等）を事務所や看護師に伝え、保護者にお迎え依頼あるいは今の様子を伝える連絡をする（視診の状況や日中の様子や食事の様子等も考慮）。 ⑧体調不良の園児は状態によって水分を取らせたり、保健室で横になる等個別対応をし、お迎えの際は状況を丁寧に伝える。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①年度当初の会議で保健マニュアル等を使用し、SIDSやその予防について学んでいる。 ②午睡チェックは0歳児は5分、1・2歳児は10分おきに一人ひとり体を触って呼吸等の確認をし記録をとっている。 ③年に1回応急救護訓練を実施し、心肺蘇生法やAEDの使い方を学び、緊急時の適切な対応に備えている。 ④SIDS訓練を実施し、看護師や0歳担任を中心に他クラスや給食室の職員も参加し、様々な状況を想定している（年11回）。 29 虐待等への対応 ①児童虐待予防・養育支援マニュアルを使用して学び、虐待の早期発見に努めている。 ②保育実践振り返りシートを使用し対応の確認をしている。 ③児童相談所から報告や連絡があった場合は記録に残している。			
		【改善すべき点・課題等】			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 SIDS予防として、0歳児急変対応訓練を実施している。 29 虐待等への対応 虐待が疑われる場合、経過記録を記載、関係機関と連携を取り対応している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 全体的に、適切な対応ができている。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			
評価委員記入欄					

令和7年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

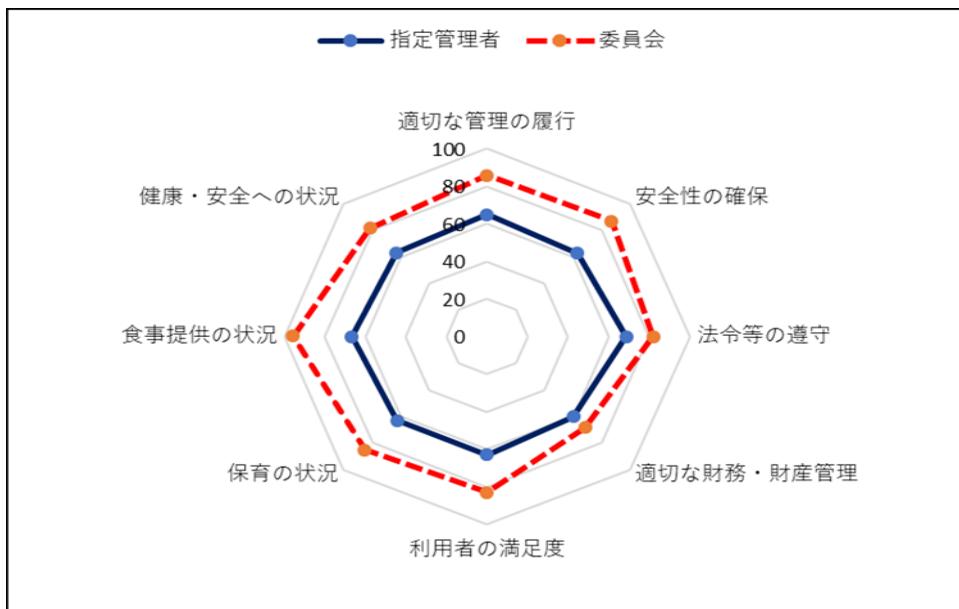
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 4	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 4	×2 4	3.57
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 3	
		合計点(満点35点)	28.0	25.0	24.99
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①毎日、保育室やトイレ等設備を手順表に従い掃除を行い、衛生管理に努めている。 ②玩具等は年齢に応じた方法で消毒を行い、常に清潔に安全に遊べるようにしている。 ③掃除や消毒終了後は清掃チェック表に時間と担当者を記入している。 ④感染症の予防対策として手指衛生（手指消毒、手洗い）を丁寧に行っている。 ⑤手洗いは液体石けんを使用しペーパータオルでふき取っている。 ⑥それぞれのタイミングで丁寧に行えるよう年齢に応じて援助や声掛けをしている。 ⑦4月の会議で保健マニュアルを使い、看護師から職員の衛生管理や感染症の対応等について学んでいる。 ⑧嘔吐処理についてはシミュレーション訓練も行い、職員が誰でも正確に嘔吐処理ができるようにしている（嘔吐セットは各クラス同じ場所に置いている）。 ⑨便のおむつ交換は決まった場所で専用のエプロンをつけて行っている（ビニール手袋・マスク使用）。 ⑩おむつ交換で使用したマットは使用後消毒を行い、マットの上に敷くおむつ交換シートはその都度取り替えているほか、おむつ交換のたびに石けんで手洗いをしている。 3.1 調理衛生管理 保健所による食品衛生講習を受講している。 3.2 安全確保 ①朝礼や会議でヒヤリハットや事故簿・散歩記録簿などの情報を共有し、事故防止に努めている。 ②保護者に対し、懇談会や新入園児説明会で重要事項説明書をもとに避難場所や避難訓練について説明をしたり、掲示等で訓練の様子を周知している。			
		【改善すべき点・課題等】			
		3.2 安全確保 ①事故報告やヒヤリハット報告を行い、記録を回覧して共有している。 ②保護者に対し、写真を使った掲示物を作成し、訓練の様子や安全確保の内容について周知している。 ③乳児クラスにおいて、磁石についている玩具やシリコン製の指人形の玩具が使用されており、誤飲に注意する必要がある。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】			
		【改善すべき点】 誤飲の危険性のある遊具の使用を見直すこと。			
		【その他注意点】			

青井おひさま保育園 評価シート

【 指定管理者 】 ライクキッズ株式会社

【 評価対象年度 】 令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①全体的に良く取り組まれている。
②時間外労働時間を縮減するなど、職場環境の改善が図られている。
③適切な財務運営・財産管理が行われている。
④保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員		ランクダウ ン 有 無	総合評価
	得点	評価		
	292	A		

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

磁石付き遊具の誤飲事故は、重大な結果を招く可能性があるため、対策を講じること。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
223.0	B	292.7	A

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
適切な管理の履行 状況	指定管理者記入欄	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	3	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	4.4	
		合計点（満点20点）	13.0	17.1	17.12
評価委員記入欄	【アピールポイント】 2 施設の清掃等 ①蚊の対策として除草作業も職員だけでは手が回らない部分があったので、年に1回以上業者に入ってもらつた。 ②アリが室内に大量発生し、駆除で専門業者にて対応してもらった。 3 備品等の保守点検 園庭整備のために本社より造園会社を手配してもらい、園舎裏はご近所トラブルにも発展するので黒いシートを敷いてもらつた。				
	【改善すべき点・課題等】 2 施設の清掃等 年々蜂の増加が気になっており、巣はないものの足長蜂が園庭内にて見られることがあるので、危険のないように対応が必要である。 3 備品等の保守点検 給食室内の器具の劣化があるので交換を考えていきたい。				
	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 各項目規定回数以上の実施を確認。 【特記事項】				
評価委員記入欄	【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。				
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】 蚊や蜂など害虫への対応に苦労されているが、子どもの安全を第一に取り組んでほしい。				

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	3	4.7	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4.5	4.34
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	22.0	30.4	30.38
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①専門業者に入ってもらい、設備面は今後見直しの可能性のある箇所は事前に対応している。 ②AED講習については、セコム主導で園に指導に来てもらっている。 5 防災の取組、6 防犯の取組 ①園内職員の訓練だけでなく、防災・防犯に関しては消防署員や警察官に来ていただいて訓練を実施している。 ②保護者の方にも防災を意識してもらえるように、引き渡し訓練を行っている。			
		【改善すべき点・課題等】 7 事故への対応 病院受診のアクシデントがあったため、継続治療はないものの安全の意識を高めていきたい。			
担当課記入欄	評価委員記入欄	4 施設・設備の安全の確保 ①園庭固定遊具について、園舎管理簿にて毎日点検を実施している。 ②応急救命資格について常勤職員全員が取得するようにしている。 5 防災の取組 自主検査チェック表で火気関係のチェックを毎日実施している。 6 防犯の取組 園内だけでなく、散歩先で不審者に遭遇した想定での訓練を0～2歳の各クラスで実施した。 【特記事項】			
		【評価すべき点】			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】 事故発生時の区や保護者への報告など手続きは理解しているようだが、急な病院受診などのあらゆる事態に、すべての職員がしっかりと対応できる体制を整えてほしい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	×2 3	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	2	3	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 4	×2 4	4.10
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 4	×2 5	
		合計点(満点35点)	24.0	29.0	28.70
		【アピールポイント】 10 職員の労働条件の保護 職員の時間外労働を少なくするため、保育の見直しを行った結果、時間外労働時間が月に10時間を超えるに働けている。 11 職員研修 ①作業の効率化をし、研修の受講時間の確保も十分にできるようにしている。 ②新たな取組として外部の講師を招いての研修にも取り組んだ。			
		【改善すべき点・課題等】 9 個人情報事故への対応 サイバー攻撃を受けたため、再発防止に向け改善を図る（新しいネットワーク環境の構築、多要素認証の導入、EDRの導入、バックアップデータの保存先をより強固なものに見直す、サーバの接続口（ファイアウォール）のログ保存期間を1ヵ月以上に設定）。			
		8 個人情報保護の取組 職員全員に対し本部よりコンプライアンス研修を実施した上で、理解度をテストで確認している。 9 個人情報事故への対応 本部に対するサイバー攻撃による事故あり（本部のサーバーに対する攻撃であるため、園単体では対応不可）。 10 職員の労働条件の保護 令和5年度は常勤職員の月の時間外労働時間が平均10時間を超えていたが、令和6年度は10時間以下に改善されていることを確認した。 11 職員研修 個人別の研修計画は策定されている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①本部がサイバー攻撃を受けたことは残念だが、その後は多要素認証を取り入れるなどのセキュリティ強化を迅速に実施した。 ②時間外労働時間を縮減するなど、職場環境が改善されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3 3	×3 3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2 3	×2 4	3.42
		合計点(満点25点)	15.0	17.0	17.10
		【アピールポイント】 <u>1.2 委託料の健全な運用</u> プライム企業上場のライク株式会社として、監査法人による外部監査及び内部監査により、企業内の統制が図られている。			
		【改善すべき点・課題等】 <u>1.2 委託料の健全な運用</u> ①予算執行状況の管理について課題がある。特に、社会福祉法人会計基準と照らし合わせた際に、法人本部経費の考え方について足立区と十分な整理と認識の合意が必要なため、継続的に協議をしていく。 ②令和6年度の予算に対して事業費の乖離が大きかったため、令和7年度は消耗品費の使用に関して精査を行う。			
		<u>1.2 委託料の健全な運用</u> ①当初の見込みより人件費がかからなかったこともあり収支は大きく黒字となった。 ②サイバー攻撃への対応などにより、本部経費が当初の予定より多くかかった。 <u>1.3 委託料残額の取扱い</u> 令和5年度及び6年度の残額について、職員人件費及び施設修繕費（床暖房設置、園庭整備等）に充てる取締役決議を行った 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		4	4		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
	担当課記入欄	3	5	4.25	
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		3	4		
	合計点(満点40点)		26.0	34.0	34.00
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 ①乳児園なので、穏やかに丁寧に保育できている。 ②食事介助は職員の工夫で少人数での対応をしている。 ③一斉活動よりも自由に選んで遊べる環境設定を心掛けている。 ④CDに頼らずピアノの導入をして、子ども達の様子を見ながら進めていけるようにしている。 19 人権の尊重 人権では振り返りシートで確認し、意識を高めている。			
		【改善すべき点・課題等】 18 保育の基本原則 環境設定において話し合った結果がすぐに反映されないことがあるので、時間の確保等を考える必要がある。			
	評価委員記入欄	18 保育の基本原則 子どもの興味発達に応じた遊具を用意していくとよい。 20 全体的な計画・指導計画の作成 ①クラス会議を月1回行い、環境設定などの振り返りを行いより良い環境作りにつとめている。 ②週案会議を毎週行い、保育を振り返り、共有をしている。 【特記事項】 19 人権の尊重 ①肯定的な声掛けをしている。 ②毎年、会社主催の人権研修を全員受講している。			
		【評価すべき点】 保育の振り返りを頻繁に実施し、保育の質向上に努めている。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	3	4	×2 ×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	3	4	×2 4.27
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	3	4.8	×2
		合計点(満点30点)	18.0	25.6	25.62
担当課記入欄	【アピールポイント】	2.1 指導計画の展開 リスクマネジメントを毎週末、月1の園内研修、クラス会議や毎日の昼礼で定期的に保育の見直し時間を確保している。 2.3 小学校との連携 小学校との連携はないが、転園の際には発達経過記録を転園先に提出している。			
		【改善すべき点・課題等】 2.1 指導計画の展開 振り返り等を記録として、より残しておけるようにしたい。			
		2.1 指導計画の展開 ①子どもたちは、したい遊びを見つけて遊んでいる。 ②職員会議で、保育内容を見直し改善を図っている。 2.2 保育環境 ①室内は整理整頓されている。 ②乳児トイレの冷房温度設定が低く、トイレから保育室内に冷気が入っていたため温度調整が必要。 2.3 小学校との連携 0～2歳の園であり小学校との交流活動がないため、他園の平均値を評価点とする。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 4	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 3	×2 4.3	×2 4.77
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 3	×2 5	
		合計点(満点30点)	20.0	28.6	28.62
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 食育は給食室と連携を取って年齢に合わせて楽しくできている。 2.5 食事計画 給食会議もあり、喫食状況についても十分な話し合いができる。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】 2.6 食事の提供 食事の提供時間、職員配置などからアレルギー児は個食になってしまうため、感じさせない環境設定を見直す。			
	評価委員記入欄	2.4 食育計画 育児支援の項目があり、食に関する保護者支援を細やかに配慮されている。 【特記事項】 2.6 食事の提供 ①誕生日給食や、楽しく食べられるよう盛り付けの工夫をしている。 ②子どもがクッキングをしたレシピを保護者に発信し、家庭での食育につなげている。 ③アレルギー児への対応について、マニュアルに沿って食事が提供されていた。			
		【評価すべき点】 毎月給食会議を開催し、子どもの喫食状況や提供方法に誤りがないか都度確認をしている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 4	×2 5	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 3	×2 5	4.67
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 3	×2 4	
		合計点(満点30点)	20.0	28.0	28.02
		【アピールポイント】 <u>27 子どもの健康管理</u> 誰でも個々の健康状態がわかるように、個別の健康管理表を担任が記入して個人ファイルに入れており、職員は見られるようになっている。 <u>28 乳幼児突然死症候群の予防</u> 睡眠チェックは1人が常に専属で配置し、何かあった場合の対応もできるように部屋に1人にならないようにしている。			
		【改善すべき点・課題等】 <u>29 虐待等への対応</u> ①家庭環境等も踏まえて、より細かな記録を取っていき、虐待等の兆候を見逃さないようにしていく。 ②必要に応じて専門機関と連携が取れるように職員全員が把握していく			
		27 子どもの健康管理 ①毎月保健だよりを発行している。 ②児童健康管理表を作成し、子どもの健康状態について全員で共有している。 29 虐待等への対応 要支援家庭の対応記録を作成し、区や関係機関につなげている。 【特記事項】 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①看護師が職員向けに午睡チェックの仕方のポイントの研修を行っている。 ②午睡チェックは2名体制で行い、職務に集中できるよう、30分交代としている。			
		【評価すべき点】 乳幼児突然死症候群を防ぐための体制が整っている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（青井おひさま保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

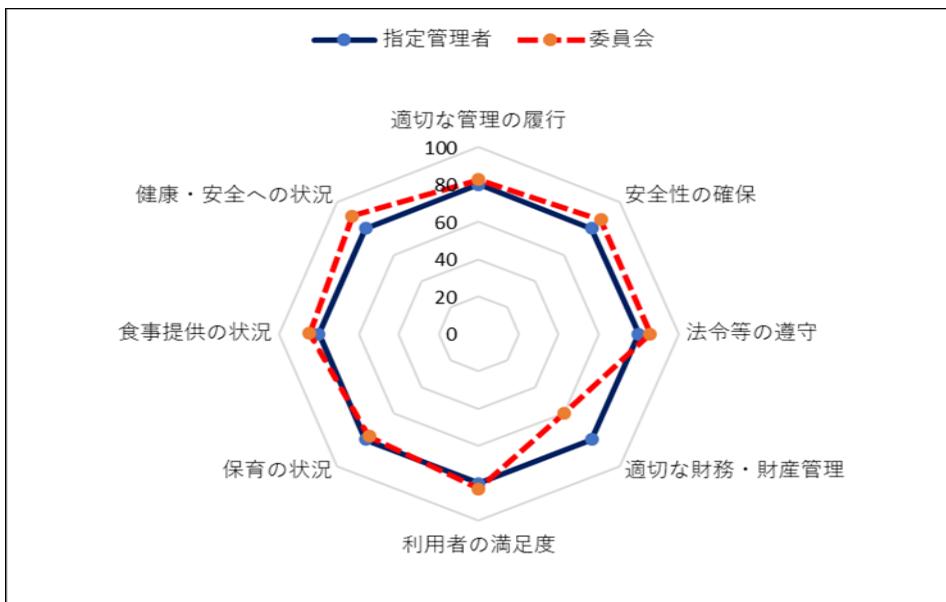
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 3	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 3	×2 4	3.57
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 3	×3 3	
	合計点(満点35点)		21.0	25.0	24.99
担当課記入欄	【アピールポイント】 <u>3.0 保育室衛生管理</u> ①看護師主導で衛生管理を行っている。 ②月1で保健指導を職員向けに行い、その時に必要な学びと共有の時間もある。 <u>3.2 安全確保</u> 保護者に対して、対応訓練等は実施を写真と共に内容を掲示して知らせている。				
	【改善すべき点・課題等】 <u>3.1 調理衛生管理</u> 給食室向けの研修受講をより増やして、学びの機会を作っていくたい。				
	<u>3.0 保育室衛生管理</u> ①保育室、トイレは清潔である。 ②保育室衛生消毒チェック表を作成し、チェックしている。 <u>3.2 安全確保</u> ①事故防止確認表を使い、毎週1回確認している。 ②写真等で避難訓練等の様子を掲示し、保護者に周知している。 ③1歳児クラスにおいて、磁石が付いている遊具があったため、誤飲に注意が必要。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】 磁石付き遊具の誤飲事故は、重大な結果を招く可能性があるため、誤飲防止対策を徹底するか、または遊具を撤去するか、いずれかの措置を検討すること。				

東保木間保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人高砂福祉会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①概ね良く取り組まれている。
②時間外労働時間を縮減するなど、職場環境の改善が図られている。
③保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	287	A-

ランクダウン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A-

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

- ①施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。
②園庭固定遊具の評価がC判定の項目について、今後の対応計画を示すこと。
③委託料の範囲内での運営に努めること。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
280.0	A-	287.9	A-

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な管理の履行	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	4	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4	4.6	
		合計点(満点20点)	16.0	16.6	16.52
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 基本協定の施設管理基準に基づき規定通り行っている。 2 施設の清掃等 ①始業時に園庭安全チェック、終了時には戸締りチェックを毎日行い安心安全な保育環境を作ることを意識して行っている。 ②排水溝清掃は年に2回以上行い害虫などの発生に注意している。 ③ゴキブリ駆除は業者委託により年5回の駆除を行い衛生管理に務めた。 ④エアコンを使用時は毎月1回フィルターの清掃、換気扇の清掃を行っている。 ⑤グリストラップ清掃は業者委託を行って管理している。 3 備品等の保守点検 ①布団乾燥年3回、カーテンクリーニング年2回等規定以上の業務委託を行い衛生管理に努めた。 ②設備の不具合が発生した場合は速やかに修繕を行っている。 ③樹木の選定は業者委託し害虫の発生がないか確認も同時に行った。 ④園外に出た草花は職員が通行の妨げにならないように伐採をし注意した。			
		【改善すべき点・課題等】 マニュアルの理解を深めるために定期的に読み合わせを行っていく。			
	担当課記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①各項目規定回数以上の実施を確認。 ②調理器具清掃点検において、回転釜、ガステーブル、ガスコンロに不具合があったが、継続使用OKとのことで修繕等対応について確認できず。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。 【改善すべき点】 施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。 【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	4	4.3	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4.3	4.32
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	28.0	30.3	30.24
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①固定遊具については業者による年1回の点検と、職員による毎日の遊具点検を行い安全な保育を行っている。 ②職員全員へ看護師によるAED研修を行った。 5 防災の取組 ①毎月の避難訓練では、時間帯や出火場所の設定を多様化し様々な場面で対応できるようにしている。 ②毎月の避難訓練では、散歩中の地震、散歩中の不審者遭遇を想定しての訓練を行い園内でそのフローチャートを周知した。 6 防犯の取組 ①外部からの不法侵入を防ぐために、来園者には、氏名の確認を徹底し安全対策に努めている。 ②毎日園内外を毎日巡回し園日誌に記録している。 ③職員には、竹の塚警察防犯課の指導を受け防犯意識を高めた。 ④散歩中に不審者に遭遇した時を想定した訓練も行い職員の危機管理意識を高めた。 7 事故への対応 ①「安全計画」について職員会議で周知し回覧し計画に沿った安全対策点検を行っている。 ②緊急時対応マニュアルの読み合わせ、フローチャートの作成を行い職員周知を行っている。 ③病院受診の際は、足立区30分ルールが周知されている。 【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	4 施設・設備の安全の確保 ①園庭固定遊具安全点検について、前年度から引き続き滑り台の評価はC判定であるが、滑面と上部の隙間を埋める対応を行い、随時点検を実施することで使用を継続している。 ②園庭遊具点検表にて職員により毎日点検を実施している。 5 防災の取組 ①竜巻対策の避難訓練など工夫を凝らした防災訓練を実施している。 ②構造設備の安全及び衛生点検表に基づき、施設の安全点検を毎月実施した上で、訓練時に自主検査表に基づく点検も実施している。 7 事故への対応 毎月事故内容を分析し、前年度と比較した上でレポートとしてまとめて対策を検討している 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 【改善すべき点】 園庭固定遊具の評価がC判定の項目について、今後の対応計画を作成すること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 (※倫理性も含む)	法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組	×2	×2	×7
		(1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	4	4	
		9 個人情報事故への対応	4	4	
		(1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している			
		10 職員の労働条件の保護	×2	×2	4.29
		(1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	4	4	
		11 職員研修	×2	×2	
		(1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	4	5	
		合計点(満点35点)	28.0	30.0	30.03
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】			
		8 個人情報保護の取組 ①個人情報について職員会議等で周知している。 ②個人情報に関する規定は保護者の目に入るところに掲示し、職員の教育もしている。			
	担当課記入欄	9 個人情報事故への対応 ①個人情報が記載された書類は必ず鍵のかかる書庫に保管をしている。 ②P.C管理規定についても職員会議で周知し徹底した管理を行った。 ③USBの使用は禁止している。			
		10 職員の労働条件の保護 ①勤務に関して、タイムカード、出勤簿で管理し、時間外労働は時間外計算書の作成を行い労働時間の管理を行っている。 ②子育て中の職員のみならず家庭の事情がある職員については時短勤務やシフト免除等を行い働きやすい職場づくりを行っている。			
	評価委員記入欄	11 職員研修 ①研修に参加した職員は、職員会議等で研修内容の報告をし、情報の共有を行っている。 ②法人内研修や園内研修を行い保育の質の向上や不適切保育の防止に務めた。			
		【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	8 個人情報保護の取組 年度当初の職員会議でマニュアルの読み合わせを実施。			
		10 職員の労働条件の保護 常勤職員の月の時間外労働時間について、令和5年度は平均10時間を超えていたが、令和6年度は平均10時間以下に改善された。			
	評価委員記入欄	11 職員研修 個人目標・個人研修計画が作成されている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 ①研修報告書を適切に管理し園内で共有されている。 ②時間外労働時間も減少傾向にあり、引き続き働きやすい職場環境の構築に注力してほしい。			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	4	3	
	合計点(満点25点)		20.0	15.0	15.00
評価委員記入欄	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 特定社会福祉法人として会計監査人により、年間を通して会計監査を行っている。			
	【改善すべき点・課題等】				
	担当課記入欄	1.2 委託料の健全な運用 人件費及び物価の高騰等により、収支が赤字となっている。 1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額について、取扱いのルールや足立区内における保育に関する事業に活用する計画が確立されていない。 【特記事項】			
評価委員記入欄	【評価すべき点】				
	【改善すべき点】	収支がわずかに赤字となっている。資金残高に一定の余裕はあるが、委託料の範囲内での運営に努めてほしい。			
評価委員記入欄	【その他注意点】	本部経費の配賦基準について、一律に園数基準で配賦しているが、運営している園数の規模はそれぞれ異なることから、本部経費が均等に生じていないとも考えられるため、例えば、収入・保育士数・園児数基準など本部経費が発生と関連性が高い基準で按分したほうが、より適切な損益管理ができるのではないかと考える。			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
利用者の満足度（アンケート調査等による） 事業効果	指定管理者記入欄	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 4	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 3	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 5	4.14
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	56.0	58.0	57.96
		【アピールポイント】 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 利用者アンケートを実施し、その結果については閲覧できるようにし保護者にフィードバックした。 1.6 保育内容に関する評価 食事や保育時間の変更は個々の状況に応じた対応を行っている。 1.7 施設内容に関する評価 定期的に園内の整理整頓を行い、不要物の撤去を実施している。			
		【改善すべき点・課題等】 園児にとって安心安全な保育環境を提供していくために改善を考えていく。			
	担当課記入欄	1.4 サービスの質の評価 ①直近では令和5年度に第三者評価を受審し、利用者回収率は77.1%。 ②第三者評価を受審していない年については、利用者アンケートを行っている。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 食事や保育時間の変更等、保育内容については高い評価を得ている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 保育内容について保護者から高く評価されている。引き続き、保育の質向上に努めてほしい。 【改善すべき点】			
	【その他注意点】 第三者評価や利用者アンケートの回収率が上がるよう、継続的な取り組みを行ってほしい。				

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		4	3		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
		4	4	3.71	
	20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4		
		4	4		
	合計点(満点40点)		32.0	30.0	29.68
	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 ①子どもの成長発達にあった保育環境を提供している。 ②日中の活動が保護者に伝わるように、写真やコメントを添えて毎日配信している。 ③子どもの興味関心を保育者が捉え自分で遊びを選べるような環境づくりを行っている。 ④急な保護者の残業にも対応できるように職員配置を行っている。 19 人権の尊重 ①園児の関わり方については、足立区保育の質のガイドラインチェックシートや全国保育士会の人権擁護のためのセルフチェックシートを用いて個々の保育の振り返りを常に行なった。 ②不適切な保育の実例（ニュース）などを読み合わせ、自らの保育を振り返り質の向上に努めている。 20 全体的な計画・指導計画の作成 ①全体的な計画を作成し、年間・月・週・日々の保育計画へと落とし込んでいる。 ②保育環境の見直しと改善を繰り返しながら、園児の人権に配慮した環境設定を行なっている。				
		【改善すべき点・課題等】			
担当課記入欄	18 保育の基本原則 ①ガイドラインに沿った保育内容である。 ②1歳について、室内でも体を動かして遊べる環境があると良い。 ③2歳について、ままごと遊具が1つの容器にまとめられていたため、子どもが選んで遊具を使えるよう環境を整えると良い。 19 人権の尊重 人権擁護のためのチェックリスト、保育の質のガイドラインなどで各自が人権に関するチェックを行い、園長、主任が必要に応じて助言している。 【特記事項】				
		【評価すべき点】			
評価委員記入欄	【改善すべき点】				
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	×2 4	×2 3.3
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	4	×2 4	×2 4.10
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	4	×2 5	×2
	評価委員記入欄	合計点(満点30点)	24.0	24.6	24.60
評価委員記入欄	担当課記入欄	【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 ①全体的な計画から年間指導計画、月案、週日案、児童票と保育の計画と流れが策定させている。 ②保育日誌に日々の保育の記録をし、毎週保育の評価・反省を行い保育の見直しを行い次週につなげるようにしている。 ③発達の支援が必要な園児については家庭や専門機関とも連携を図り個々の成長に応じた対策をしている。 2.2 保育環境 ①職員は保育室が安心・安全な環境であり続けるように、足立区保育実践振り返りシートの「保育の環境編」でチェックシートを使用に確認したり、東京都の保育施設における誤嚥等の事故防止のためのチェックリスト等を使用し、保育環境を整えている。 ②加湿器や空気清浄機を設置し、保育室の環境を整え衛生管理に務めている。 2.3 小学校との連携 ①就学に向けて小学校へは保育要録を提出し情報の共有を図っている。 ②小学校で1年生と交流する時間を持ち、就学に対する期待を持った。	【改善すべき点・課題等】		
		2.1 指導計画の展開 職員会議やクラス会議などで子どもの育ちを見取り、指導計画に追記や削除をして保育を振り返り、改善を図っている。 2.3 小学校との連携 学校体験や小学生との交流活動を実施し手紙のやり取りを行っている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 小学校と活発な連携が行われているようなので、継続的に取り組んでいただくようお願いしたい。	【改善すべき点】		
	評価委員記入欄	【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 4	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 4	×2 4.7	×2 4.23
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 4	×2 3	
		合計点(満点30点)	24.0	25.4	25.38
	担当課記入欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①年間食育計画に基づき提供している。 ②保育と連携し野菜を育てたり、育てた野菜の皮むき、食材の葉っぱちぎり、さやむきなどを行い食材に興味関心を持たせたりしてた。 2.5 食事計画 園児の身体測定に結果に基づき栄養所要量を定めている。 2.6 食事の提供 ①職員会議でカウズ数の高い、または低い園児の把握を行い家庭との情報共有を行い改善に努めている。 ②アレルギーの園児だけでなく支援を必要とするお子さんに対しても、定期的な保護者との面談や職員会議を通して確認をしている。 ③アレルギーマニュアルに沿った提供を行っている。			
		【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	2.4 食育計画 世界や国内の料理を計画的に取り入れて実施し、評価、反省をしている。 2.5 食事計画 ①食育活動計画書で活動を振り返り評価反省をしている。 ②クッキング実施チェック表で確認、記録している。 ③保護者には献立や取り組みを写真などで掲示し知らせている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 食育の取り組みにいろいろな工夫がされており、楽しい食事が提供できていると評価できる。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	【健康・安全への状況】	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 4	×2 5	×6 × 5.00
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 4	×2 5	×2 5.00
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 4	×2 5	×2 5.00
		合計点(満点30点)	24.0	30.0	30.00
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①保健計画に基づき、月間の目標を立てて園児の健康維持、感染予防に積極的に取り組んでいる。 ②健康診断を年2回、0歳児は毎月、歯科健診年1回行い健康管理に努めており、結果については、保護者と共に受診が必要な場合は保護者に伝えている。 ③看護師の日々のラウンドで看護師としての見方から子どもの健康状態の確認を行っている。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDS対策は0歳児には午睡センサーを使用し、触診とダブルで行っている。 ②1歳児～3歳児以上の午睡を行う園児は午睡チェックを行うと共にその日の気づきも記録に残している。 ③SIDSのチェック方法については、具体的に指導を行い、タイマーを使い正確なチェックを行っている。 29 虐待等への対応 ①受け入れの時や着替えの時などに怪我の有無のチェック（視診）を行っている。 ②職員会議や昼礼で気になる園児や保護者の情報共有をしている。 ③人権擁護のためのセルフチェックシート、足立区の保育実践振り返りシート等でチェックし、保育の見直しを行っている。 ④足立区児童虐待予防、養育支援マニュアル（抜粋版）の周知を行っている。			
		【改善すべき点・課題等】			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDSのチェック表で0、1歳児の状況を観診し、記録している。 ②0歳児は午睡センサーを使用し、視診とダブルで行っている。 29 虐待等への対応 ①ガイドライン振り返りシートをチェックし、必要に応じて職員と個別に面談をして園長、主任が助言している。 ②要支援家庭への対応記録があり関係機関と連携している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 子どもの健康管理、安全対策など、適切な対応が行われている。 【改善すべき点】			
	評価委員記入欄	【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（東保木間保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

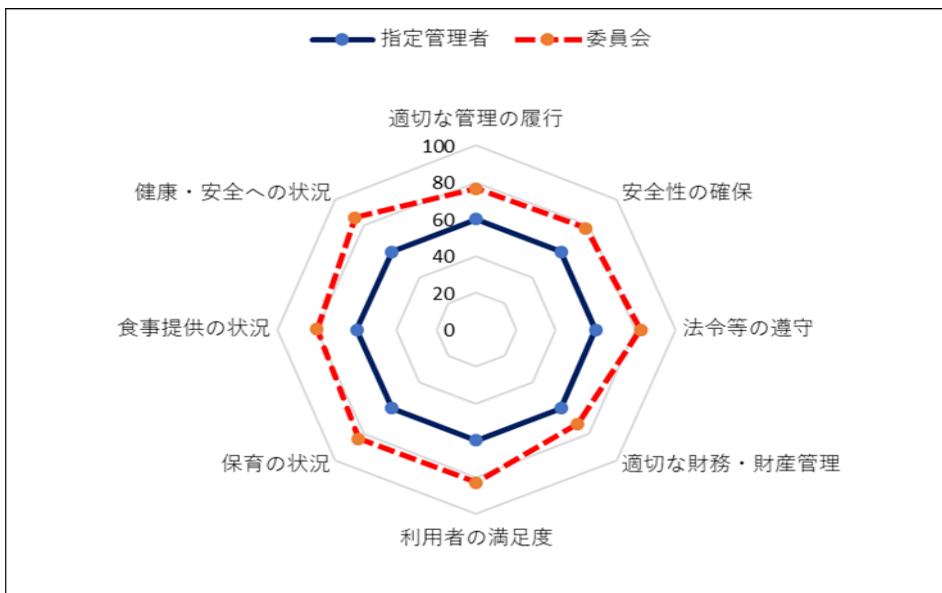
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 4	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 4	×2 4	4.00
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 4	
		合計点(満点35点)	28.0	28.0	28.00
担当課記入欄	評価委員記入欄	【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①クラスごとの清掃点検表で日々保育室の衛生管理に注意している。 ②排泄介助の時に、尿、便とマットの区分けを行い使用後はその都度消毒を行っている。 ③嘔吐処理研修を園内研修として看護師が行った。 ④トイレの清掃において、毎週土曜日には尿石取りを行い清潔を心掛けている。 3.1 調理衛生管理 ①調理従事者の毎日の健康チェックを行い記録している。 ②10月から3月は通常の細菌検査に加えノロウイルス検査も実施し衛生管理に気をつけ調理を行っている。 ③給食職員は給食室から出るときにはエプロンを変え汚染区域と非汚染区域の区別をおこなった。 ④調理従事者と調乳担当は毎日の健康状態をチェック表を用いて行い管理した。 3.2 安全確保 ①法人の危機管理委員会から事前の事故の啓発を職員周知し注意した。 ②事故防止のためのヒヤリハット提出し、職員会議で周知し、未然に事故を防ぐようにしている。 ③足立区の事故報告を職員周知、回覧し同じ事故が起こらないように努めた。			
		【改善すべき点・課題等】			
		3.0 保育室衛生管理 清掃、消毒チェック表に記入し衛生管理に努めている。 3.2 安全確保 ①事故報告やヒヤリハット報告を毎月会議で振り返り、改善に努めている。 ②怪我を項目別に記録して、職員間で共有している。 ③不適切保育の研修を実施している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 足立区が発出する事故事例を園内で活用し、同様の事故が起こらないよう取り組んでいる。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

五反野保育園 評価シート

【 指定管理者 】 株式会社日本保育サービス

【 評価対象年度 】 令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①概ね良く取り組まれている。
②適切な財務運営・財産管理が行われている。
③保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	286	A-

ランクダウン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A-

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

- ①指定管理者の自己評価について、採点基準に基づかず一律同じ評価点をついているため、実情に合わせて評価点を付けるよう、次回以降是正すること。
②施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。
③重大な事故が発生したため、再発防止に努めること。

（評価委員会評価基準）

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率			90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者	区担当課		
得点	評価	得点	評価
210.0	B	286.1	A-

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な管理の履行	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	3	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	3	3.4	3.83
		合計点(満点20点)	12.0	15.3	15.32
評価委員記入欄	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 <u>1 施設・設備の安全の確保</u> ①園内設備点検は協定書に基づいて行っている。 ②不具合や修繕箇所が発生した場合には、早急に対応している <u>2 備品等の保守点検</u> ①保育室のカーテンは劣化もあり、令和8年度買い替え予定。 ②階段上部は掃除が行き届かないため、業者に依頼した。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】 <u>2 施設の清掃等</u> 廊下のひび割れや壁紙が剥がれやすいなど、修繕していく箇所がある。			
	評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 ①概ね規定回数以上の実施を確認。 ②一部の清掃について、実施していることだが記録なし。 ③カーテンクリーニングについて、記録なし。 【特記事項】 【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。 【改善すべき点】 ①施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。 ②管理状況が確認できるよう、記録を残すこと。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	3	3.8	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	3	4	3.89
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	21.0	27.2	27.23
		【アピールポイント】 6 防犯の取組 防犯訓練は毎年、綾瀬警察署と連携し、5歳児の安全指導や職員の不審者訓練を行っている。 7 事故への対応 ①門扉の鍵は内側から出るときもカードキーを使用しないと開かないように変更し、子どもの抜け出し等安全対策を強化した。 ②子どもの抜け出しに備え、フローチャートを作成し、職員に共有した。			
		【改善すべき点・課題等】 6 防犯の取組 防犯に関しては園外保育時の訓練も行っているが、万一の時には近隣の方にも助けて頂けるように、行先にはどんな施設があるかなど職員で共有し、施設の方にもお願いしておくようにする。			
	担当課記入欄	4 施設・設備の安全の確保 園庭固定遊具安全点検について、壁との距離が基準値以下の不良箇所があるが、解消するためには移設するしかなく、見守りの中で遊具を継続使用している。 5 防災の取組 ①CPR訓練を毎月行っており、消火器の使用期限もその都度確認している。 ②Jアラート発令を想定した避難訓練を実施している。 7 事故への対応 令和6年度は重大な事故が2件発生。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】 重大事故についてはしっかりと区に報告し、再発防止策を講じているとのことだが、同様の事故が発生しないよう再発防止に努めること。			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

※ 各記入欄については、特ない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
		個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らすことがないよう必要な措置を講じている	×2 3	×2 4.5	×7 4.13
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	3	4	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 3	×2 4	
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 3	×2 4	
		合計点(満点35点)	21.0	29.0	28.91
法令等の遵守（※倫理性も含む）	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>8 個人情報保護の取組 個人情報については、会社の確認テストを受けたり、会議などで児童票、パソコンの持出しに関してのルールを確認し実施している。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>11 職員研修 ①研修に関しては、年間で個人の計画を立てているが、実際に受けられていないことが多い。 ②申し込みを忘れたり、保育から抜けられないこともあったので、一人ひとりが学ぶ時間が取れるように配慮していきたい。</p>			
	担当課記入欄	<p>8 個人情報保護の取組 ①全職員向けに本社で研修を実施しているほか、新年度会議で全職員に対し園長から実施している。 ②個人情報持出管理台帳で、PCや児童票など誰がいつ持ち出したかわかるようにしている。</p> <p>11 職員研修 研修内容が研修レポートや職員会議で共有されており、職員ごとの研修計画も立てられている。</p> <p>【特記事項】</p>			
	評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】</p> <p>【改善すべき点】 個人の研修計画を作成するなど人材育成に力を入れているが参加が進んでいない様子である。保育の質向上にもつながるため、参加機会を確保するよう取り組むこと。</p> <p>【その他注意点】</p>			

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
		3 4			
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2	×2	3.61
		3 3			
	【アピールポイント】	合計点(満点25点)	15.0	18.0	18.05
	【改善すべき点・課題等】				
	【特記事項】	1.2 委託料の健全な運用 人件費や物価の高騰はあったものの、人材紹介手数料の支出が少なかったこともあります、収支は黒字となっています。			
		【評価すべき点】 本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。			
	【その他注意点】	【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度 (アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 3	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 3	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 3	×4 4	4.14
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 3	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	42.0	58.0	57.96
		【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 ①利用者アンケートを受け、改善できるところはすぐに対応した。 ②園長と直接話したい、との声もあったため、お迎えの時間に保護者に声をかけるようにしている。			
		【改善すべき点・課題等】 1.4 サービスの質の評価 利用者アンケートの回答率が低かったため、配信してお声がけするだけでなく、紙面も用意するなど回答して頂けるように工夫していく。			
	担当課記入欄	1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 職員の接遇や食事について90%以上の非常に高い評価を得ている。 【特記事項】 1.4 サービスの質の評価 ①直近では令和5年度に第三者評価を受審し、回収率は96%と非常に高い。 ②第三者評価を受審していない年については、利用者アンケートを行っている。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 利用者アンケートの結果から、保護者から信頼されていることがうかがえる。 【改善すべき点】 アンケートの回収率が、第三者評価では高かったが、園独自に実施した利用者アンケートでは低かったため、回収率が上がるよう改善すること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5 (水準を大きく上回る) 4 (水準を上回る) 3 (水準どおり) 2 (水準を下回る) 1 (水準を大きく下回る)

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	3	4	
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×2	×2	4.00
	合計点(満点40点)	24.0	32.0	32.00	
評価委員記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 steamやくわくなど、子どもたちの興味関心が高いものに保育士が気づき、一緒に突き詰めていくことを楽しむような保育も行っている。 19 人権の尊重 虐待に関しては振り返る機会を持ち、改善点を園長と話し合っている。				
	【改善すべき点・課題等】 18 保育の基本原則 ①子どもの人数が多いこと、園庭が広いこともあるが、保育者の声の大きさが気になることがある。 ②職員同士で声を掛け合い、小さな声でも伝い合える環境にしていきたい。				
	18 保育の基本原則 幼児クラスについて、ブロック遊びや粘土など机上の遊びが多いため、年齢に応じた遊びの素材や環境があると良い。 20 全体的な計画・指導計画の作成 ①全体的な計画は、施設の理念・方針・目標に基づき教育・保育のねらいが総合的に展開されるよう作成されている。 ②個別指導計画は、5領域、生活・情緒・遊びの項目で振り返りをしている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 法人独自の「STEAM保育」を導入しており、子どもたちに興味や探求心を持たせ主体的な育ちの取り組みを行っている。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2 3	×2 4.3	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	×2 3	×2 4	4.43
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2 3	×2 5	
		合計点(満点30点)	18.0	26.6	26.58
担当課記入欄	【アピールポイント】 2.3 小学校との連携 ①小学校との連携は計画的に行っており、5歳児と1年生や職員同士も交流したり、給食試食や体験授業の機会を持っている。 ②卒園生についても小学校の先生と話をする機会を作っている。 ③5歳児の保護者会では、小学校の先生から就学に向けての家庭でのアドバイスをしていただいた。				
	【改善すべき点・課題等】 2.3 小学校との連携 5歳児が小学生と園で交流する機会を更に増やし、就学に向けて期待を高めるようにしていく。				
	2.1 指導計画の展開 指導計画に基づき保育を行い、子どもが主体性をもって活動できるようになっている。 2.2 保育環境 ①保育室や廊下に植物や小物、絵などがありあたたかな雰囲気をつくっている。 ②遊具棚は整理され片付けやすくなっている。 【特記事項】 2.3 小学校との連携 ①小学校のおまつり参加やランドセル体験、生活科の授業体験等、交流活動を実施している。 ②保護者会で小学校教諭から就学に向けて講話を実施している。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】 近隣小学校のお祭りに参加したり、生活科の体験授業に参加するなど、就学に向けた不安感軽減の取り組みを行っている。				
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 3	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 3	×2 4	4.00
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 3	×2 3	
		合計点(満点30点)	18.0	24.0	24.00
	担当課記入欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①食育や食農に関しては、栄養士を中心に計画を立て、種から育てた野菜を収穫し食べたり、クッキング保育を行うなど、子どもたちに食への関心を深めて楽しく食べてもらおうと力を入れている。 ②親子クッキングも人気で、参加者も多い。 2.6 食事の提供 鼻つまりなどで咀嚼が難しい時は刻み食を提供するなど、体調にあわせて変更している。			
		【改善すべき点・課題等】 2.6 食事の提供 食事の姿勢や箸の持ち方などを、園だけでは習得が難しい面を家庭でも協力して頂けるように働きかけていく。			
	評価委員記入欄	2.6 食事の提供 ①子どもの状況に応じた食事の提供を行っている。 ②食事介助の際、適切な一口量と子ども自身が食材を掬い取れるようスプーンの角度など意識できると良い。 ③アレルギー児への介助は子どもの状況や口元が見えるように介助できると良い。 【特記事項】 2.4 食育計画 ①郷土料理を盛り込んで工夫している。 ②食への関心を深めるために、食農に力を入れ取り組み、育てた野菜を収穫して食べる経験を積み重ねている。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 子どもの体調にあわせた食事の提供や、郷土料理を提供するなど、食育に取り組んでいる。			
		【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 3	×2 5	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 3	×2 5	4.67
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 3	×2 4	
	合計点(満点30点)		18.0	28.0	28.02
担当課記入欄	【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 看護師による、手洗い、歯みがき、熱中症予防指導など季節や必要に応じた指導を行っている。 28 乳幼児突然死症候群の予防 SIDSについては毎月、様々な場面を想定して研修を行っている。 29 虐待等への対応 児童相談所と連携し、見守りが必要な家庭について情報共有している。				
	【改善すべき点・課題等】				
	29 虐待への対応 ①不適切保育について事例を基に研修をしている。 ②要支援家庭との相談記録があり、関係機関と連携している。 【特記事項】 27 子どもの健康管理 ①保健計画について実施結果を記録している。 ②視力検査・尿検査を行っている。 ③ダイアップの取り扱いや、下痢嘔吐の処理について等、園内研修を行い、職員のスキルアップを図っている。 28 乳幼児突然死症候群の予防 睡眠中の事故防止対策を講じ、午睡チェック表を作成している。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①視力検査や尿検査を実施し、子どもの健康管理に力を入れている。 ②要支援家庭との相談内容を記録し、必要に応じて児童相談所と連携する体制が整っている。 【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（五反野保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

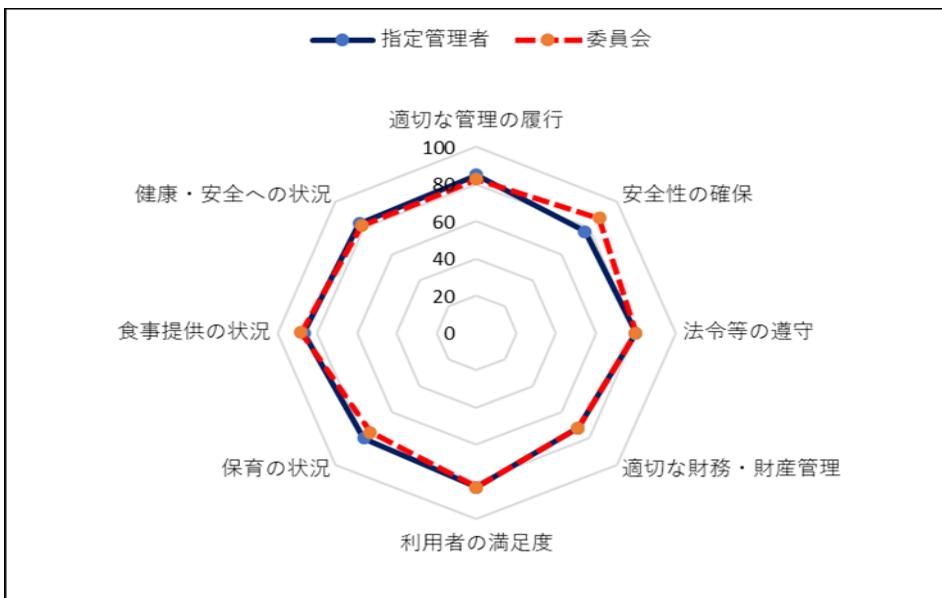
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 3	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 3	×2 4	4.00
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 3	×3 4	
		合計点(満点35点)	21.0	28.0	28.00
担当課記入欄	【アピールポイント】 3.2 安全確保 ①園庭遊びの際に、一人は見守り役になり、全体を見渡せる所に立ち、危険がないかを見ながら外部からの侵入にも備えている。 ②毎月の安全チェックで、保育室の安全を確認している。				
	【改善すべき点・課題等】				
	3.2 安全確保 ①ヒヤリハットの有無を記録し、報告漏れが無いように工夫し、状況に応じてタイムリーに共有している。 ②月ごとにまとめて職員会議で共有している。 ③パート職員については、記録の供覧をしている。 ④保護者へは、園だよりに安全トピックスとして訓練や安全確保の内容について周知している。 【特記事項】				
評価委員記入欄	【評価すべき点】 安全確保の取り組みや園内の状況を園だよりに掲載し、保護者に周知している。				
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

伊興大境保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人高砂福祉会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①概ね良く取り組まれている。
②保護者から高い評価を得ており、信頼されている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	283	A-

ランクダウ ン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A-

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率	90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満	

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
284.0	A-	283.5	A-

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な管理の履行	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	4	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	5	4.7	
		合計点(満点20点)	17.0	16.5	16.52
評価委員記入欄	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 園内における設備点検を毎月行い、不具合がないかどうか確認している。 2 施設の清掃等 ①月に一度は自主清掃を土曜日に行っている。 ②日々の業務の中、園庭安全チェック、戸締りチェックを行い、園長、主任もチェックを行っている。 ③安心安全な保育に対する環境への配慮を意識して行っている。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】 職員は日々清掃チェックシートに基づき行っており、今後も引き続き施設管理を行っていく。			
	評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 規定回数以上の実施を確認。 【特記事項】 【評価すべき点】 設備点検などを規定回数以上に実施し、良好な施設管理が行われている。 【改善すべき点】 施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	4	4.7	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	3	4	4.37
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	4	4.3	
		合計点（満点35点）	27.0	30.6	30.59
		【アピールポイント】 5 防災の取組 ①消防計画に基づき月に1回以上の避難訓練を実施している。 ②園児は避難の仕方、災害に対する知識を身につけて職員は定期的に行う事で、避難の方法の確認や見直しを行い、常に災害に対する知識を高めている。 ③月に1回自主点検を行い、保育園の安全管理に配慮しており、避難訓練には、地震、火事のみならず台風、竜巻、水害、不審者等幅広い自然災害を想定して職員に周知すると共に避難訓練を実施した。			
		【改善すべき点・課題等】			
担当課記入欄	4 施設・設備の安全の確保 ①園庭固定遊具については、園庭遊具点検表により職員が毎日点検を実施している。 ②応急救命資格を職員9名取得している。 5 防災の取組 訓練に併せて点検事項を定期的にチェックしている。 6 防犯の取組 園外のほか、保育室を含めた各部屋に見守りカメラを設置している。 7 事故への対応 毎月事故の分析を行い、職員会議で周知し、再発防止に努めている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 訓練の実施にあわせて点検事項の定期的な見直しを行っており、多岐にわたる自然災害を想定した訓練を実施するなど防災意識が高い。 【改善すべき点】				
評価委員記入欄	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 法令等の遵守（※倫理性も含む）	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	×2 4	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	4	4	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 4	×2 4	4.00
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 4	×2 4	
		合計点(満点 35 点)	28.0	28.0	28.00
	担当課記入欄	【アピールポイント】 9 個人情報事故への対応 ①個人情報に関するものは第三者の目に触れない配慮を行い、鍵の掛かる棚に保管している。 ②PCはパスワードを設定し、部外者が情報を知る事のない対策をとっている。 11 職員研修 ①研修は積極的に取り組んでいる。 ②保育のスキルだけではなく、保育の質の向上に努めた。			
		【改善すべき点・課題等】			
		8 個人情報保護の取組 園で全員を対象に個人情報保護の研修実施しているほか、法人全体としても研修を実施している。 11 職員研修 受講した研修について、職員会議や昼礼で報告し共有を図っている 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 研修が充実しており、研修結果を園内で共有する取り組みがされており人材育成に力を入れている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 適切な財務・財産管理	指定管理者記入欄	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	4	4	
		合計点(満点25点)	×2	×2	3.60
	担当課記入欄	【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 ①当法人は、適正で安全な園運営を心掛けている。 ②財務管理においては毎月予算と実績の推移を確立することにより同一法人内における資金の貸し付け及び事務費等の繰り入れの水準を維持する結果になった。 ③今後も区の水準を維持すべく、適正な園運営を行っていく所存である。	3	3	
		【改善すべき点・課題等】 1.2 委託料の健全な運用 ①保育士の確保に関しては例年に比べ基準値を確保できたが、まだ不十分である。 ②今後も採用活動に従事し人件費比率の向上を図りたい。 ③遅番の時間帯の非常勤保育士の採用に取り組んでいきたい。	18.0	18.0	18.00
	評価委員記入欄	1.2 委託料の健全な運用 水道料金高騰の原因を究明し、給水管交換工事を実施した。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】 本部経費の配賦基準について、一律に園数基準で配賦しているが、運営している園数の規模はそれぞれ異なることから、本部経費が均等に生じていないとも考えられるため、例えば、収入・保育士数・園児数基準など本部経費が発生と関連性が高い基準で按分したほうが、より適切な損益管理ができるのではないかと考える。			

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度（アンケート調査等による） （アピールポイント）	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	4.14
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	58.0	58.0	57.96
		【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 第三者評価から保護者のニーズにあった保育園を目指している。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 ①保護者に対しての情報を発信やニーズを大切にしより良い関係を築く努力をしている。 ②地域の子育て世帯に向けて子育て支援を行っている。 ③保育園体験、園庭開放、離乳食相談、リピーターの確保に対しての企画の充実化を図り、交流の場を作っている。			
		【改善すべき点・課題等】 1.7 施設内容に関する評価 今後も園児にとって安全で安心な環境を提供していくために改善を行っていく。			
	担当課記入欄	1.4 サービスの質の評価 ①直近では令和4年度に第三者評価を受審し、回収率は81.5%。 ②第三者評価を受審していない年については、利用者アンケートを行っており、令和5年度の利用者アンケートの回収率は67%。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 職員の接遇や対応、食事について高い評価を得ている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 保護者から良好な評価を得ている。 【改善すべき点】			
	【その他注意点】 利用者アンケートの回収率が上がるよう取り組んでほしい。				

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		4	3		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
		4	5	3.73	
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		4	3.5		
		合計点(満点40点)	32.0	30.0	29.84
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 保育環境の見直しと改善を繰り返しながら、園児の人権に配慮した環境設定を行っている。 19 人権の尊重 園児の関わり方については、保育の質のガイドラインチェックシートを用いたり、不適切な保育の実例(ニュース)等を読み合わせを行い、自らの保育を振り返り、質の向上に努めている。 20 全体的な計画・指導計画の作成 ①個別計画を作成し、一人ひとりの子どもの個性を尊重した保育を心掛けている。 ②全体的な計画、長期、短期計画を立てて保育の充実を図った。			
		【改善すべき点・課題等】 18 保育の基本原則 今後も常に見直しを行っていく。			
	担当課記入欄	18 保育の基本原則 ①保育環境の見直しと改善を行っている。 ②1歳について、ままごと遊びの遊具が一つの箱に入っているため、種類分けをして子どもが選んで手にとれる環境があると良い。 ③2歳について、見立てられる素材があると良い。 ④幼稚クラスについて、遊びに必要なものを作ったりイメージしたものを作ったりできる環境があると良い。 19 人権の尊重 ①ガイドラインチェックリスト 子どもの人権編を活用し振り返りを行っている。 ②人権の研修「不適切な保育を防ぐために」の研修を実施し、研修報告に園長がコメントを記入している。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	評価委員記入欄				

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	4	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	4	3.5	3.81
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	4	4	×2
		合計点(満点30点)	24.0	23.0	22.86
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 保育指針に基づいて、全体的な計画、年間指導計画、月案、週日案、児童票へと保育の計画と流れが画策されしており、実施されている。 2.2 保育環境 保育室の環境においては、加湿器、空気清浄機等を設置して環境を整え、衛生管理に努めた。 2.3 小学校との連携 ①就学先には保育要録を確実に提出している。 ②幼保連携ブロック会議に参加し子供の課題の共有を図っている。 【改善すべき点・課題等】			
	担当課記入欄	2.1 指導計画の展開 ①遊びや活動が設定されており、子どもがイメージをした遊びや友達と遊びを作り出す姿が見られなかった。 ②子どもの姿を肯定的に捉えて評価反省をしている。 2.2 保育環境 保育環境の資料を職員に配付して、保育を振り返っている。 2.3 小学校との連携 近隣の小学校と連携を図り、交流している。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 5	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 4	×2 4.7	×2 4.40
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 4	×2 3.5	
		合計点(満点30点)	26.0	26.4	26.40
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 年間食育計画に基づき提供を行っている。 2.5 食事計画 保育園の一日の栄養所要量は園児の身体測定の結果により必要量を下回らないように配慮している。 2.6 食事の提供 アレルギー対応としてアレルギー児対応メニューの作成を行い、保護者に除去食依頼書を提出していただき、給食の提供時には職員と給食担当者との間でアレルギー児給食確認表を使用して誤提供を防いでいる。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】 2.4 食育計画 園児が食材に興味を持ち、楽しく食べる為の工夫や食材コーナー等の取り組みを積極的に行っていく。			
	評価委員記入欄	2.4 食育計画 ①食育計画に独自献立で世界の料理に親しめるメニューを取り入れている。 ②各年齢で栽培からクッキングを行い、食に触れる体験や命の大切さを知らせている。 2.6 食事の提供 ①幼児クラスについて、栄養士が箸の指導評価表を毎月記録している。 ②毎月の給食会議でアレルギー関係のミスをなくす目標を上げ、アレルギー児に関する確認をしている。 【特記事項】 【評価すべき点】 世界の料理が楽しめる食事は、家庭ではなかなか実現が難しいからこそ、大変楽しく、魅力的な取り組みであると思う。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 4	×2 5	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 5	4.67
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 4	×2 4	
		合計点(満点30点)	26.0	28.0	28.02
		【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 保育計画に基づき月間の目標を立てて、園児の健康維持、感染症予防に積極的に取り組んでいる。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDS対策は0歳児は5分おきに、1歳児及び2歳児は10分おきにチェックを行い、その記録をチェック表に付けています。 ②0歳児は、ルクミー午睡チェックシステムの導入で、午睡時はセンサーを装着して事故が起きないように注意している。 ③日々の巡回も欠かさず行っている。			
		【改善すべき点・課題等】			
		28 乳幼児突然死症候群の予防 ①SIDSのチェック表を記録し、予防に努めている。 ②口内の食物の有無を確認し、健康状態を記録している。 29 虐待等への対応 ①虐待防止振り返りチェックシートで自己評価をしている。 ②虐待防止のためチェックリストで、良くないと考えられるかかわりについて各自チェックしている。 【特記事項】			
		【評価すべき点】 子どもの健康管理への対応がしっかりとっている。 【改善すべき点】			
	評価委員記入欄	【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（伊興大境保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

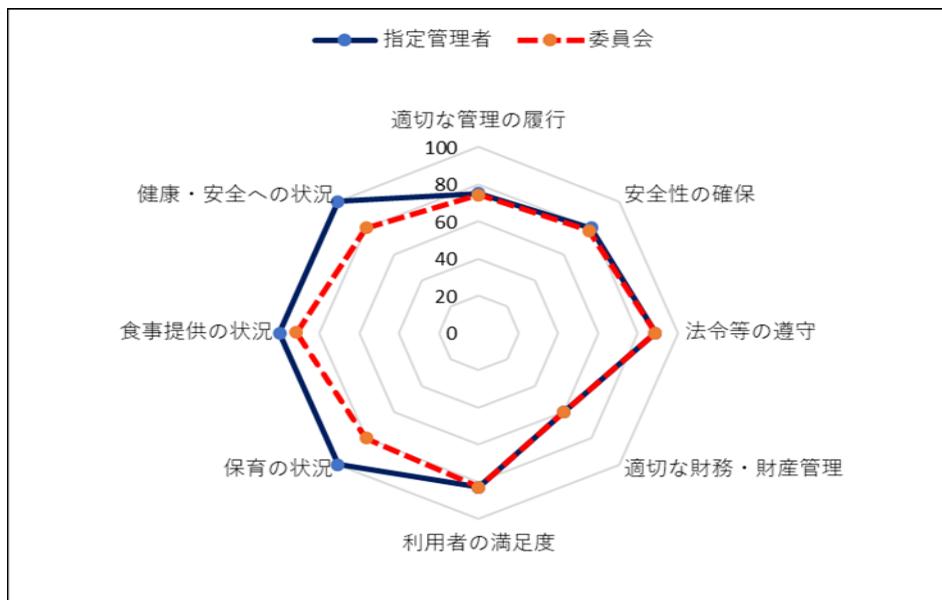
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み 指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 4	×2 4	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 4	×2 4	3.57
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 3	
		合計点(満点35点)	28.0	25.0	24.99
担当課 記入欄	【アピールポイント】 3.1 調理衛生管理 ①調理従事者は毎日健康チェックを行い、毎月細菌検査を行っている。 ②10月から3月は通常の細菌検査に加え、ノロウイルス検査も行い、衛生管理に気を付け調理を行っている。 3.2 安全確保 保育中の事故についてはその原因と是正を考え継続的に効果の確認を行い事故の防止に努めている。				
	【改善すべき点・課題等】				
	3.0 保育室衛生管理 毎月の衛生チェック表で衛生管理に努めている。 3.2 安全確保 保育施設における誤嚥などの事故防止のためのチェックリストで保育を振り返っている。 【特記事項】				
評価委員 記入欄	【評価すべき点】				
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				

やよい保育園 評価シート

【 指定管理者 】社会福祉法人博友会

【 評価対象年度 】令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①概ね良く取り組まれている。
②保護者から良好な評価を得ている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	281	A-

ランクダウ ン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A-

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

- ①施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者委託を増やすなど検討してほしい。
②不審者対応訓練は書面上で記録し振り返れるよう取り組んでほしい。
③委託料の範囲内での運営に努めること。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率			90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
312.0	A	281.4	A-

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点					
管理状況	適切な管理の履行	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員			
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2 4	×2 4	×4			
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	3 3	3.6 3.6	3.71			
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	4 4	3.4 3.4				
		合計点(満点 20 点)	15.0	15.0	14.84			
指定管理者記入欄	【アピールポイント】							
	1 施設・設備の保守点検		非常通報システムについては、火災対応だけでなくセンサーによる侵入防犯システムを導入している。					
	2 施設の清掃等		①園内清掃については上記の基準を最低として、必要に応じて、その都度行っている（床の委託清掃、布団乾燥など）。 ②年に数回園庭の除草を実施し、環境整備に努めている。					
担当課記入欄	3 備品等の保守点検		③備品等の保守点検 ①布団の乾燥・消毒を年4回実施している。 ③調理器具清掃点検については目視で点検し、故障、不具合があれば直ちに業者に連絡、修理、交換等の対応を行っている。					
	【改善すべき点・課題等】							
評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等		概ね規定回数以上の実施を確認したが、施設の清掃の一部について記録なし。					
	3 備品等の保守点検		①ピアノ調律について、年度内の実施なし。 ②調理器具清掃点検について、業者委託は行っておらず職員による点検にとどまっている。					
	【特記事項】							
		【評価すべき点】 園内清掃を適宜実施し、清潔な環境に努めている。						
		【改善すべき点】 施設の清掃等について、職員の負担を軽減するためにも、業者への委託について検討すること。						
		【その他注意点】						

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	×2	×2	×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	4	4.3	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	3.3	3.90
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	×3	×3	
		合計点（満点35点）	28.0	27.4	27.30
		【アピールポイント】 5 防災の取組 防災に関する絵本や紙芝居を集会などで読み聞かせしている。 6 防犯の取組 ①園外保育の際、不審者を見つけた場所等について保育士同士で連携をとり、子どもの安全を確保している。 ②職員全員がホイッスルを携帯し、緊急時に対応できるようにしている。 ③散歩時は園携帯、防犯ブザーを携帯し、連絡、異常の周知が出来るようにしている。 7 事故への対応 連絡手段はきつずノートへの移行が完了し、園からのお知らせをアプリからも確認できるようになる。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】			
	評価委員記入欄	4 施設・設備の安全の確保 園庭固定遊具について、職員により使用前後に確認を行っている。 5 防災の取組 ①年間避難訓練計画に基づき、毎月避難訓練・消火訓練を実施しているほか、保護者への引き渡し訓練も実施している。 ②要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく水害を想定した避難訓練を実施していない。 6 防犯の取組 不審者対応訓練について、実施した記録が確認できず。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 全国的に水害などの災害が増えていることから、水害を想定した訓練など、しっかりと取り組んでいます。 【改善すべき点】 不審者対応訓練は書面上で記録し振り返れるよう取り組んでほしい。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 (※倫理性も含む)	法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組 (1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らさがないよう必要な措置を講じている	×2 4	×2 4	×7
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	5	5	
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	×2 5	×2 5	4.43
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 4	×2 4	
		合計点(満点 35 点)	31.0	31.0	31.01
		【アピールポイント】 9 個人情報事故への対応 園だよりへの個人情報は最小限にしており、処分する場合は書類溶解に依頼している。 10 職員の労働条件の保護 時間外勤務軽減の為、日中の効率を上げ、会議内容を事前にリーダー会、週案会議、行事会議であらかじめ精査している。 11 職員研修 ①研修内容は職員会議で報告し、職員が共通認識をもって統一した保育が行われるよう工夫している。 ②研修成果を保育に活用し、日誌に明記している。			
		【改善すべき点・課題等】			
		8 個人情報保護の取組 マニュアルに基づき、職員会議において園長から個人情報についての研修を実施している。 9 個人情報事故への対応 ①日誌について園のサーバーにおいており、外部からのアクセスはできない。 ②U S B の使用ができないよう制限している。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 勤続年数の長い職員が多く、職場環境が安定していることがうかがえる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3 3	×3 3	×5
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2 3	×2 3	3.00
		合計点(満点25点)	15.0	15.0	15.00
		【アピールポイント】			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】 1.2 委託料の健全な運用 ①物価高騰による給食費の値上がり、業務委託費の値上がりが発生している。 ②定員割れによる運営の減少も懸念されている。			
		1.2 委託料の健全な運用 人件費の高騰、物価の高騰等の理由により、収支が赤字となっている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】			
		【改善すべき点】 継続的な事業運営を維持するため、当該年度の運営費の範囲内で適切な執行となるよう取り組むこと。			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 (アンケート調査等による)	利用者の満足度 (アンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 5	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	4.14
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	58.0	58.0	57.96
		【アピールポイント】 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 ①担任している子どもの様子だけでなく、他クラスの子どもの様子も、エピソードとして伝えている。 ②発達相談や気づきの仕組みについては、フィードバックなどできる限り多くの職員が参加し状況を確認している。 ③子育てに悩んでそうな家庭については、状況を見てすぐに面談等を行ない、継続して見守れるようにしている。 ④保護者から寄せられた意見に関しては全職員と内容を共有し、リーダー層を中心に対応を協議して保護者へ返している。 1.7 施設内容に関する評価 防犯対策について、全職員が常に園舎内外に注意し不審者や少しでも気になることがあれば事務所に連絡し、必要な対応を取っているほか、保護者にわかりやすく伝えている。			
		【改善すべき点・課題等】 1.7 施設内容に関する評価 訓練マニュアルの再確認と改めて職員全体に周知し、防犯意識の向上を図りたい。			
	指定管理者記入欄	1.4 サービスの質の評価 第三者評価を受審し、利用者回収率は61.3%。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 職員の接遇や食事、清掃・整理整頓等は高い評価を得ている。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 保護者から良好な評価を得ていると感じる。 【改善すべき点】 【その他注意点】 第三者評価の回収率を上げるような取り組みをお願いしたい。			

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		5	4		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
		5	4	4.00	
	20 全体的な計画・指導計画の作成	×4	×4		
	20 全体的な計画・指導計画の作成	(1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	5	4	
		合計点(満点40点)	40.0	32.0	32.00
	【アピールポイント】				
	18 保育の基本原則	①子どもたちが主体的な活動ができるよう、遊びや生活中で個々に合わせた見守りやかかわりをしている。 ②日ごろから一人ひとりの良いところを見出し褒めることも大切にしている。 ③各クラスで年齢にあった玩具を取り出しやすい場所に設置するようにしている。 ④手作り玩具や自由制作について年齢に合わせて取り入れていくよう話し合い、実行していく。 ⑤お互いの安全、遊びを保障した上で一日のトータルで個々に合わせた見守りや関わりをしている。			
	19 人権の尊重	①人権を尊重した保育について、良いこと、やってはいけないことを声を掛け合いながら共有している。 ②保育者の言動が子どもに大きな影響を与えることを意識している。 ③着衣違いを直す時は、他児が見ていらないところで着替えるなど羞恥心に配慮する。			
	20 全体的な計画・指導計画の作成	小学校就学に向け、乳幼児期からのつながりを持たせた指導の目安を作成し、定期的に見直している。			
	【改善すべき点・課題等】				
	20 全体的な計画・指導計画の作成	①物的環境が整えられ、年齢に応じた工夫がある。 ②5歳児クラスに、自由に製作が楽しめる教材・素材環境があり、主体的に遊んでいる。			
	19 人権の尊重	職員会議にて「乳幼児期の人権を守り育む」資料を基に共有している。			
	20 全体的な計画・指導計画の作成	①全体的な計画は、子どもの発達過程を踏まえて保育所の生活や遊びが総合的に展開されるよう作成している。 ②個別指導計画は、個々の子どもの発達や家庭環境を踏まえて作成している。 【特記事項】			
	【評価すべき点】	子どもが主体的に遊べる環境を提供している。引き続き、子どもを中心とした保育の実践に努め、保育の質の向上を図ってほしい。			
	【改善すべき点】				
	【その他注意点】				
評価委員記入欄					

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2	×2	×6
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている	5	4	
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2	×2	
事業効果	担当課記入欄	合計点(満点30点)	30.0	24.0	23.82
		【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 ①子ども一人ひとりを大切に保育していく中で日常の些細な行動や言動を保育士が意識している。 ②年齢に合わせた「指導の目安」の見直しを、必要に応じて行っている。 ③5歳児は、個別目標は主任、担任、前担任で話し合って決定し、年度当初の個人面談で保護者と共有し、就学に向けて取り組むようにしている。 2.2 保育環境 ①子どもがイメージを広げられるよう色々な玩具を組み合わせて遊べるようにしている。 ②一つのかごから小分けにしたり、手に取りやすいようにしている。 ③その年のクラスの発達状況に応じて危険の無いよう配慮している。 ④保育室の換気、室温、湿度に気を付けている。 2.3 小学校との連携 ①要録について、必要に応じて個別の状況を直接小学校に伝えている。 ②小学校へのスムーズな移行を図るため、園児と児童との交流や情報共有、相互理解など小学校との連携を図っている。 ③幼保小連携ブロック会議には5歳児の担任も含めて参加している。 【改善すべき点・課題等】			
		2.1 指導計画の展開 ①1、2歳児クラスの食事は保育者が子どもの傍につき、安心して食べられる環境をつくっている。 ②2歳児のお世話遊びができる環境、3歳児ごっこ遊びが楽しめる環境があるとよい。 2.2 保育環境 ①保育室や廊下、テラスなどは整理整頓されている。 ②園庭の日差しが強く、遊びの環境の工夫が必要。 2.3 小学校との連携 幼保小連携活動では体験給食や児童と園児との交流活動に取り組んでいる。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 小学校との連携で、体験給食などの取り組みを通じて、進学に向けた子どもの不安の軽減に努めている。 【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 5	×2 5	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 5	×2 5	4.56
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 5	×2 3.5	
		合計点(満点30点)	30.0	27.0	27.36
評価委員記入欄	【アピールポイント】				
	2.4 食育計画 ①毎日の給食をアプリで配信し、家庭での食育や話題作りとなっている。 ②各年齢で計画を立て、調理保育を年に数回実施している。 ③4・5歳児は野菜の栽培と収穫も行なっている。				
	2.5 食事計画 各クラス担任から子どもたちの食事の様子を聞いたり、直接食べている様子を見たりしたことを献立会議で共有し、翌月の献立作成に活かしている。				
	2.6 食事の提供 ①一人ひとりの発達に適した食具（スプーン、フォーク、箸）、テーブル、椅子を使用している。 ②5歳児は楽しく食事をする中でマナーを守ることや時間内に食べることを知らせている。				
	【改善すべき点・課題等】				
評価委員記入欄	【評価すべき点】				
	毎日の給食内容をアプリを通じて配信し、保護者と共有している取り組みは評価できる。				
	【改善すべき点】				
	食事用のハサミの置き場などについて、危険を回避できるよう改善すること。				
	【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 5	×2 4	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 5	×2 4	4.00
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 5	×2 4	
		合計点(満点30点)	30.0	24.0	24.00
	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>27 子どもの健康管理 ①戸外遊びから入室する際は手洗いを行っている。 ②幼児クラスは登園後の手洗いをうがいをしている。 ③感染症が発生した時はその日のうちに掲示板で保護者に知らせ、周知している。 ④予防接種票を作成し、看護師と連携しながら未接種の子の健康状態を特に注意するようしている。</p> <p>28 乳幼児突然死症候群の予防 ①午睡チェックシートを全クラスで使用している。 ②入眠時の子どもの顔色が見える明るさにしている。</p> <p>29 虐待等への対応 ①虐待の疑いのある家庭、育児困難が見られる家庭は関係機関につなげている。 ②登降園時の保護者の様子や気になることをすぐに園長に報告し、園全体で対応している。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p>			
	担当課記入欄	<p>27 子どもの健康管理 ①保健計画を作成し、毎月発行する保健だよりで感染症や歯科衛生に関する情報を保護者に情報提供している。 ②視力検査にも取り組んでいる。</p> <p>29 虐待等への対応 ①虐待のケース会議録があり、専門機関と連携している。 ②保護児童対策地域協議会での記録がある。</p> <p>【特記事項】</p>			
	評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】 虐待防止に向けた取り組みが評価できる。引き続き、子どもの健康維持に努めてほしい。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>			

令和7年度 指定管理者評価シート（やよい保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

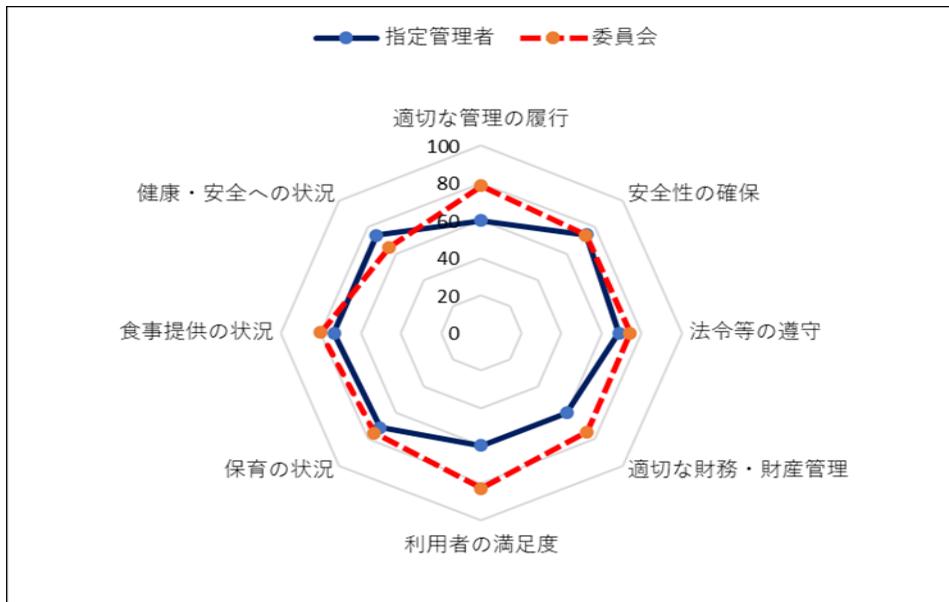
※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果 事業の取組み	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員	
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 5	×2 4	×7	
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 5	×2 4	4.00	
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 5	×3 4		
	評価委員記入欄	合計点(満点35点)	35.0	28.0	28.00	
担当課記入欄		【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①急な嘔吐など、感染源となりそうな場所を隔離する等、臨機応変に職員が連携できる。 ②感染症が出た場合、その都度掲示をし、保護者に周知することで家庭での体調の変化に気をつけてもらっている。 3.1 調理衛生管理 ①調理室専用の白衣、帽子を利用している。 ②肉魚を取り扱う場合は使い捨てのビニールエプロンを着衣して作業している。 ③配膳、食事については適宜エプロン、三角巾を身につけるようにしている。 3.2 安全確保 ①不審者がいた場合、保育者間の子どもに向ける言葉かけの合図を決めている。 ②園内外問わず子どもの人数確認を行なっている。 ③口に入れるとなにかの可能性のある玩具は乳児の保育室には置かないようにしており、保育士間でマニュアル化して情報を共有している。				
		【改善すべき点・課題等】				
		3.0 保育室衛生管理 清掃道具などわかりやすいように区別し表示、保管されている。 3.1 調理衛生管理 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っており、研修も受講し、衛生管理に努めている。 3.2 安全確保 ①危機管理マニュアルに基づき記録簿がある。 ②ヒヤリハットや事故簿など情報の共有をし事故防止に努めている。 【特記事項】				
		【評価すべき点】 事故防止に向けた取り組みなど全体的に高く評価できる。				
		【改善すべき点】				
評価委員記入欄	【その他注意点】					

新田さくら保育園 評価シート

【 指定管理者 】 ライクキッズ株式会社

【 評価対象年度 】 令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日



特記事項
(評価委員会による
総合評価を記入)

- ①施設・設備の保守点検等、前年度からの改善が図られている。
②適切な財務運営・財産管理が行われている。
③保護者から良好な評価を得ている。

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	262	B +

ランクダウン
有・無

総合評価
B +

※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】

- ①職員の時間外労働時間が依然として多いため、対策を講じること。
②個別の研修計画を作成するなど人材育成に力を入れているが、参加が進んでいないため、参加機会を確保するよう取り組むこと。
③実地調査の際に安全対策に課題（棚に転倒防止がされていない箇所がある、保育室内で職員の私物が子どもの手に届くところにしまわれている、テラスに脚立が放置されている）が見られたため、改善を図ること。
④誤飲の危険性のある遊具の使用を見直すこと。

〈評価委員会評価基準〉

評点	満点	標準点	評価基準						
			A +	A	A -	B +	B	B -	C
評価委員 指定管理者 区担当課	350	210	315点以上	291点以上 315点未満	263点以上 291点未満	224点以上 263点未満	207点以上 224点未満	189点以上 207点未満	189点未満
得点率		90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

(参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
239.0	B +	262.6	B +

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	指定管理者記入欄	【基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか】	指定管理者	担当課	評価委員
		1 施設・設備の保守点検 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	×2	×2	×4
		2 施設の清掃等 園舎内自主清掃（毎日）、清掃（壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇）（年1回）、清掃（換気扇、フード、オイルフィルター、ダクト）（年2回）、清掃（窓ガラス、エアコンフィルター）（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	3	4	
		3 備品等の保守点検 樹木剪定（年1回）、ピアノ調律（年1回）、調理器具清掃点検（年1回）、子どもの布団の乾燥・消毒（年2回）、カーテンクリーニング（年1回）、カーペットクリーニング（年2回）	3	4.1	3.93
		合計点(満点20点)	12.0	15.7	15.72
	評価委員記入欄	【アピールポイント】 1 施設・設備の保守点検 ①基本協定に基づき実施している。 ②施設内や外での修繕は、職員や本社より専門業者に依頼し修繕を行っている。 ③場所によっては区に報告をしながら管理している。 ④消防用設備は規定通りである。 2 施設の清掃等 ①園庭整備はこまめに行い、遊ぶ前に危険物がないか確認するなど、安全に活動できるように環境を整えている。 ②エアコンフィルター清掃、窓清掃、害虫駆除、排水口清掃、コットは職員により毎週金曜日消毒している。			
	担当課記入欄	【改善すべき点・課題等】 1 施設・設備の保守点検 ①故障しても、すぐに修繕することができず、子どもたちの活動に制限があった。 ②園舎が古いことを想定し、スピーディーな対応が必要である。			
	評価委員記入欄	1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等 概ね規定回数以上の実施を確認したが、園舎内自主清掃について記録なし。 3 備品等の保守点検 ピアノ調律について、実施なし。 【特記事項】 【評価すべき点】 施設・設備の保守点検等、前年度からの改善が図られている。 【改善すべき点】 備品の管理（ピアノ調律）を徹底すること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		4 施設・設備の安全の確保 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（随時）	4	×2	×2 ×7
		5 防災の取組 (1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき避難及び消火訓練を実施している（毎月）	3	4	
		6 防犯の取組 (1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している（毎日） (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	3	3.8	3.69
		7 事故への対応 (1) 安全計画を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	4	×3	×3
		合計点（満点35点）	26.0	25.8	25.83
		【アピールポイント】 4 施設・設備の安全の確保 ①火災警備点検は規定通り実施している。 ②固定遊具はなし、砂場消毒は毎月初めに職員によって行っている。 ③AEDを使用する可能性を考慮し、セコムより指導していただきながら、心肺蘇生法やAEDの使用方法を年1回実施している。 5 防災の取組 荒川・隅田川に挟まれいるため避難訓練に力をいれ、防災・避難訓練は毎月実施し、計画・反省を残し次回につないでいる。 6 防犯の取組 ①園外保育時は、警備会社に通報できる携帯用セコム（0歳児・1歳児）を持参している。 ②防犯カメラを設置し、24時間監視システムを導入している。 ③カードキーのため、保護者がカードを忘れた際はインターホンとモニターで確認し職員の開錠で対応している。			
		【改善すべき点・課題等】 6 防犯の取組 いつ何が起こっても子どもたち、職員の命が守れるよう適宜対応できるように、不審者訓練では警察による訓練が必要である。			
	担当課記入欄	5 防災の取組 ①昨年度策定されていなかった要配慮者利用施設の避難確保計画（水害）について、策定されたことを確認した。 ②荒川が近いこともあり、水害を想定した避難訓練を出水期前と台風シーズン前の年2回実施している。 6 防犯の取組 保育園安全点検表を用い、週1回園全体の安全点検を実施している。 7 事故への対応 ①未食食材の提供事故について、事故簿の作成がされておらず、区へ報告もなかった（日誌への記録にとどまっていた）。 ②系列園の事故についても看護師会の報告という形で共有している。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 荒川に近いという地理的条件を加味した防災訓練を実施するなど防災意識が高い。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	指定管理者記入欄	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員
		8 個人情報保護の取組	×2	×2	×7
		(1) 個人情報保護の取組について園のルールとして定め、保護者等へ周知している (2) 職員が業務上知りえた秘密を漏らすことがないよう必要な措置を講じている	4	4	
		9 個人情報事故への対応	4	3	
		(1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している			3.70
		10 職員の労働条件の保護	×2	×2	
		(1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	3	3	
		11 職員研修	×2	×2	
		(1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	3	4.5	
		合計点(満点35点)	24.0	26.0	25.90
	担当課記入欄	【アピールポイント】 8 個人情報保護の取組			
		①新入園児重要事項説明会で個人情報の取り扱いについて説明し、紙面でも同意を得ている。 ②個人情報の取り扱いについては会議等で話し合い、日頃から個人情報の取り扱いに注意し、園外に持ち出さない事を職員に周知徹底している。 ③個人情報に関する書類は、事務所の鍵のかかる書庫に保管し厳重に管理をし、持ち出し禁止になっている。			
	評価委員記入欄	11 職員研修			
		①研修に出席し、保育の質の向上を共有している。			
	評価委員記入欄	【改善すべき点・課題等】 9 個人情報事故への対応			
		①令和6年度にサイバー攻撃を受けたため、再発防止に向け改善を図る。 ②新しいネットワーク環境の構築・多要素認証の導入・EDRの導入・バックアップデータの保存先をより強固なものに見直す。 ③サーバの接続口(ファイアウォール)のログ保存期間を1ヵ月以上に設定する。			
	評価委員記入欄	11 職員研修			
		①職員のスキルアップを目指しキャリアアップ等の受講を進めたい。 ②研修受講により、園内研修の充実を図りたい。			
	評価委員記入欄	8 個人情報保護の取組			
		職員全員に対し本部よりコンプライアンス研修を実施した上で、理解度をテストで確認している。			
	評価委員記入欄	9 個人情報事故への対応			
		本部に対するサイバー攻撃による事故あり（本部のサーバーに対する攻撃であるため、園単体では対応不可）。			
	評価委員記入欄	10 職員の労働条件の保護			
		令和5年度は常勤職員の月の時間外労働時間が平均10時間を超えていたが、令和6年度についても10時間以下である確認は取れなかった。			
	評価委員記入欄	11 職員研修			
		個人別の研修計画は策定されているが、予定通りに受講できていなかった。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】			
		本部がサイバー攻撃を受けたことは残念であるが、その後は多要素認証を取り入れるなどのセキュリティ強化を迅速に実施した。			
	評価委員記入欄	【改善すべき点】			
		職員の時間外労働が依然として多くなっているため、改善を図ること。			
	評価委員記入欄	【その他注意点】			
		個別の研修計画を作成するなど人材育成に力を入れているが参加が進んでいない様子である。保育の質向上にもつながるため、参加機会を確保するよう取り組むこと。			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員	
		1.2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3	×3	×5	
		1.3 委託料残額の取扱い 委託料の残額の取扱いを明確にしている	3	3.5		
			×2	×2	3.72	
			3	4		
		合計点(満点25点)	15.0	18.5	18.60	
			【アピールポイント】 1.2 委託料の健全な運用 ①法人内で健全に運用している。 ②指定管理者制度への取組については、適切に委託料の運用及び財務管理に努めている。 ③プライム企業上場のライク株式会社として、監査法人による外部監査及び内部監査により、企業内の統制が図られている。			
			【改善すべき点・課題等】 1.2 委託料の健全な運用 ①区の協定に基づき運営に努力する。 ②予算執行状況の管理について課題がある。 ③特に、社会福祉法人会計基準と照らし合わせた際に、法人本部経費の考え方について足立区と十分な整理と認識の合意が必要な為、継続的に協議をしていく。 ④建物の修繕箇所が多く、修繕の実施が多くなっている。			
			1.2 委託料の健全な運用 令和6年度は収支が改善し黒字に転じたが、人件費比率の低さや本部経費の高さなど課題も見受けられる。 1.3 委託料残額の取扱い 令和6年度の残額について、職員人件費及び施設修繕費（トイレ修繕）に充てる取締役決議を行った 【特記事項】			
	【評価すべき点】 ①本部経費を費目の性質ごとに合理的な配賦基準で按分しており、適切な損益管理を実施している点が評価できる。 ②委託料残額の方針もあり評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】					

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果 （アンケート調査等による）	利用者の満足度（アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1.4 サービスの質の評価 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	×2 3	×2 5	×14
		1.5 保護者・地域への対応に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 3	×4 4	
		1.6 保育内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 3	×4 4	4.14
		1.7 施設内容に関する評価 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 3	×4 4	
		合計点(満点 70 点)	42.0	58.0	57.96
		【アピールポイント】 1.4 サービスの質の評価 ①第三者評価を受審している。 1.5 保護者・地域への対応に関する評価 ①保護者からの苦情や要望は園で対応できるところは速やかに行い、対応できない際は本社に相談し指示を仰ぎ、より良い関係づくりに努めている。 ②怪我や、相談、苦情があった際は担任だけではなく、主任・園長が対応し速やかに対応を行っており、全職員も周知できるようにしている。 ③登降園の際や何気ない会話の中で、職員が保護者と信頼関係づくりに努め、コミュニケーションを密にとっている。 1.6 保育内容に関する評価 ①食事の状況では一人ひとりの状況に合わせ、援助の仕方や会議等で話し合ったり等、個別での対応を行っている。 ②保育時間では、状況に応じ柔軟な対応を心がけている。 1.7 施設内容に関する評価 修繕があちらこちら必要ではあるが、職員で気づきながら、清掃に気を配っている。			
		【改善すべき点・課題等】 1.4 サービスの質の評価 ①園の課題を抽出し一つひとつ確認しながら進めていく必要がある。 ②整理整頓には一人ひとりの意識が必要である。			
	担当課記入欄	1.5 保護者・地域への対応に関する評価、1.6 保育内容に関する評価、1.7 施設内容に関する評価 職員の接遇や食事の提供、保育時間変更への柔軟な対応は高い評価を得ている。 【特記事項】 1.4 サービスの質の評価 第三者評価を受審し、利用者回収率は43.2%。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 保護者から良好な評価を得ている。 【改善すべき点】 第三者評価の利用者回収率が向上するよう改善を図ること。 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		18 保育の基本原則 保育内容が適切である	×2	×2	×8
		3	3.5		
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2	×2	
		4	4	3.88	
事業効果	担当課記入欄	20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4	×4	
		4	4		
		合計点(満点40点)	30.0	31.0	31.04
		【アピールポイント】 18 保育の基本原則 安全面を考慮しながら、コーナー保育を活用し発達段階に応じた環境設定を行っている。 19 人権の尊重 ①区・園のガイドラインを使用し、会議などで勉強したり人権について話し合ったりしている。 ②子ども一人ひとりの個性を尊重し、クラス間や会議等で話し合いながら丁寧に保育を行っている。 ③人権チェックリストを毎週末チェックし、振り返りを行っている。 20 全体的な計画・指導計画の作成 子どもの発達過程を踏まえ全体的な計画を基に各計画書を作成している。			
		【改善すべき点・課題等】 18 保育の基本原則 ①前年度までの保育経験が強く、当たり前のように行わなければいけないという意識が強い。 ②話し合いながら、当たり前が当たり前ではないという保育を対話していきたい。 20 全体的な計画・指導計画の作成 計画に対して、クラス内で話し合いや振り返りをこまめに行うことで、より良い環境づくりに努めたい。			
評価委員記入欄		18 保育の基本原則 ①玩具は子どもの手に届く場所に設置してある。 ②見立て遊びにつながる素材を用意するといい。 ③3歳児について、子どもの育ちを考え、ねらいをもった玩具の設定をするとよい。 19 人権の尊重 トイレでのおむつ替えや、戸外から保育室内が見えないよう配慮されていたが、保育室内にもパーテーションを設置し、子ども同士のプライバシーにも配慮が必要。 【特記事項】			
		【評価すべき点】			
		【改善すべき点】			
		【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	4	×2 3	×2 3.8 ×2 2 3.60
		2.2 保育環境 安全・安心な保育環境が整えられている			
		2.3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	3	×2 5	×2
		合計点(満点30点)	20.0	21.6	21.60
事業効果	担当課記入欄	【アピールポイント】 2.1 指導計画の展開 ①全体的な計画を基に、クラスの子どもたちの成長・発達に合わせ計画している。 ②保育日誌の振り返りが丁寧である。 2.3 小学校との連携 ①新田地区の他の保育施設と連携を深め、交流活動を積極的に行っている。 ②新田地区の小学校と連携を深め、交流活動を積極的に行っている。			
		【改善すべき点・課題等】 2.2 保育環境 ①保育環境には改善が必要である。 ②改善する場所は本社も一緒に協力していく必要がある。 ③保育環境づくりについて、園内研修を行い気づきを繋げていく必要がある。			
		2.1 指導計画の展開 ①幼児クラスについて、子どもたちが自分で考えたりイメージしたりしながら遊べる環境を考えるとよい。 ②リーダー会議・乳幼児会議で、クラスの状況や保育内容について見直しを実施している。 【特記事項】 2.2 保育環境 ①子どものロッカーの上がきれいに整理整頓されている。 ②0歳児トイレ内と廊下トイレ脇の棚に、転倒防止がされていない。 ③複数のクラスで、スマホやペットボトルなど職員の私物が、子どもの手に届くところにしまわれていた。 ④保育室によって室温が低かった。 2.3 小学校との連携 ①新田地区連絡会に参加し、子どもの育ちの共有や交流活動を行っている。 ②新田地域合同で、4・5歳児保護者対象に小学校で就学に向けてのお話会を実施している。			
		【評価すべき点】 ①積極的に小学校と連携することで、進学時の保護者の不安感軽減につながっている。 ②他の就学前施設との交流も積極的に行っている。 【改善すべき点】 安全な保育環境を確保するよう取り組んでください。			
		【その他注意点】			
評価委員記入欄					

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	事業の取組み	食事提供の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		2.4 食育計画 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 4	×2 4	×6
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 4	×2 4	4.00
		2.6 食事の提供 (1) 子どもの状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 3	×2 4	
		合計点(満点30点)	22.0	24.0	24.00
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 2.5 食事計画 ①毎月給食会議を行い、喫食状況を聞きながら給食に活かしている。 ②献立表や給食だよりで情報を提供し、保護者に食事の大切さを知つてもら得るように作成している。 2.6 食事の提供 ①アレルギー児にはアレルギーマニュアルに沿つて対応している。 ②子どもたちが安全に楽しく食事が食べられるよう、一人ひとりの状況を見ながら援助している。			
		【改善すべき点・課題等】 2.6 食事の提供 ①食事環境・お箸への移行準備について、話し合いは必要がある。 ②アレルギーについては職員全員の周知が必要である。			
	担当課記入欄	2.4 食育計画 食育計画に育児支援の欄があり、家庭への支援・連携内容が具体的に記載されている。 2.6 食事の提供 ①乳児クラスについて、介助しやすい座り位置の工夫と、空になった食器を次々と積み重ねないことが必要。 ②幼児クラスについて、椅子の向きや姿勢、食器や食具の持ち方、一口の大きさなど丁寧に見ていくことが必要。 ③アレルギー児への対応についてはマニュアル通り行われており、別テーブルであるが他児と同じ空間で食事ができるよう配慮されていた。 【特記事項】			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】			

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員
		27 子どもの健康管理 (1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	×2 3	×2 3	×6
		28 乳幼児突然死症候群の予防 (1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	×2 4	×2 4	3.67
		29 虐待等への対応 (1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	×2 4	×2 4	
	評価委員記入欄	合計点(満点30点)	22.0	22.0	22.02
担当課記入欄	【アピールポイント】 27 子どもの健康管理 ①登園の際、一人ひとりの保護者に体調や怪我の情報を共有し職員周知している。 ②健康診断を年2回適切に行い、保護者にお知らせしている。 ③園医との情報共有も行っている。 28 乳幼児突然死症候群の予防 ①乳児クラスはタイマーを使用し午睡チェックを行っている。 ②事務所職員が午睡中、見回りを行っている。 29 虐待への対応 ①虐待を早期に発見した場合、関係機関と連絡を取れる体制ができている。 ②保護者の不安や、保護者の体調など気遣いながら積極的に話しかけている。 ③安心した気持ちで子育てを楽しめるよう、何げない会話を取り入れながら気持ちを受けとめ、コミュニケーション作りに努めている。 ④0歳児健診時、園医に相談を行い、早期発見に努めている。				
	【改善すべき点・課題等】 28 乳幼児突然死症候群の予防 午睡時天候が悪い際、室内の暗さが気になる場面があるため、会議等で話し合いが必要である。				
	27 子どもの健康管理 子どもの健康状態については、口頭や連絡帳アプリで確認している。 28 乳幼児突然死症候群の予防 午睡時、保育室によっては暗くなるため、照明をつけ明るさを保っている。 29 虐待への対応 区のガイドラインとチェックリストを使用し、対応・記録をしている。 【特記事項】				
	【評価すべき点】 【改善すべき点】 【その他注意点】				

令和7年度 指定管理者評価シート（新田さくら保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
事業効果	指定管理者記入欄	健康・安全の状況	指定管理者	担当課	評価委員
		3.0 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 3	×2 3	×7
		3.1 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 4	×2 4	2.86
		3.2 安全確保 保育中の事故発生防止に取り組んでいる	×3 4	×3 2	
		合計点(満点35点)	26.0	20.0	20.02
		【アピールポイント】 3.0 保育室衛生管理 ①毎日職員が順番で掃除を行いチェックを行っている。 ②園児が体調不良になった際、適切に情報を共有し保護者には不安がないよう伝えている。 ③感染症が流行した際、保護者に情報提供し、健康管理が維持できるように衛生管理を徹底している。 ④職員の健康管理や衛生管理をしっかりと行い、体調が悪い際はすぐに報告できるような体制をとっている。 3.1 調理衛生管理 ①調理衛生は月に2回の検査を行う。 ②衛生的で健康に管理し調理を行っている。 3.2 安全確保 ①安全に保育活動が出来るように、職員の配置・立ち位置等に目を配り、全体が見えるよう工夫している。 ②報連相を大事にしている。 ③怪我や事故が発生した場合、速やかに報告できる体制になっている。			
		【改善すべき点・課題等】 3.0 保育室衛生管理 施設内の清掃管理。保育士の衛生管理は課題である。 3.2 安全確保 安全で子どもたちが落ち着ける保育環境は常に課題である。			
		3.0 保育室衛生管理 ①古い施設であるが、園舎内はきれいに清掃されている。 ②玩具の消毒・破損チェック表で毎週確認をしている。 ③おむつ交換コーナーの隣にコットが積んであるので、囲いを設置するなど対応が必要。 【特記事項】 3.2 安全確保 ①テラス隅に脚立が置いたままになっていたが、危険なので片づけるべき。 ②乳児クラスについて、容易にふたが開き中身がこぼれるなど誤飲につながる手作り玩具があった。			
		【評価すべき点】 【改善すべき点】 保育中の事故を未然に防ぐよう改善を図ること。また、区の担当者とも確認のうえ、対策を講じること。 【その他注意点】			